

# 京都市

## 子育て支援に関する市民ニーズ調査

**【結果報告書】**  
**（概要版）**

平成21年6月

京 都 市



# 目 次

<b>I 調査の概要</b> .....	1
1 調査の目的 .....	2
2 調査概要 .....	2
3 報告書の見方 .....	2
<b>II 調査結果（就学前児童調査, 小学生児童調査）</b> .....	3
1 こどもと家族の状況について（就学前, 小学生） .....	4
2 保護者の就労状況について（就学前, 小学生） .....	13
3 子育て支援施策・サービスの利用について（就学前） .....	15
4 土曜日や日曜日・祝日における子育て支援施策・サービスの利用希望について（就学前） ...	21
5 小学校入学以降の学童クラブ事業利用の希望について（就学前） .....	24
6 学童クラブ事業の利用について（小学生） .....	25
7 病気・病後時の対応について（就学前, 小学生） .....	31
8 宿泊を伴わない一時預かりについて（就学前, 小学生） .....	33
9 宿泊を伴う一時預かりについて（就学前, 小学生） .....	37
10 ベビーシッターの利用について（就学前, 小学生） .....	39
11 ファミリーサポート事業の利用について（就学前, 小学生） .....	40
12 地域の子育て支援活動の利用について（就学前） .....	41
13 トワイライトステイの利用について（小学生） .....	43
14 子育て支援施策・サービスの認知度, 利用度について（就学前, 小学生） .....	44
15 子育てと仕事(育児休業制度の利用など)について（就学前, 小学生） .....	46
16 子育て環境などについて（就学前, 小学生） .....	54



# I 調査の概要

# 1 調査の目的

京都市では、平成17年1月に策定した子育て支援施策の総合計画である新「京（みやこ）・子どもいきいきプラン」※1（以下「現行プラン」といいます。）に基づき、市民・地域ぐるみで子育てを支え合う子育て支援の風土づくりを進めてきましたが、現行プランの計画期間が平成21年度までとなっていることから、これを見直し、平成22年度から平成26年度までの5年間の計画期間とする新たな計画※2を策定することとしています。

本調査は、この新たな計画の策定に際し、子育て支援施策の展開の方向性を検討する基礎資料として活用する目的で実施しました。

※1 次世代育成支援対策推進法に規定される市町村行動計画の前期計画（計画期間：平成17～21年度）に位置付けるものです。

※2 次世代育成支援対策推進法に規定される市町村行動計画の後期計画（計画期間：平成22～26年度）に位置付けるものです。

## 2 調査概要

- ・ 調査地域 : 京都市全域  
調査対象者 : 京都市内在住の就学前児童の保護者（就学前児童調査）  
京都市内在住の小学生児童の保護者（小学生児童調査）
- ・ 調査期間 : 平成20年12月12日から12月26日まで
- ・ 調査方法 : 郵送配布・郵送回収（無記名回答）

	調査票配布数	有効サンプル数	回収率
子育て支援に関する市民ニーズ調査 （就学前児童調査）	6,100	2,742	45.0%
子育て支援に関する市民ニーズ調査 （小学生児童調査）	4,200	1,747	41.6%
合計	10,300	4,489	43.6%

## 3 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中の「N（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

## II 調査結果

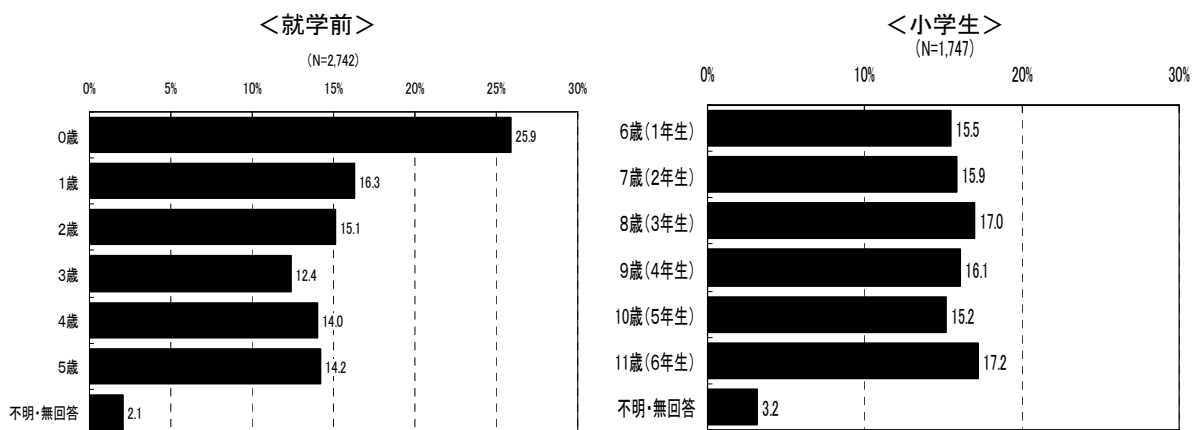
（就学前児童調査，小学生児童調査）

# 1 こどもと家族の状況について（就学前，小学生）

（就学前 問1，小学生 問1）

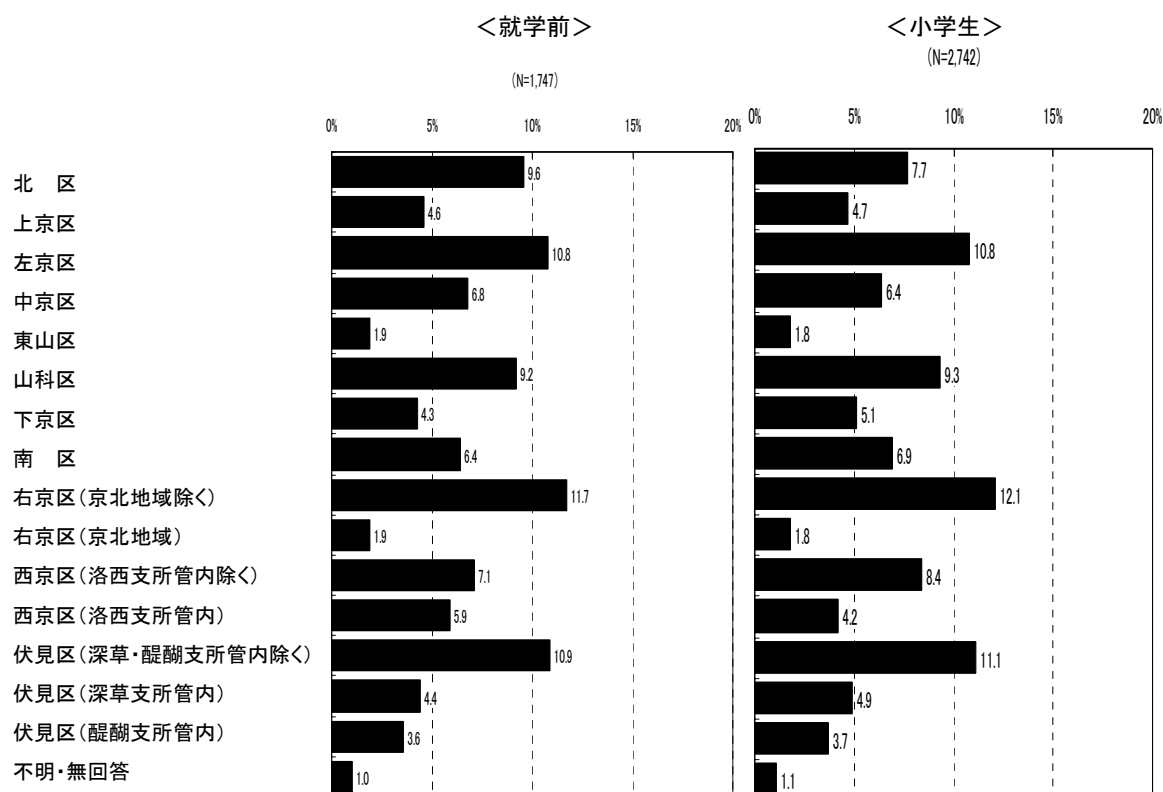
問 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。

【こどもの年齢（学年）（平成20年4月1日現在）】 ※回答された「生年月」から年齢を換算



（就学前 問2，小学生 問2）

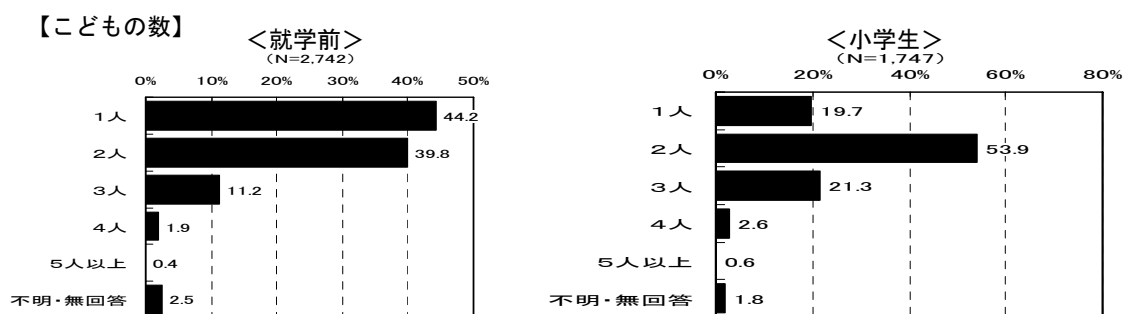
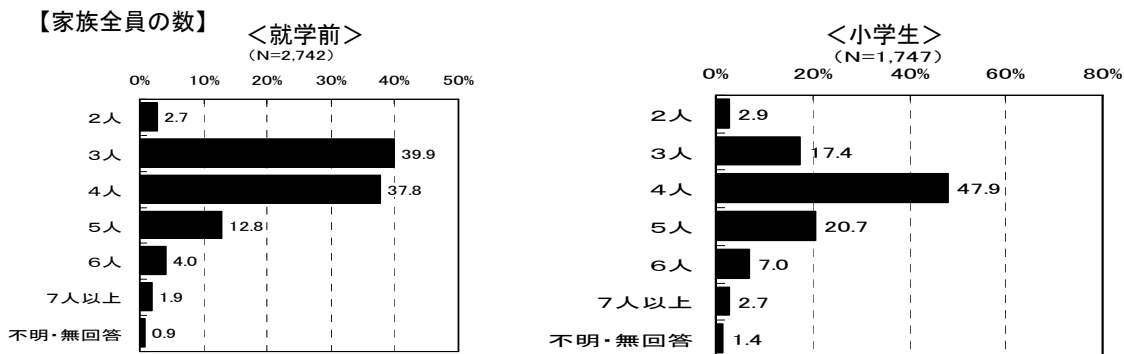
問 お住まいの区等はどちらですか。





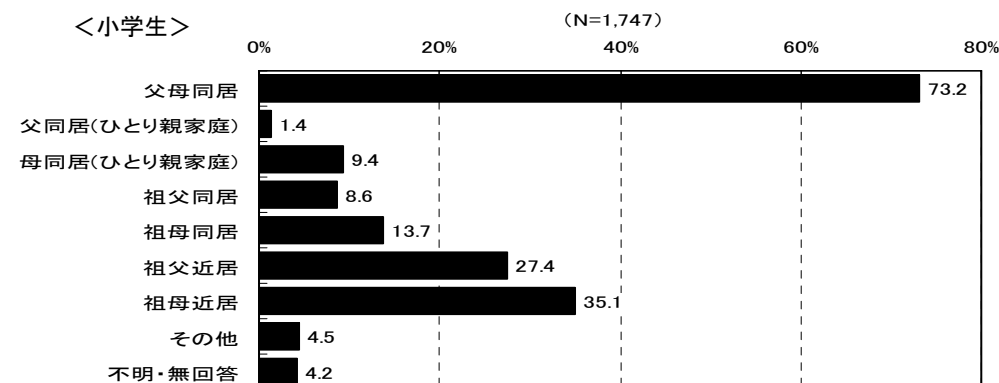
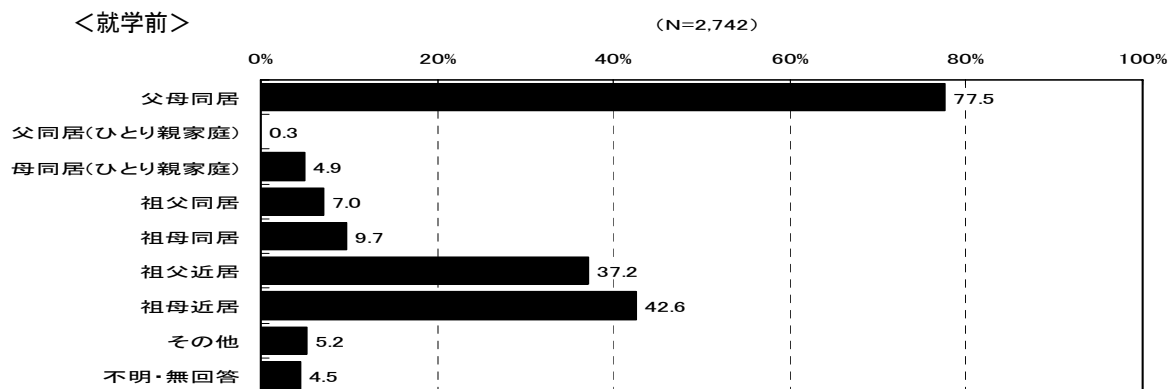
（就学前 問3，小学生 問3）

問 ご家族全員とお子さんの人数をおたずねします。



（就学前 問4，小学生 問4）

問 あて名のお子さんとの同居・近居（概ね 30 分以内程度に行き来できる範囲）の状況について  
 おうかがいします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。（あてはまるものすべて）

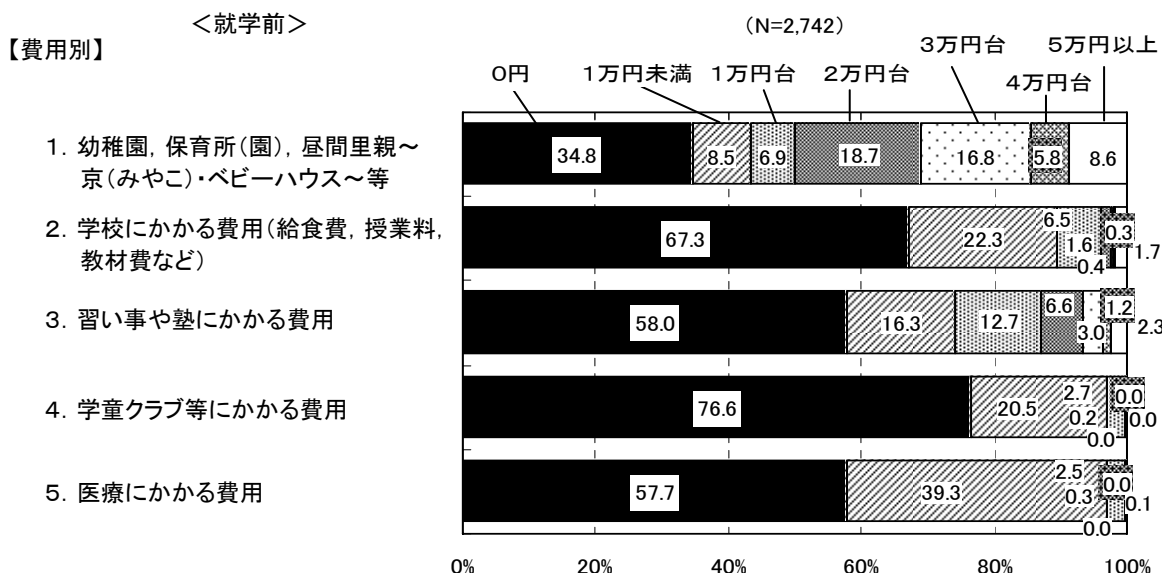


(就学前 問5, 小学生 問5)

問 世帯のお子さん全員の子育てについて、一か月にどのくらいの費用がかかりますか。おおよその金額をご記入ください。また、世帯全員の収入のおおよそ何%を占めますか。

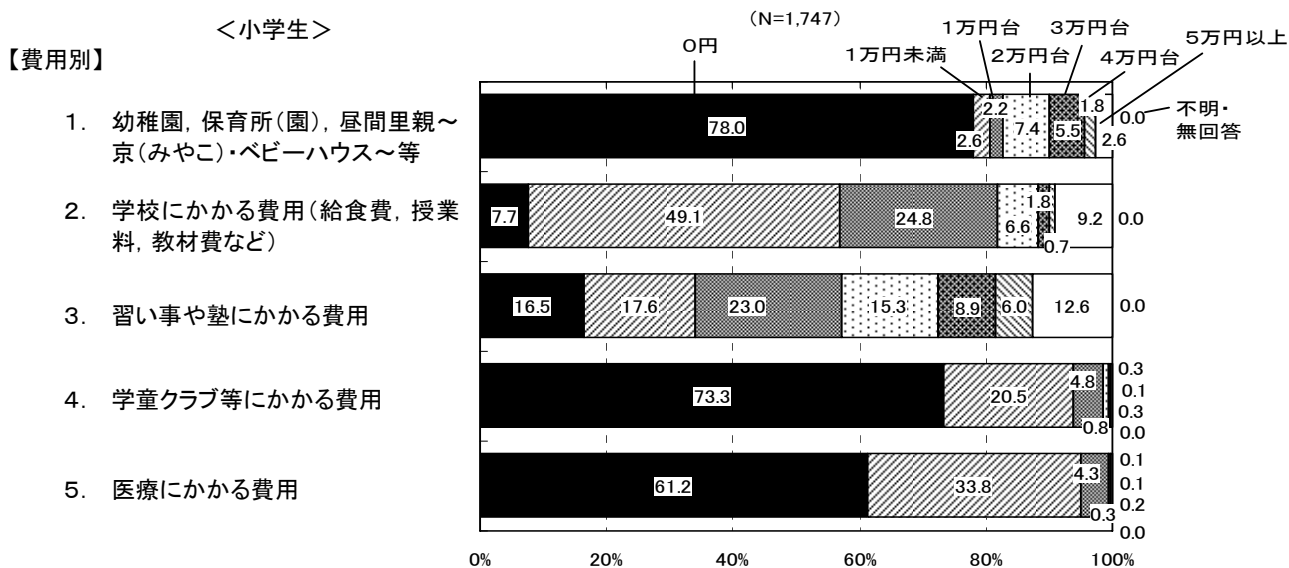
<就学前>

こどもの子育てにかかる費用についてみると、「2. 学校にかかる費用（給食費，授業料，教材費など）」「4. 学童クラブ等にかかる費用」で、「0円」が6割を超え、高くなっている。



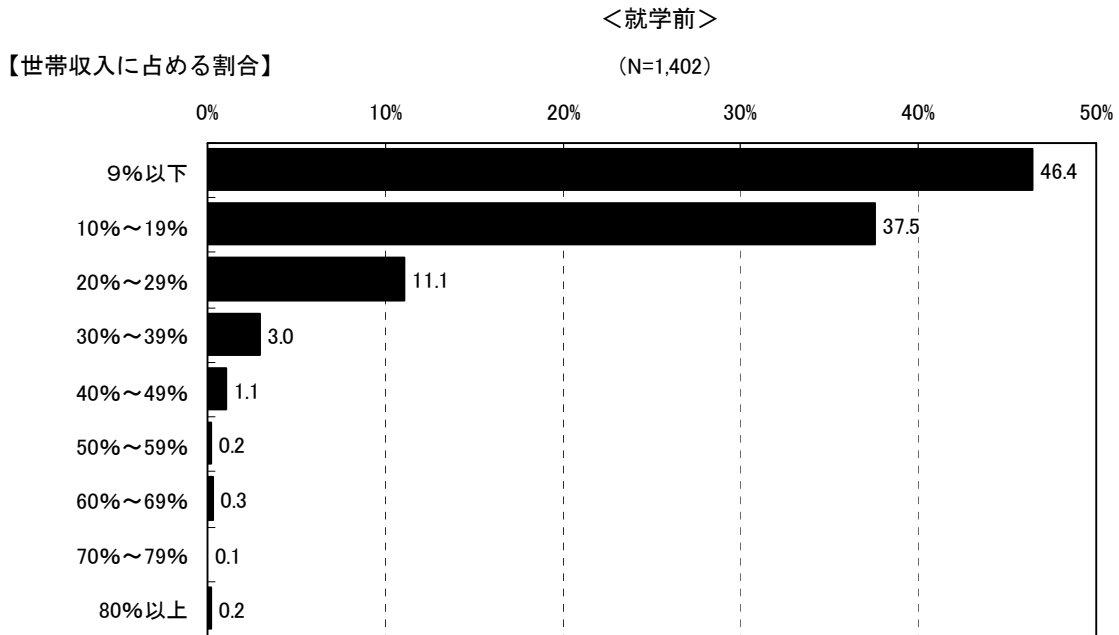
<小学生>

こどもの子育てにかかる費用についてみると、「1. 幼稚園，保育所(園)，昼間里親～京(みやこ)・ベビーハウス～等」「4. 学童クラブ等にかかる費用」「5. 医療にかかる費用」で、「0円」が6割を超え、高くなっている。



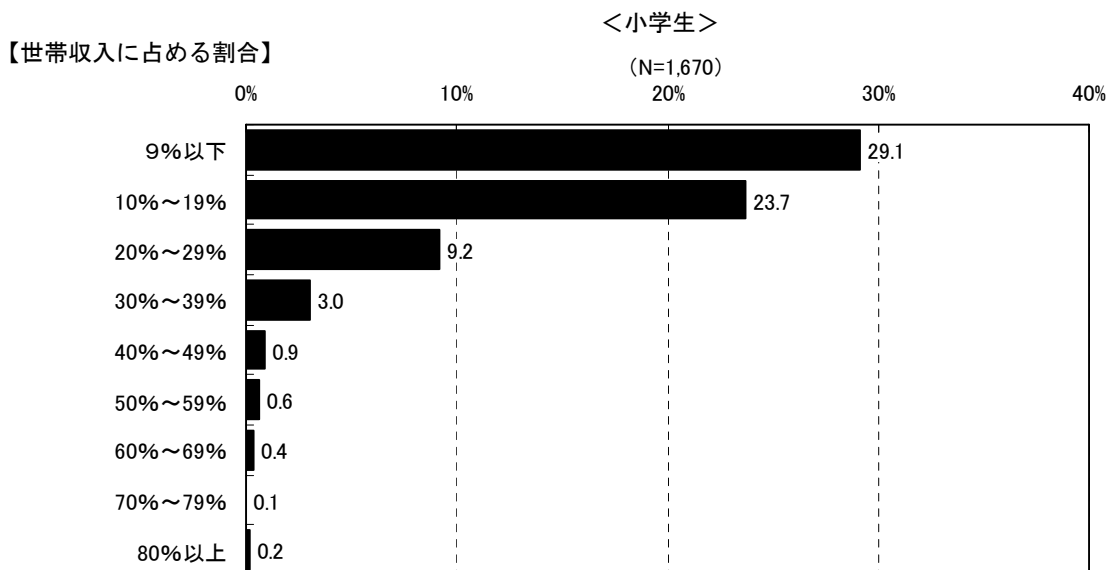
<就学前>

世帯収入に占める割合についてみると、「9%以下」が46.4%と最も高く、次いで、「10%～19%」が37.5%となっている。



<小学生>

世帯収入に占める割合についてみると、「9%以下」が29.1%と最も高く、次いで、「10%～19%」が23.7%となっている。



(就学前 問6, 小学生 問6)

問 同居しているすべてのご家族について、あて名のお子さんからみた続柄、職業、年齢、健康状態や心身の状況について、下記の選択肢番号でお答えください。年齢は、平成20年4月1日現在の年齢をご記入ください。

<就学前>

【職業×続柄】

単位:%

	回答者数 (人)	常勤(正規 職員等)	パート・ アルバイト	自営業	在宅勤務・ 内職	無職・ 家事専業	大学生・ 大学院生	中学生・ 高校生
父	2,542	81.6	2.3	12.9	0.4	0.7	0.7	-
母	2,691	16.0	19.5	2.7	1.9	57.1	0.5	0.1
祖父	229	22.7	8.3	27.1	2.2	34.5	-	-
祖母	291	7.9	17.9	15.5	2.7	52.6	-	0.3
兄	773	1.6	0.4	-	-	1.0	0.8	8.9
姉	667	0.1	0.1	-	-	0.6	0.6	7.0
本人(あて名のお子さん)	1,036	-	-	-	-	-	-	-
弟	214	-	-	-	-	6.5	-	-
妹	225	-	-	-	-	9.8	-	-
その他	89	31.5	9.0	3.4	1.1	32.6	-	4.5

	回答者数 (人)	小学生	幼稚園に 通園	保育所(園)・ 昼間里親~ 京(みやこ)・ ベビーハウ ス~に通園	認可外保 育所 に通園	その他	不明・ 無回答
父	2,542	-	-	-	-	0.8	0.4
母	2,691	-	-	-	-	1.4	0.8
祖父	229	-	-	-	-	2.2	3.0
祖母	291	-	-	-	-	1.7	1.4
兄	773	56.0	15.3	9.1	0.3	4.5	2.2
姉	667	58.8	13.2	12.0	0.1	5.8	1.5
本人(あて名のお子さん)	1,036	-	25.1	31.2	1.9	29.0	12.8
弟	214	-	8.9	24.8	0.5	49.5	9.8
妹	225	-	6.2	29.8	2.2	44.0	7.9
その他	89	3.4	-	1.1	1.1	11.2	1.1

【健康状態×続柄】

単位:%

	回答者数 (人)	健康	どちらかとい えば健康	あまり健康 でない	現在、病気 療養中	介護が必要 な状態	不明・ 無回答
父	2,542	82.2	14.2	1.5	1.7	-	0.3
母	2,691	83.2	12.7	1.8	1.8	-	0.4
祖父	229	52.4	24.9	7.9	10.9	3.1	0.9
祖母	291	53.3	24.1	9.6	7.9	4.5	0.7
兄	773	92.0	4.8	1.6	0.8	0.4	0.5
姉	667	94.2	4.8	0.3	0.3	0.3	0.1
本人(あて名のお子さん)	1,036	91.2	6.1	0.5	1.1	0.4	0.8
弟	214	93.0	2.8	0.9	1.4	-	1.9
妹	225	95.6	3.1	0.4	0.4	-	0.4
その他	89	58.4	16.9	4.5	6.7	10.1	3.4

<小学生>

【職業×続柄】

単位：%

	回答者数 (人)	常勤(正規 職員等)	パート・ アルバイト	自営業	在宅勤務・ 内職	無職・ 家事専業	大学生・ 大学院生	中学生・ 高校生
父	1,524	79.7	1.8	15.9	0.2	0.6	-	0.1
母	1,671	17.4	38.1	3.5	2.3	36.0	0.1	0.1
祖父	162	11.1	8.6	22.2	1.9	46.9	-	-
祖母	249	4.4	8.0	8.4	0.8	73.1	-	-
兄	540	2.4	1.5	0.2	-	0.2	5.7	64.3
姉	496	2.2	1.0	-	-	0.0	5.4	62.9
本人(あて名のお子さん)	730	-	-	-	-	-	-	-
弟	431	-	-	-	-	0.7	-	-
妹	379	-	-	-	-	0.8	-	-
その他	50	36.0	12.0	8.0	2.0	32.0	4.0	-

	回答者数 (人)	小学生	幼稚園に 通園	保育所 (園)・ 昼間里親 ~京(みや こ)・ベビー ハウス~ に通園	認可外 保育所 に通園	その他	不明・ 無回答
父	1,524	-	-	-	-	0.9	0.8
母	1,671	-	-	-	-	1.6	1.0
祖父	162	-	-	-	-	7.4	1.8
祖母	249	-	-	-	-	3.6	1.6
兄	540	23.7	-	-	-	0.9	1.1
姉	496	27.0	-	-	-	1.2	0.2
本人(あて名のお子さん)	730	99.3	-	-	-	-	0.6
弟	431	30.6	25.8	27.8	0.9	12.5	1.6
妹	379	28.5	25.9	28.5	-	13.7	2.6
その他	50	2.0	-	-	-	4.0	-

【健康状態×続柄】

単位：%

	回答者数 (人)	健康	どちらか といえ 健康	あまり健康 でない	現在、病 気療養中	介護が必 要な状態	不明・ 無回答
父	1,524	78.3	16.4	2.8	1.9	0.2	0.4
母	1,671	75.8	17.4	2.8	2.9	0.2	0.9
祖父	162	39.5	33.3	11.7	10.5	4.3	0.6
祖母	249	43.4	29.3	11.6	10.8	4.0	0.8
兄	540	90.4	7.0	0.9	1.3	0.4	-
姉	496	92.1	5.8	0.8	0.8	0.2	0.2
本人(あて名のお子さん)	730	91.6	6.3	0.5	0.8	0.3	0.4
弟	431	94.4	4.2	0.5	0.5	0.2	0.2
妹	379	93.1	4.5	0.3	1.6	0.3	0.3
その他	50	66.0	14.0	10.0	2.0	8.0	-

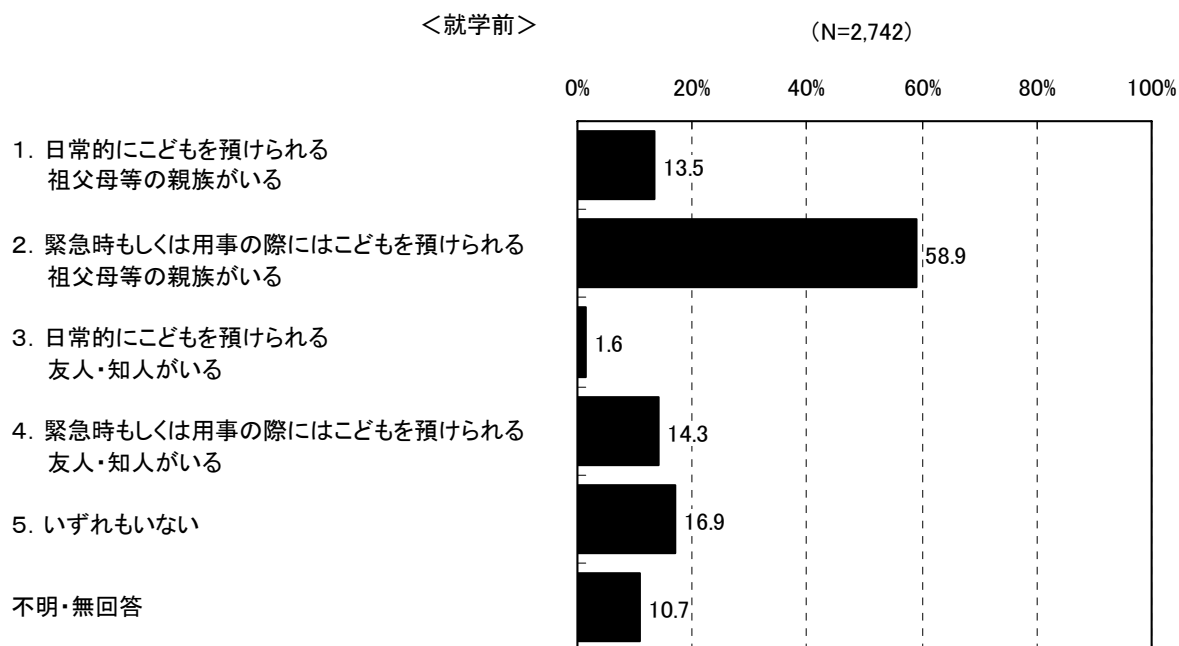
(就学前 問7, 小学生 問7)

問 日頃、(保育所(園)等以外で)お子さんを預けられる人はいますか。(あてはまるものすべて)

また、日常的に預かってもらっている場合には、預けている日数や時間帯をご記入ください。

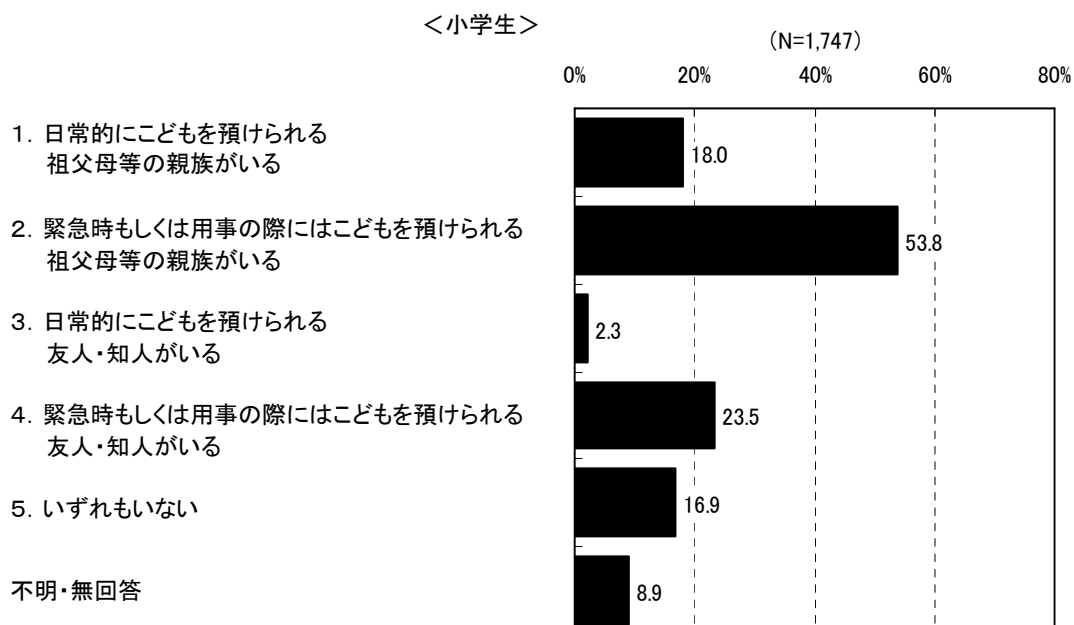
<就学前>

「2. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」が 58.9%と高いが、「1. 日常的に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」になると 13.5%と低くなる。友人・知人についても、祖父母等に比べ相対的に割合が低いと同様の傾向にある。



<小学生>

「2. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」が 53.8%と高いが、「1. 日常的に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる」になると 18.0%と低くなる。友人・知人についても、祖父母等に比べ相対的に割合が低いと同様の傾向にある。



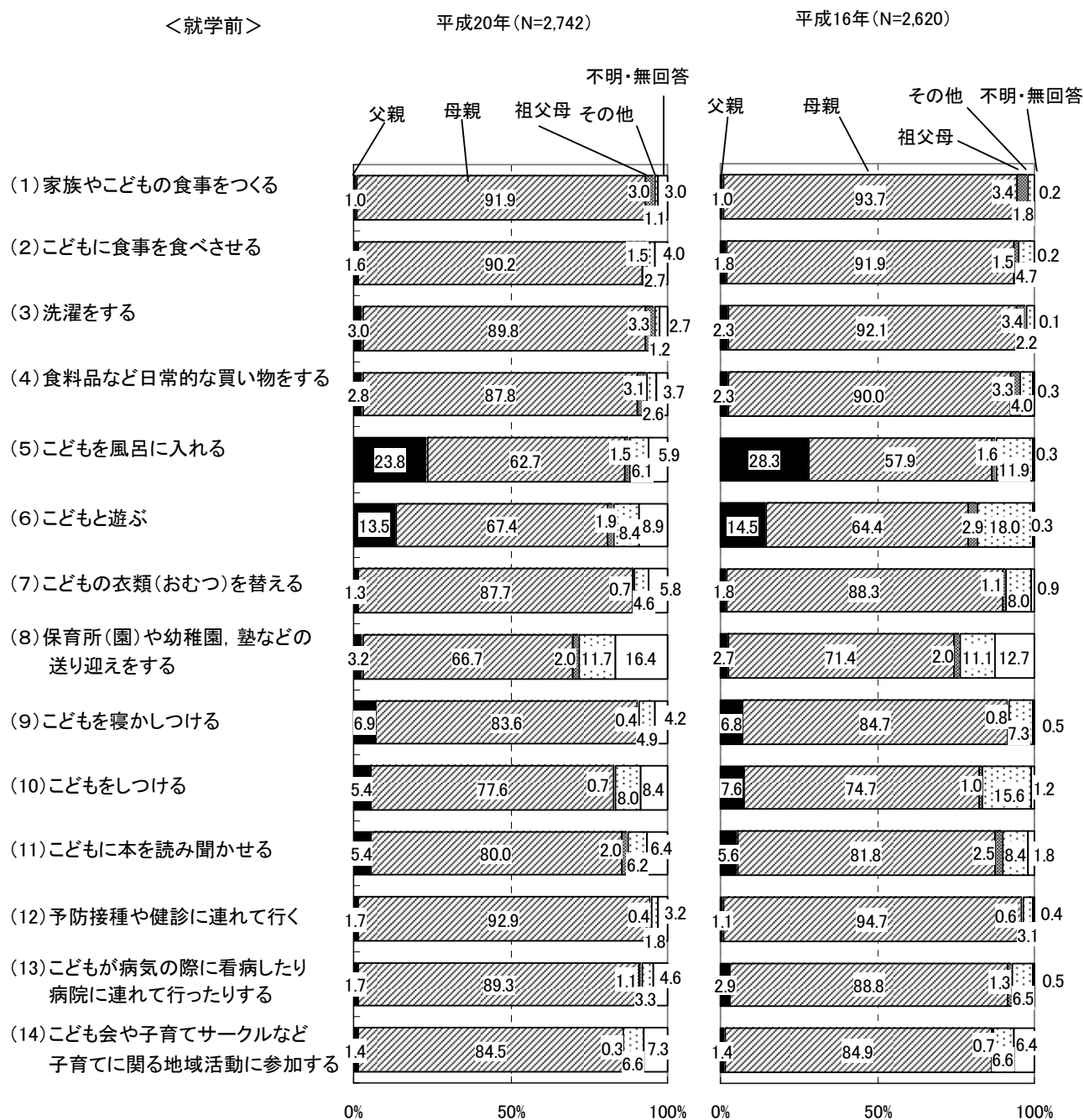
（就学前 問8，小学生 問8）

問 あて名のお子さんの育児をはじめ、家事等に主に関わっている方はどなたですか。

<就学前>

平成20年調査では、すべての項目において、「母親」が60%~90%台を占めるが、「(5) 子どもを風呂に入れる」と「(6) 子どもと遊ぶ」は、「父親」が10%~20%台と他の項目に比べて高くなっている。

平成16年調査と比較すると、家庭での育児に関する多くの項目について「父親」の割合が低いと同程度となっているのに対して、「(3) 洗濯をする」「(4) 食料品など日常的な買い物をする」などについては高くなっている。



<小学生>

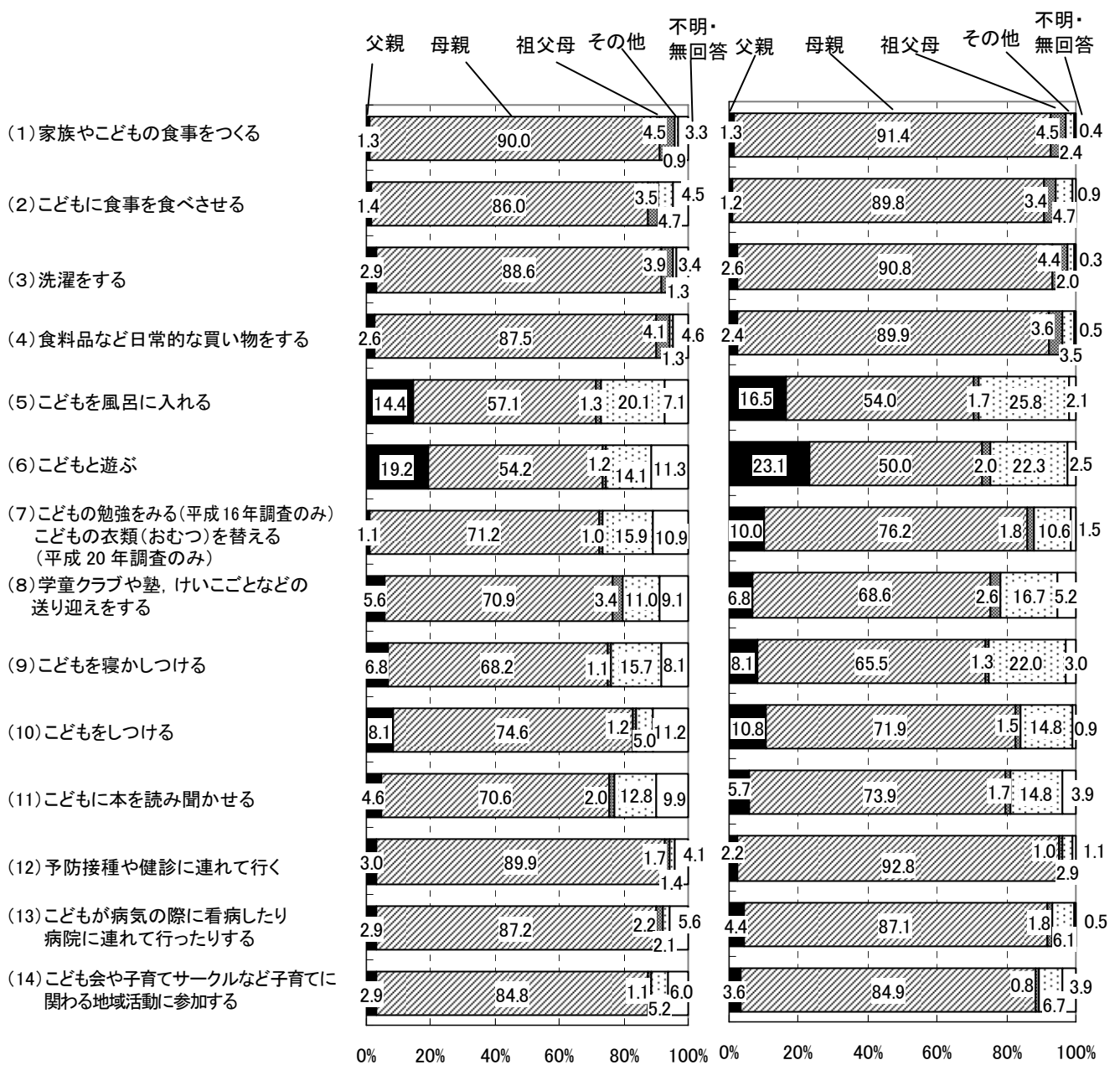
すべての項目において「母親」が50%~90%を占めるが、「(5)こどもを風呂に入れる」と「(6)こどもと遊ぶ」は、「父親」が10%台と他の項目に比べて高くなっている。

平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。

<小学生>

平成20年(N=1,747)

平成16年(N=2,066)





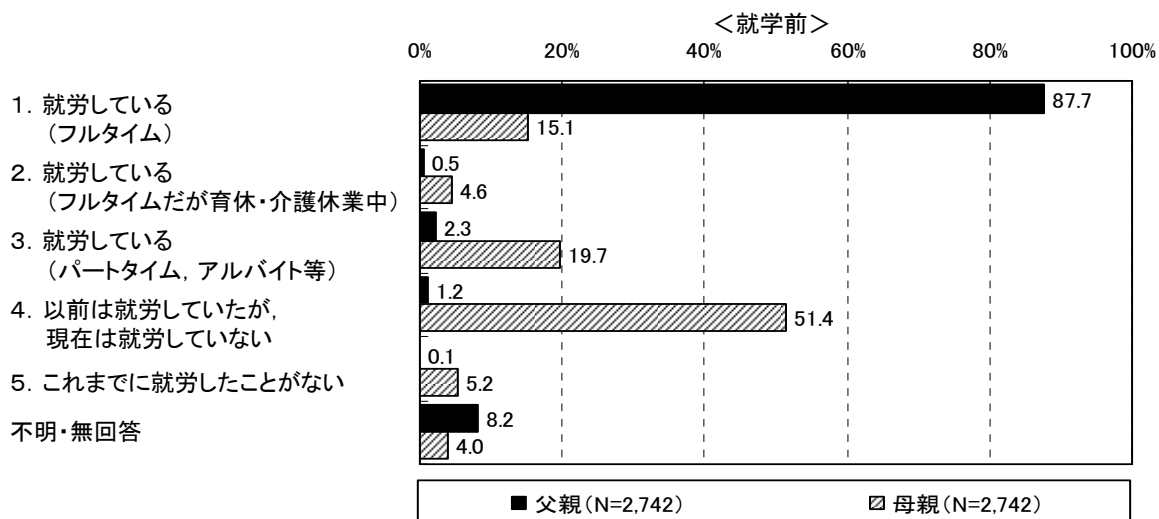
## 2 保護者の就労状況について（就学前、小学生）

（就学前 問9，小学生 問9）

問 現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）おうかがいします。

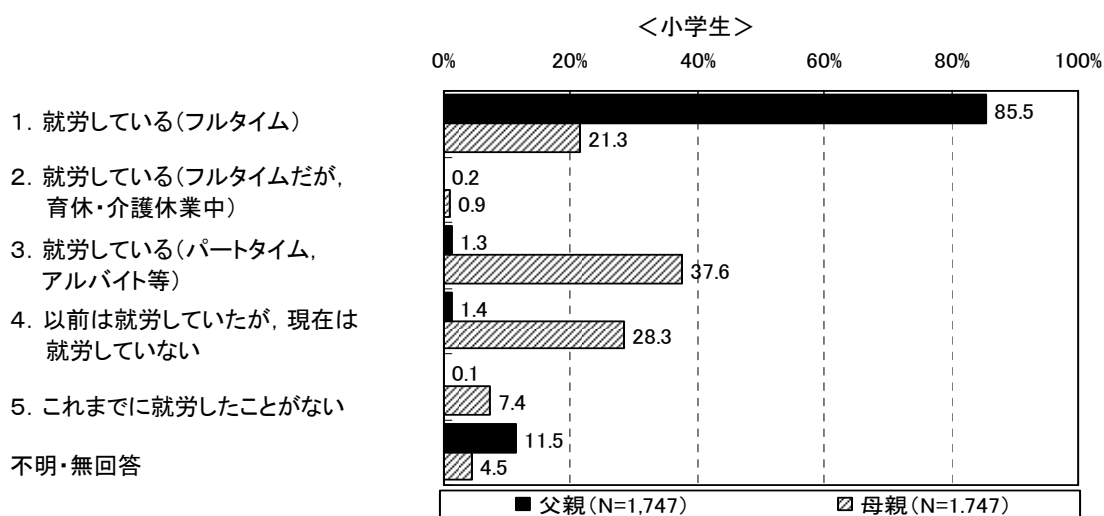
<就学前>

「父親」は「1. 就労している（フルタイム）」が87.7%と大半を占め、「母親」は「4. 以前は就労していたが、現在は就労していない」が51.4%と過半数を占めている。



<小学生>

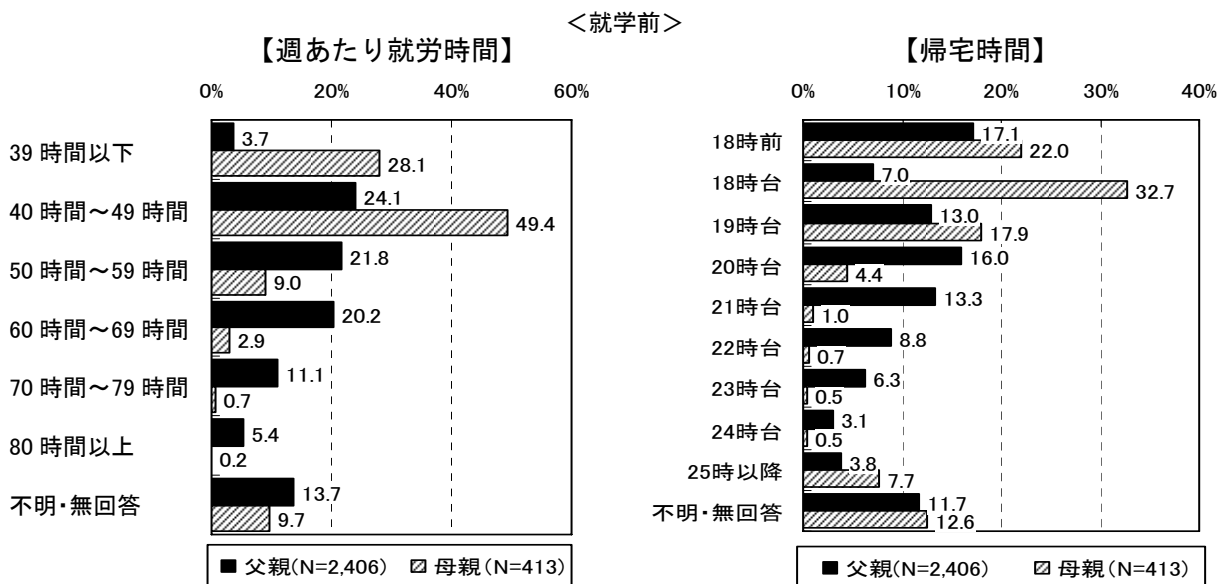
「父親」は「1. 就労している（フルタイム）」が85.5%と大半を占め、「母親」は「3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）」が37.6%と高くなっている。



①フルタイムで就労している保護者の状況

<就学前>

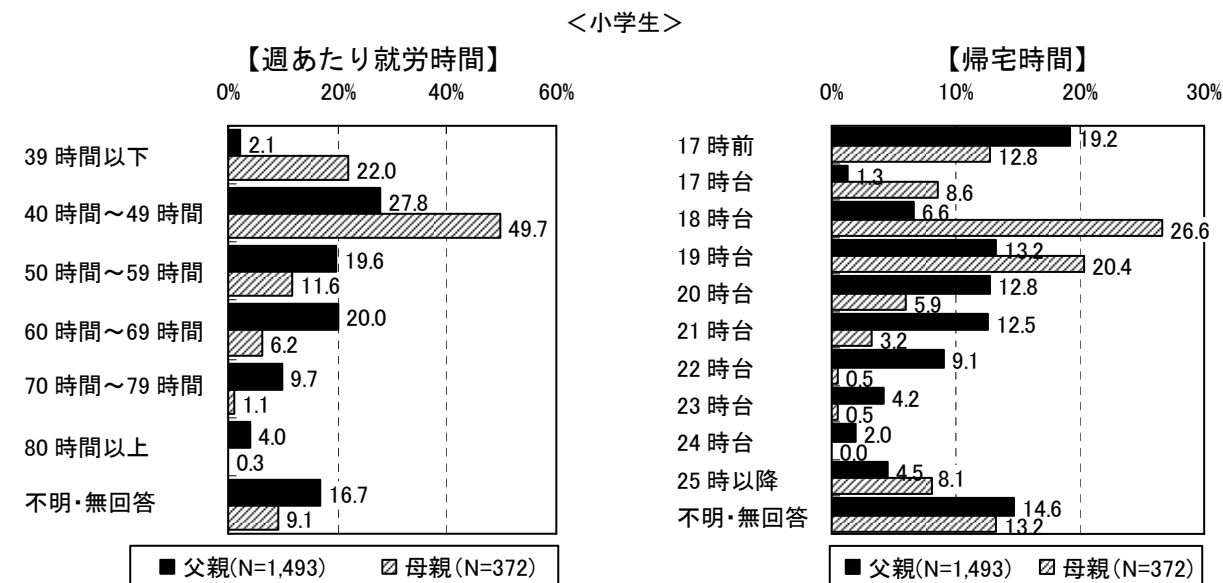
フルタイムの場合の1週間あたりの就労時間については、「母親」では「40時間～49時間」が約半数となっているのに対し、「父親」では50時間以上が半数以上となっている。それに比例して、帰宅時間についても、「母親」では「18時台」が最も高いのに対し、「父親」では「20時以降」が約半数になっており、父親の帰宅時間が母親より遅くなっている。



①フルタイムで就労している保護者の状況

<小学生>

フルタイムの場合の1週間あたりの就労時間については、「母親」では「40時間～49時間」が約半数を占めるのに対し、「父親」では50時間以上が半数以上となっている。それに比例して、帰宅時間についても、「母親」では「18時台」が最も高いのに対し、「父親」では「20時以降」が4割を超えており、父親の帰宅時間が母親より遅くなっている。



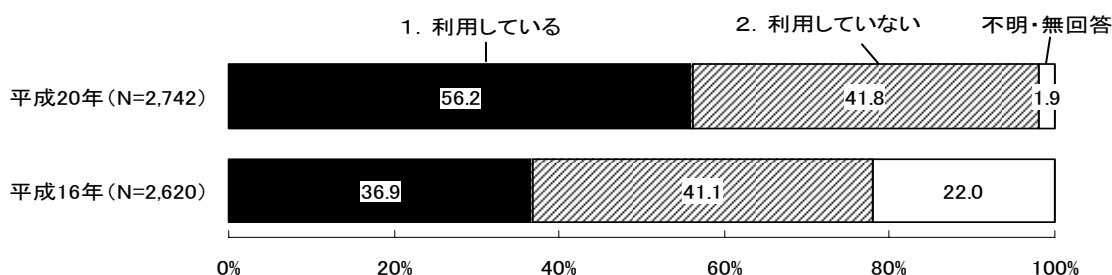
### 3 子育て支援施策・サービスの利用について（就学前）

（就学前 問10）

問 平日に、あて名のお子さんは保育所・幼稚園などの子育て支援施策や子育て支援サービスを利用していますか。

<就学前>

「1. 利用している」が56.2%、「2. 利用していない」が41.8%となっている。  
平成16年調査と比較すると、「1. 利用している」が19.3ポイント高くなっている。



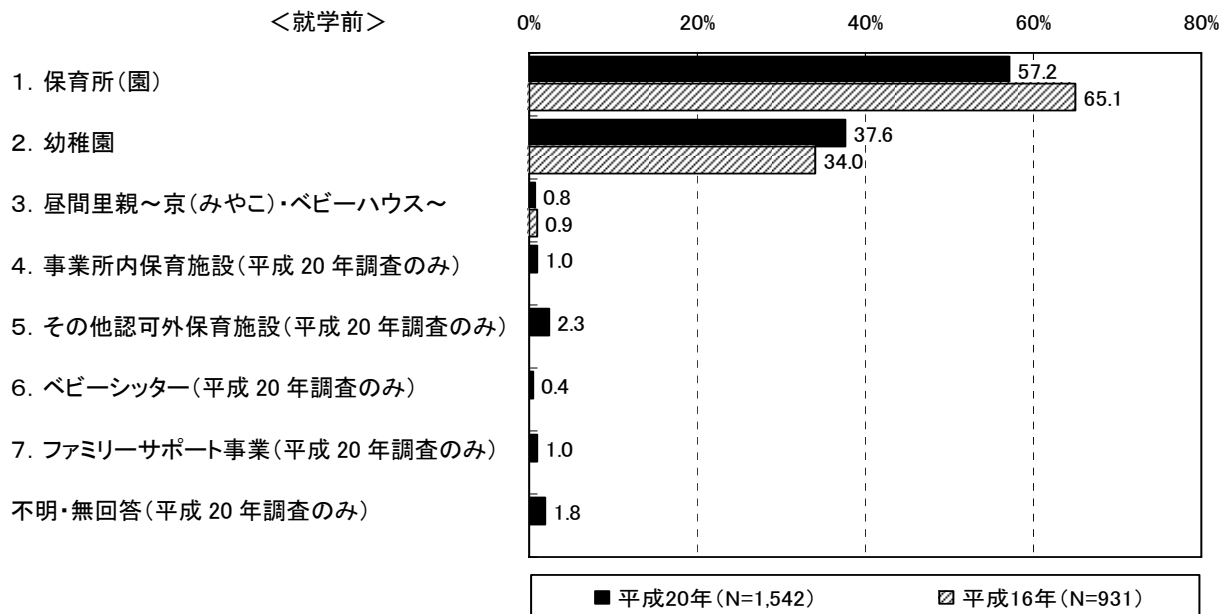
（就学前 問10-1）

問 問10で「1」を選ばれた方におうかがいします。

あて名のお子さんは、現在、どのような子育て支援施策・サービスをどれくらい利用していますか。（あてはまるものすべて） また、それぞれの利用時間をお答えください。

<就学前>

「1. 保育所（園）」が57.2%と最も高く、次いで「2. 幼稚園」が37.6%となっている。  
平成16年調査と比較すると、「1. 保育所（園）」が7.9ポイント低くなっているのに対して、「2. 幼稚園」は3.6ポイント高くなっている。



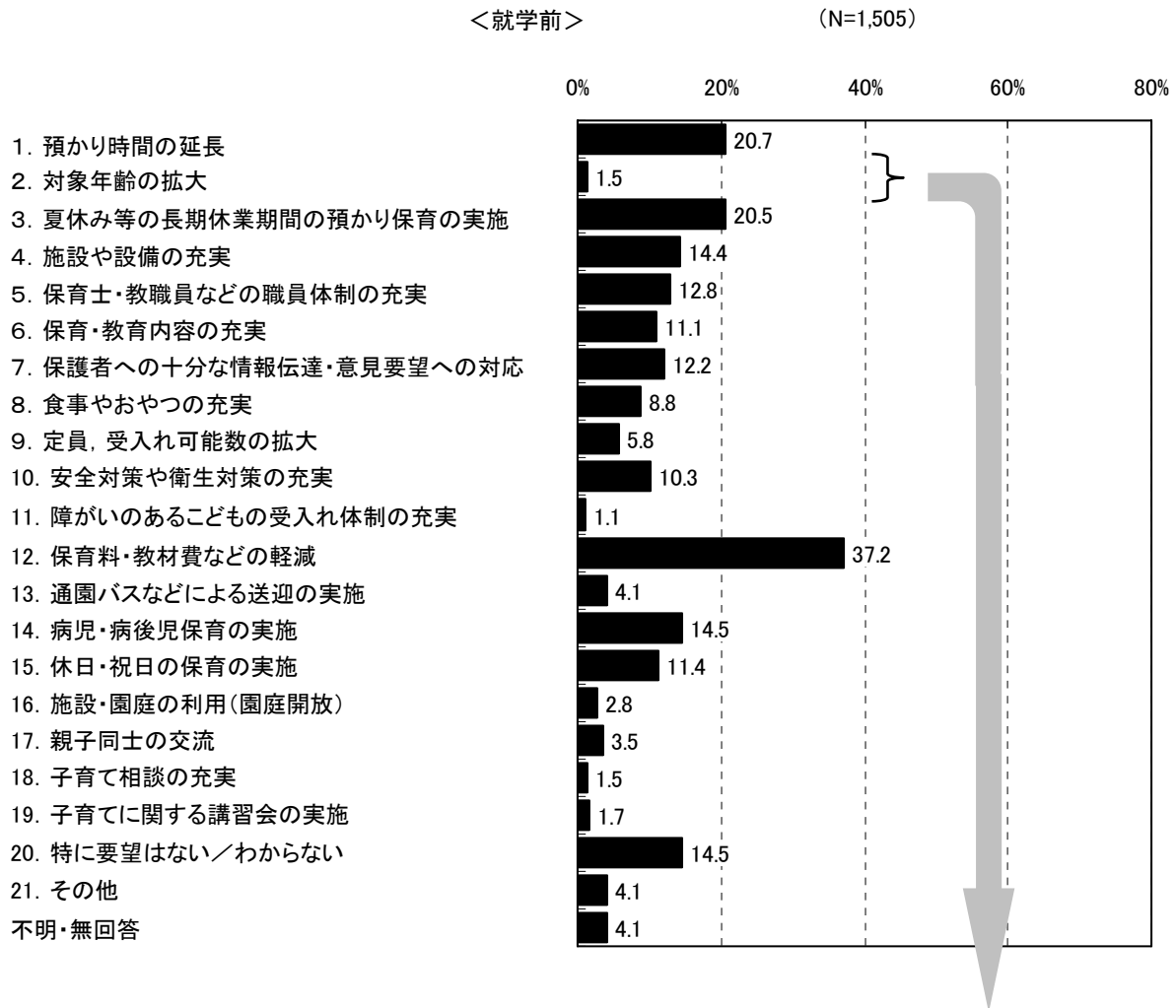
問 10-1 で「1」～「5」を選ばれた方におうかがいします。

(就学前 問 10-4)

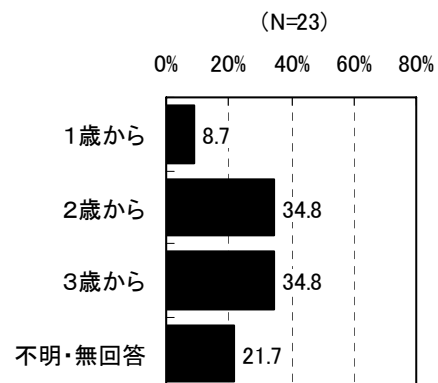
問 現在、お子さんが通っている保育所（園）や幼稚園等に関してどのような要望をお持ちですか。（主な要望3つまで）

<就学前>

通っている保育所（園）や幼稚園等への要望については、「12. 保育料・教材費などの軽減」が37.2%と最も高く、次いで「1. 預かり時間の延長」が20.7%となっている。

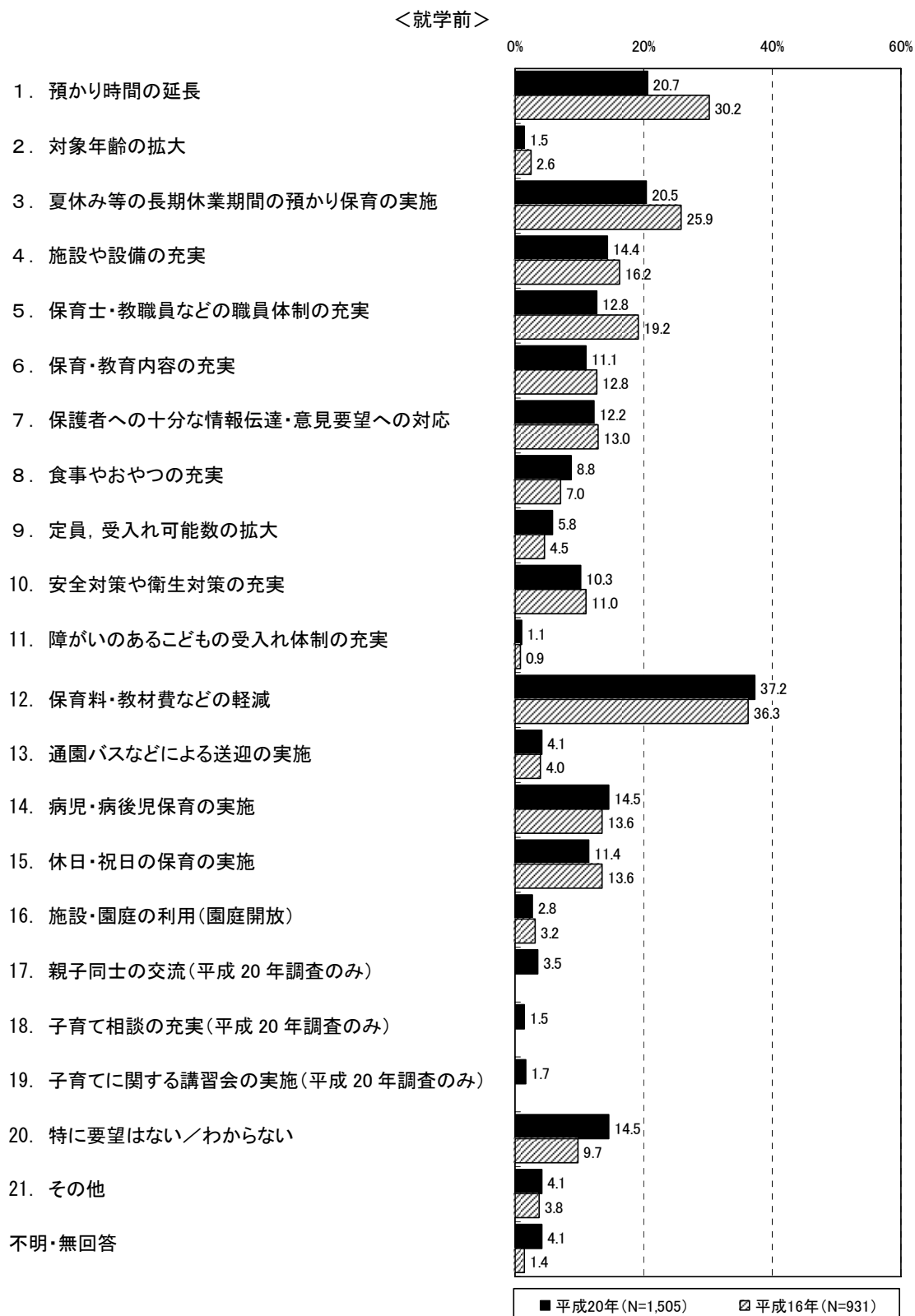


【「対象年齢の拡大」と答えた人が、希望している年齢】



【平成 16 年調査との比較】

平成 16 年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっているが、「1. 預かり時間の延長」が 30.2% から 20.7% と、9.5 ポイント低く、「3. 夏休み等の長期休業期間の預かり保育の実施」は 25.9% から 20.5% と、5.4 ポイント低くなっている。



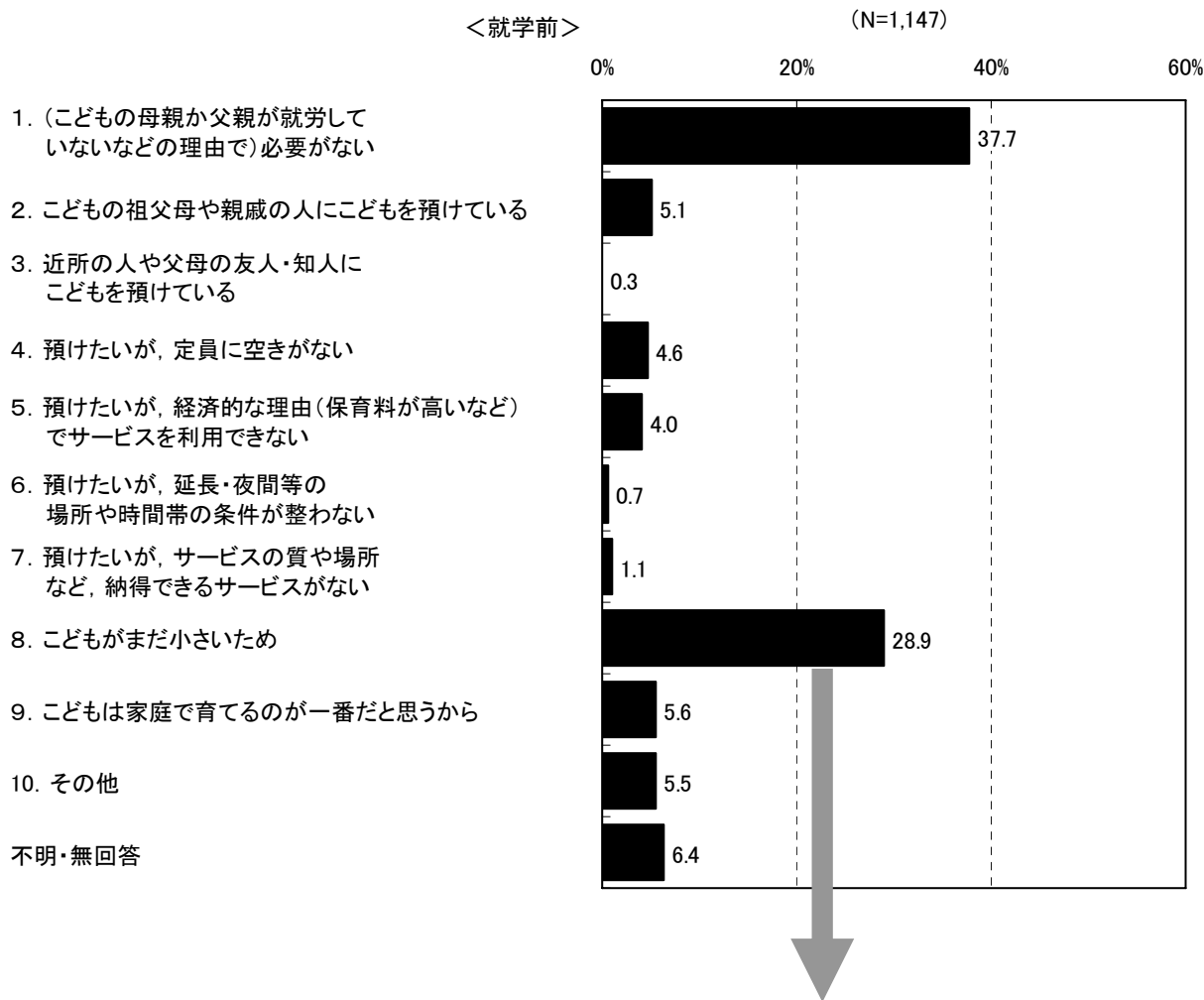
(就学前 問 10-5)

問 問 10 で「2」を選ばれた方におうかがいします。

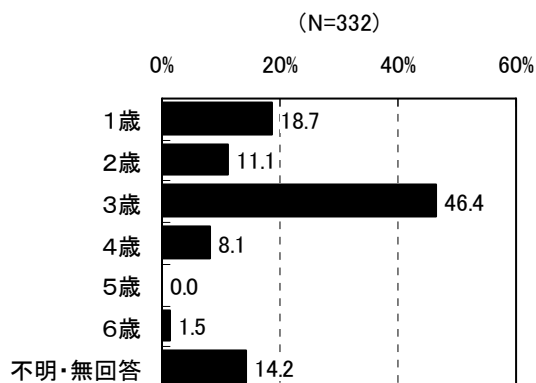
子育て支援施策・サービスを利用していない理由は何ですか。

<就学前>

「1. (こどもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 必要がない」が 37.7% と最も高く、次いで「8. こどもがまだ小さいため」が 28.9% となっている。



【「こどもがまだ小さいため」と答えた人が、預けようと考えている年齢】

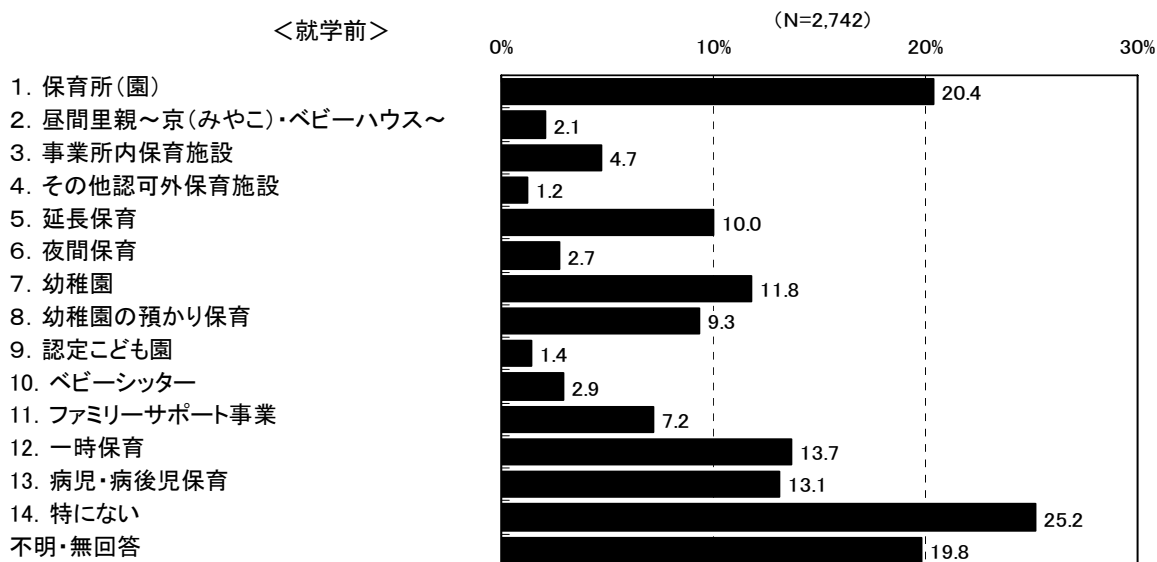


（就学前 問11）

問 平日に、あて名のお子さんに関して、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数・回数や利用時間が足りていないと思うサービスはどれですか。（あてはまるもの3つまで）

＜就学前＞

「1. 保育所（園）」が20.4%、「12. 一時保育」が13.7%と高いが、「14. 特にない」と回答した方が25.2%と最も高くなっている。



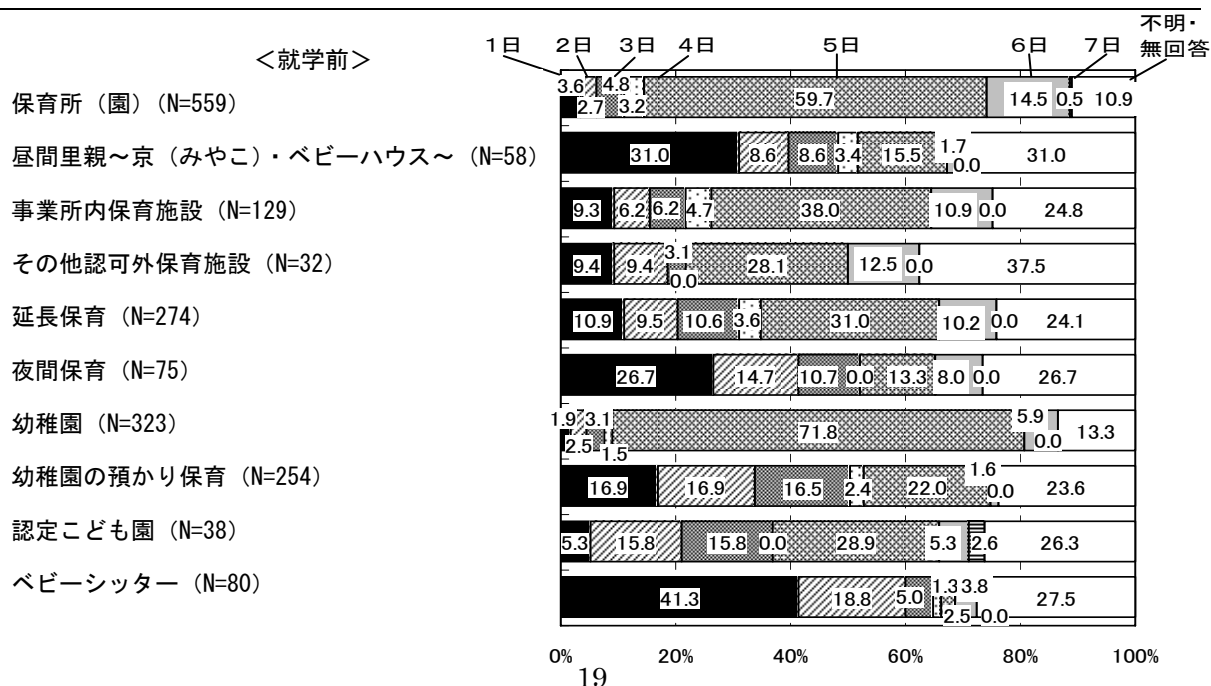
問11-1、問11-2は、問11で「1」～「10」を選ばれた方におうかがいします。

（就学前 問11-1）

問 選択されたサービスそれぞれについて、利用を希望する日数や時間帯をお答えください。

①週あたり利用希望日数

1週あたりの利用希望日数は、全体的に「5日」が高いが、「昼間里親～京（みやこ）・ベビーハウス～」「夜間保育」「ベビーシッター」では、「1日」が高くなっている。



(就学前 問 11-2)

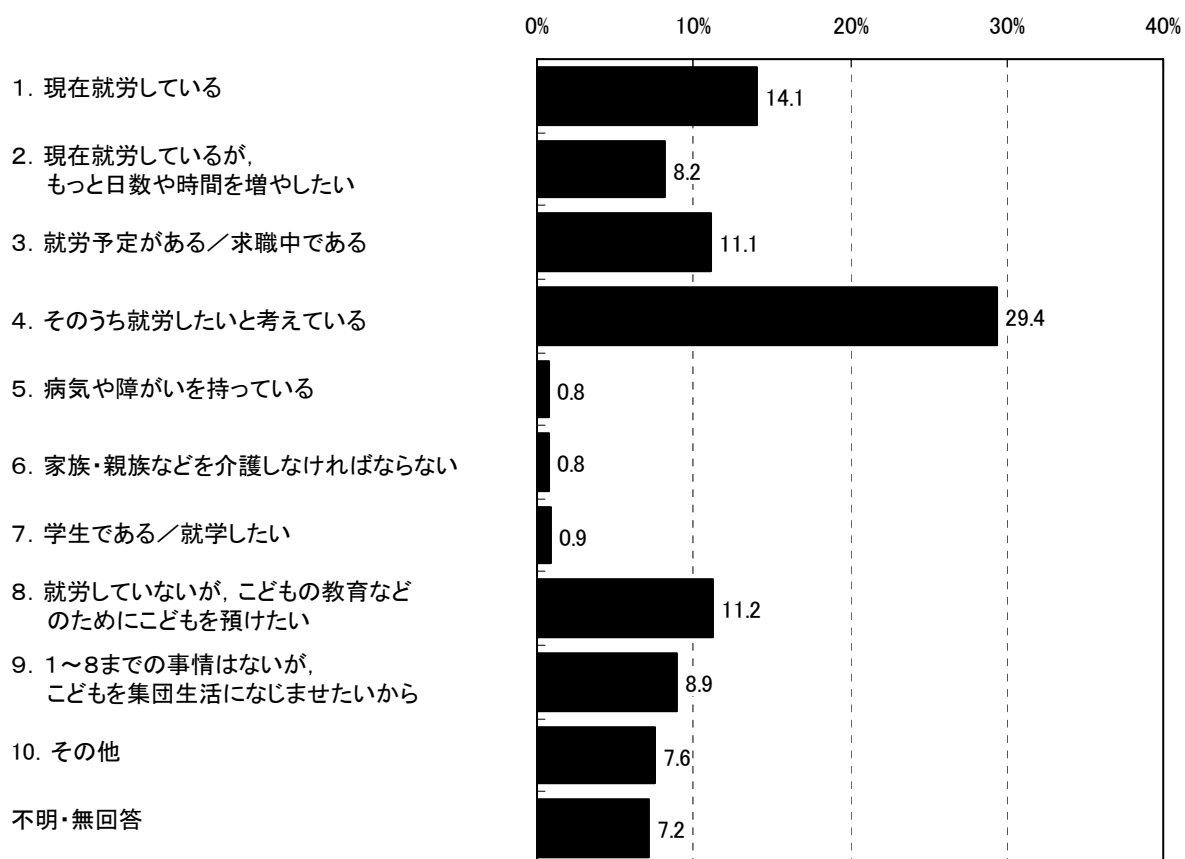
問 サービスを利用したいと考えている理由はどのようなことですか。

<就学前>

「4. そのうち就労したいと考えている」が 29.4%と最も高く、次いで「1. 現在就労している」が 14.1%と高くなっている。

<就学前>

(N=1,171)





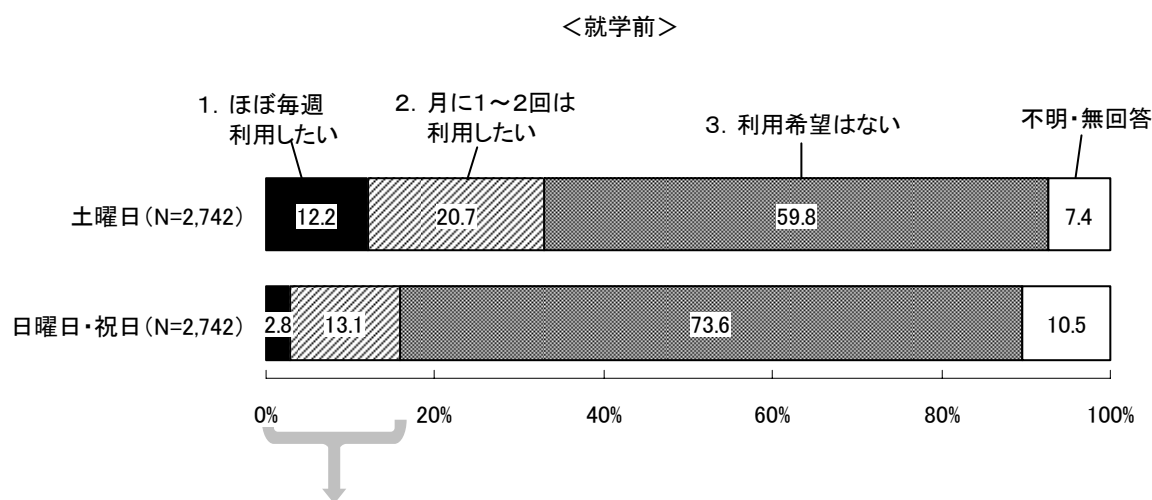
## 4 土曜日や日曜日・祝日における子育て支援施策・サービスの利用希望について（就学前）

（就学前 問12）

問 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、保育所（園）・幼稚園などの子育て支援施策・サービス（一時的な利用は除きます）の利用を希望されますか。

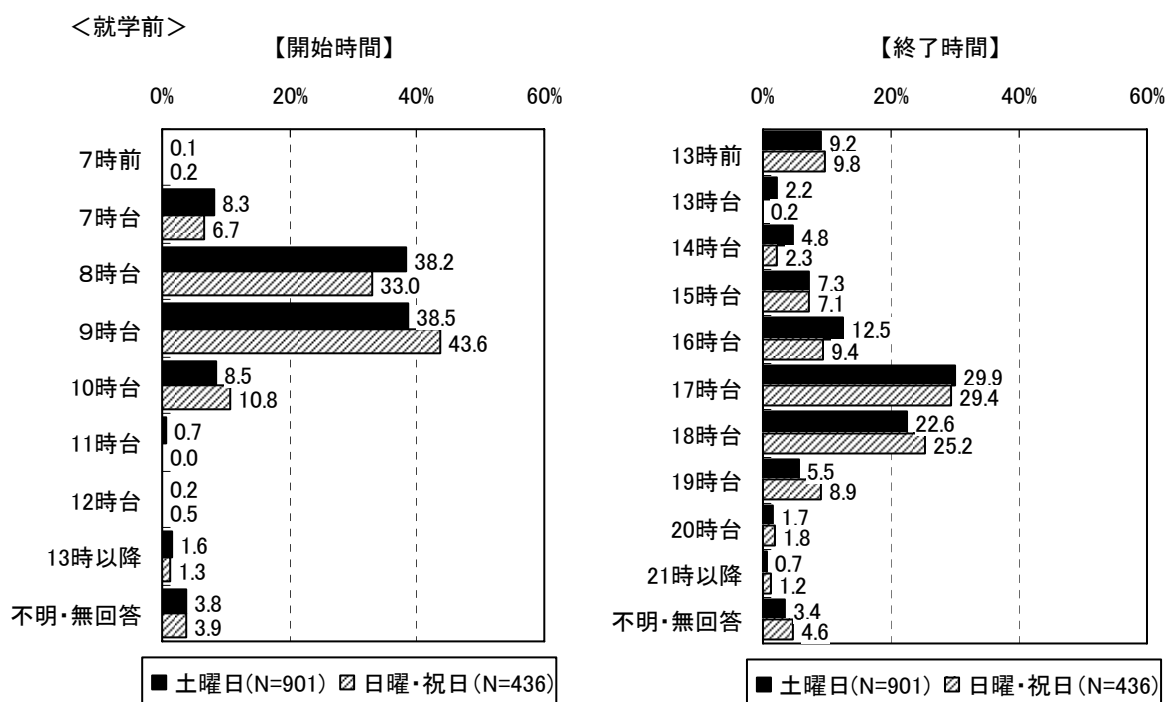
＜就学前＞

「土曜日」「日曜日・祝日」とともに「3. 利用希望はない」が半数以上を占めているが、「2. 月に1～2回は利用したい」と回答した方も、「土曜日」が20.7%、「日曜日・祝日」が13.1%あった。



〔利用希望時間〕

利用希望時間は、「土曜日」「日曜日・祝日」とともに、開始時間については「8時台」と「9時台」が高く、終了時間については「17時台」と「18時台」が高くなっている。



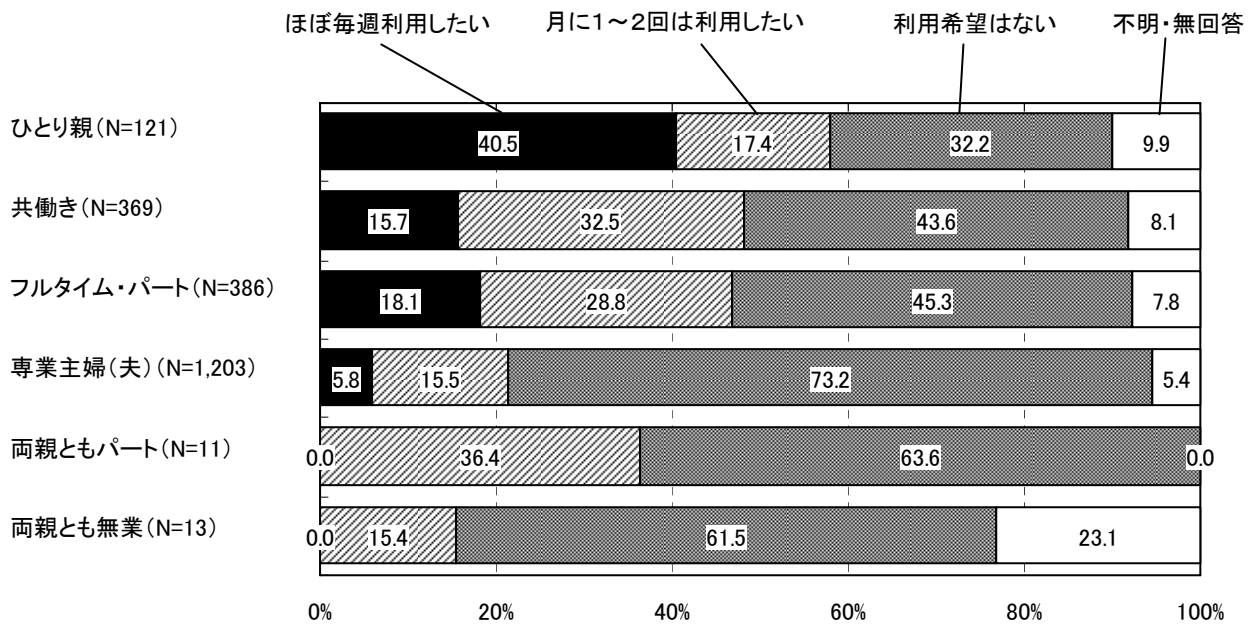
【家族類型別】

＜就学前＞

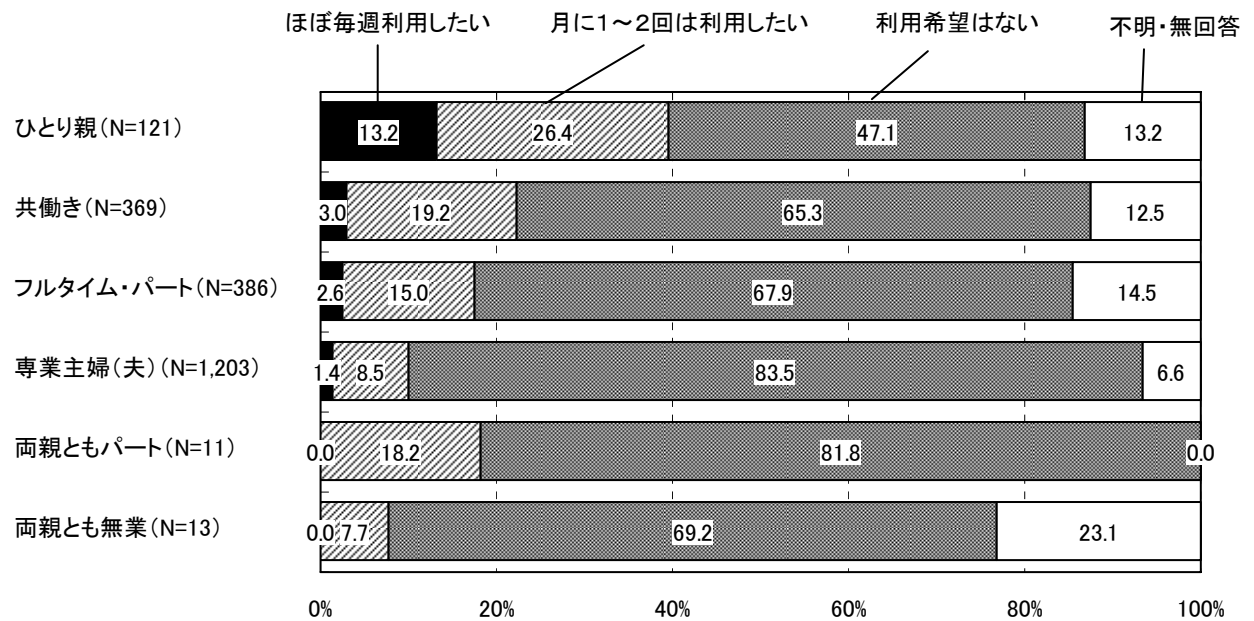
家族類型別にみると、「ひとり親」について「土曜日」では、他の区分と比較して「ほぼ毎週利用したい」の割合が最も高くなっているのに対し、「日曜日・祝日」では、他の区分と同様に「利用希望はない」の割合が最も高くなっている。

【土曜日】

＜就学前＞



【日曜日・祝日】



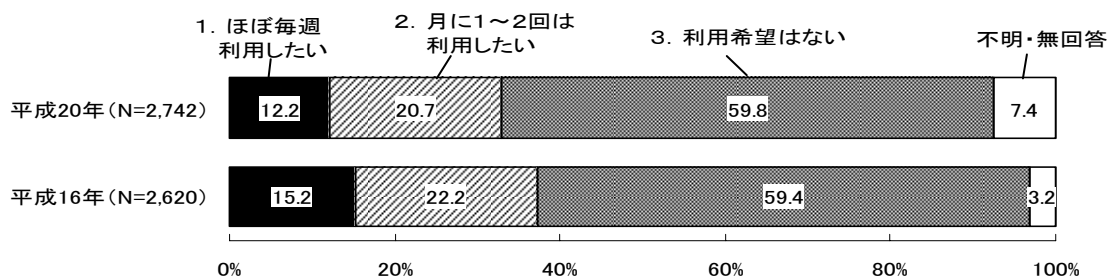
【平成 16 年調査との比較】

＜就学前＞

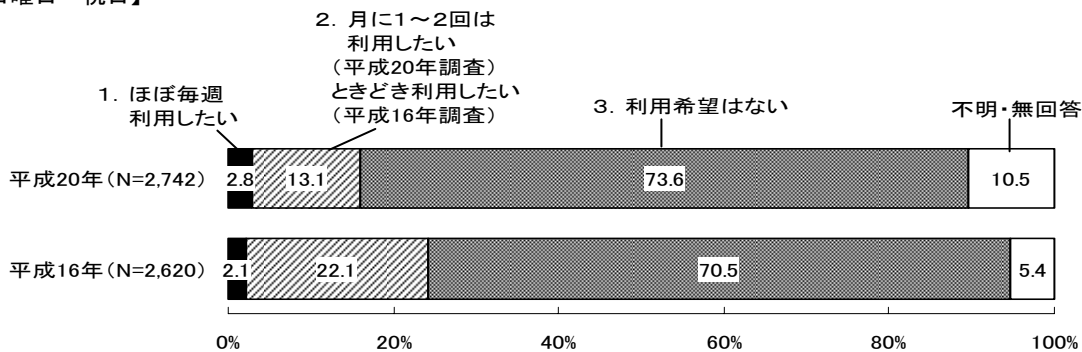
平成 16 年調査と比較すると、「土曜日」「日曜日・祝日」ともに「2. 月に1～2回は利用したい／ときどき利用したい」の割合が低くなっている。

【土曜日】

＜就学前＞



【日曜日・祝日】



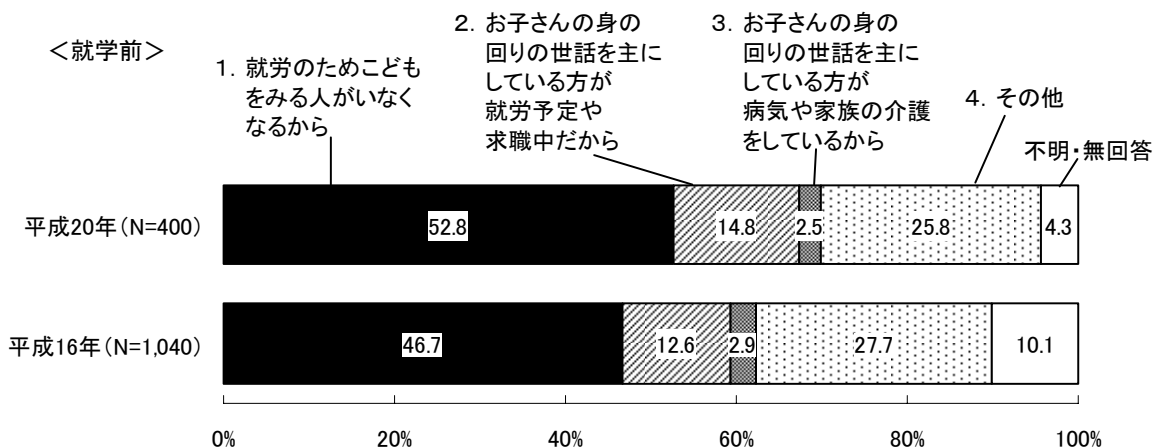
（就学前 問 12-1）

問 土曜日、日曜日・祝日にお子さんを預けたい理由は何ですか。

＜就学前＞

土曜日、日曜日・祝日に預けたい理由をみると、「1. 就労のためこどもをみる人がいなくなるから」が52.8%となっている。

平成 16 年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



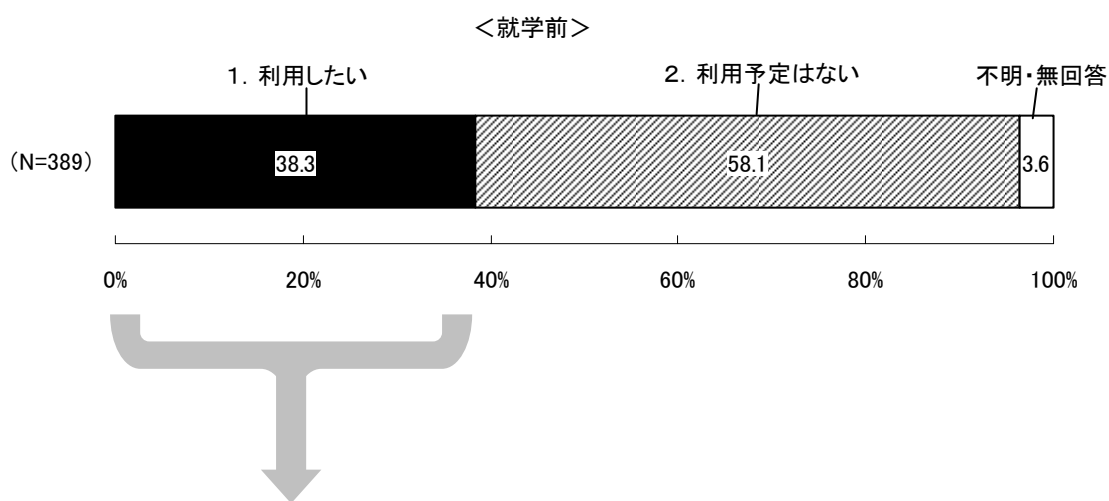
## 5 小学校入学以降の学童クラブ事業利用の希望について（就学前）

（就学前 問13）

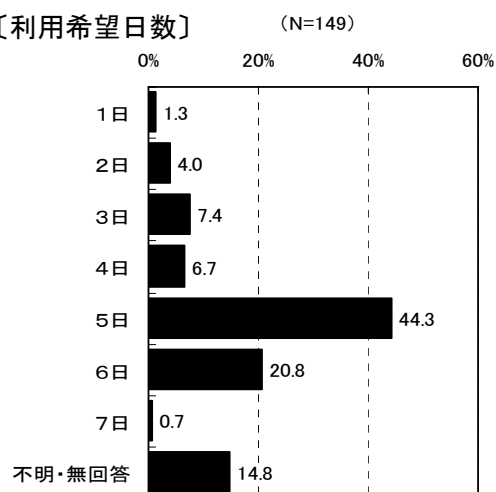
問 来年度就学予定の児童を持つ保護者の方におうかがいします。

あて名のお子さんについて、小学校入学以降、学童クラブ事業を利用したいと思いますか。

「1. 利用したい」が38.3%、「2. 利用予定はない」が58.1%となっている。利用希望日数は「5日」が44.3%と最も高くなっている。



〔利用希望日数〕



## 6 学童クラブ事業の利用について（小学生）

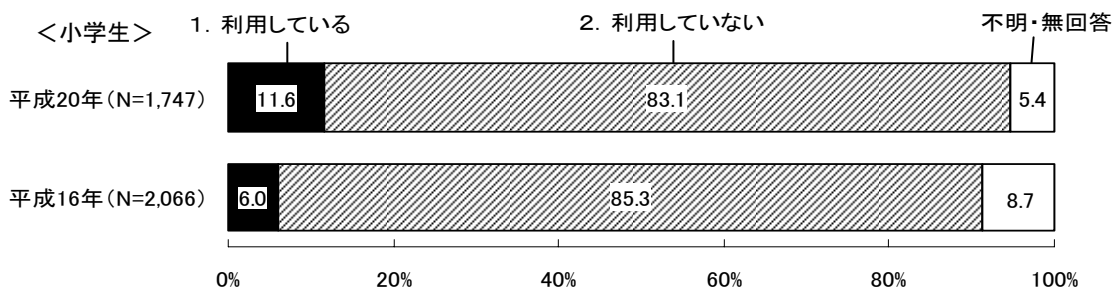
（小学生 問 10）

問 あて名のお子さんは、現在、学童クラブ事業を利用していますか。

＜小学生＞

学童クラブ事業の利用者の割合は 11.6%となっている。

平成 16 年調査と比較すると、「1. 利用している」がやや高くなっている。

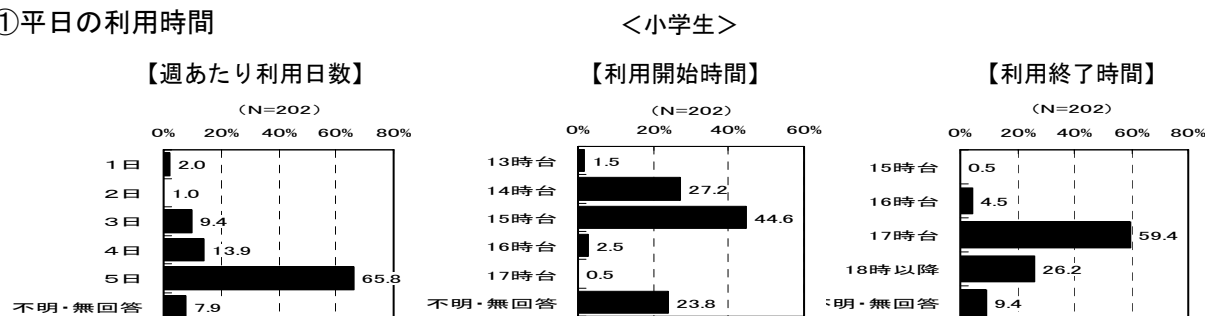


問 10-1～問 10-3 は、問 10 で「1」を選ばれた方におうかがいします。

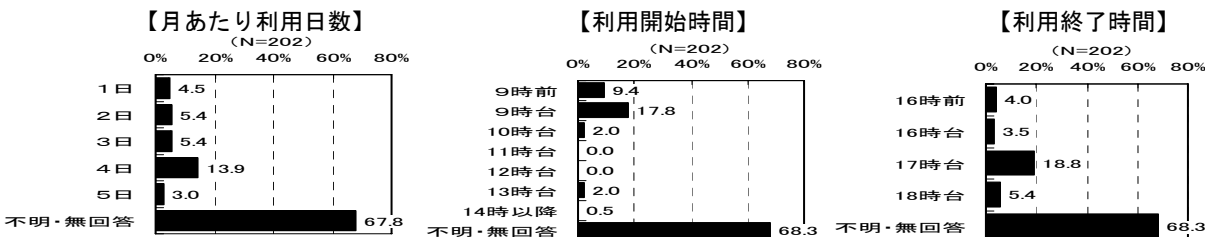
（小学生 問 10-1）

問 学童クラブ事業を利用されている時間をお答えください。

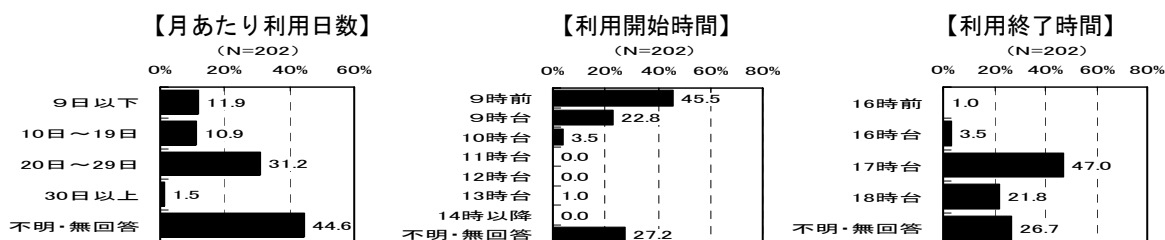
### ①平日の利用時間



### ②土曜日の利用時間



### ③学校長期休業中の利用時間



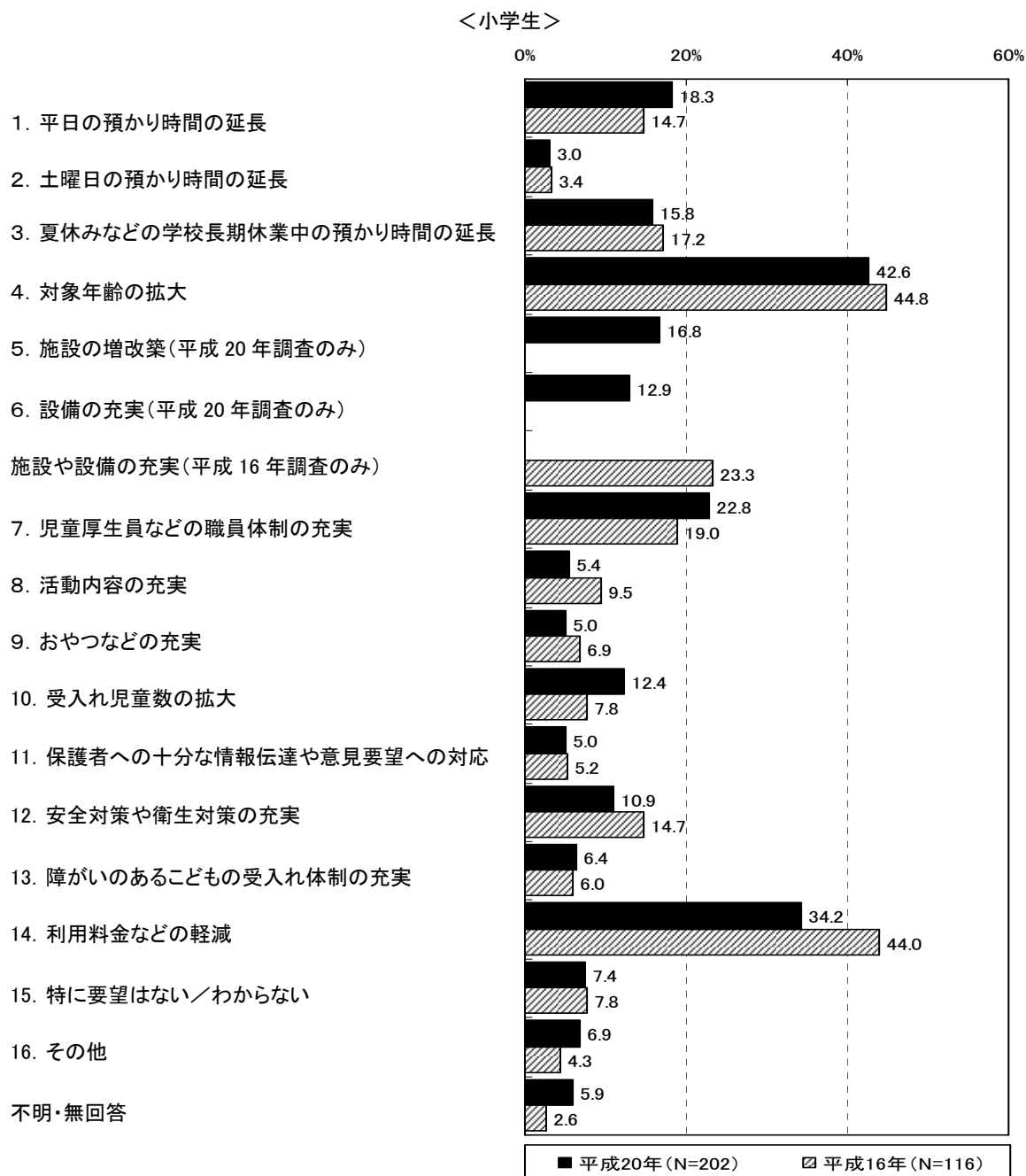
(小学生 問10-3)

問 現在、お子さんが通っている学童クラブに関してどのような要望をお持ちですか。(主な要望3つまで)

<小学生>

「4. 対象年齢の拡大」が42.6%と最も高く、このほか「14. 利用料金などの軽減」「7. 児童厚生員などの職員体制の充実」「1. 平日の預かり時間の延長」などの要望が高くなっている。

平成16年調査と比較すると、「14. 利用料金などの軽減」が44.0%から34.2%と、9.8ポイント低くなっている。



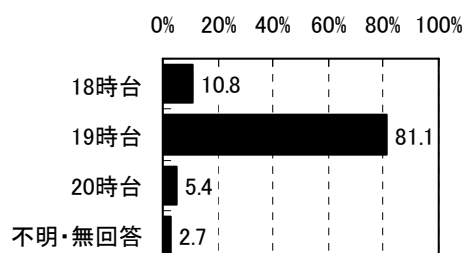
<小学生>

①平日の預かり時間の延長希望

「19時台」への延長の要望が高くなっている。

【閉所時間】

(N=37)

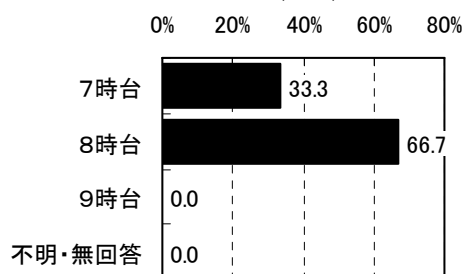


②土曜日の預かり時間の延長希望

開所時間は「8時台」、閉所時間は「19時台」の要望が高くなっている。

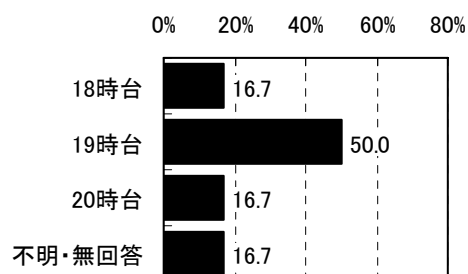
【開所時間】

(N=6)



【閉所時間】

(N=6)

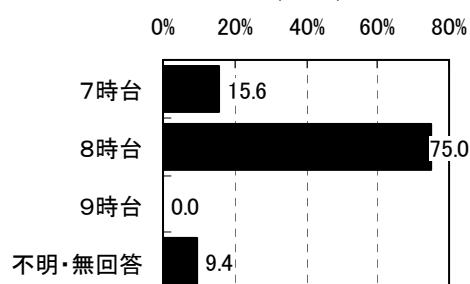


③夏休みなどの学校長期休業中の預かり時間の延長希望

開所時間は「8時台」、閉所時間は「19時台」の要望が高くなっている。

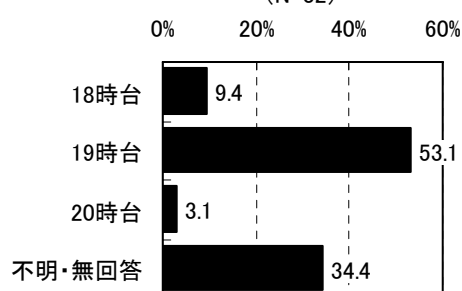
【開所時間】

(N=32)



【閉所時間】

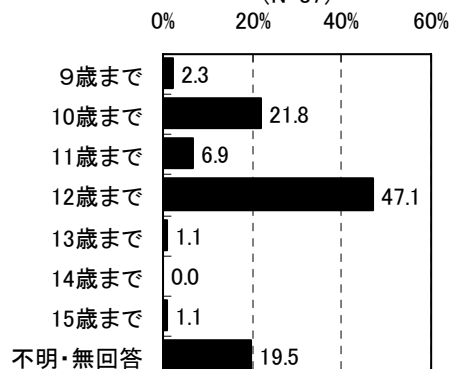
(N=32)



④対象年齢の拡大希望

「12歳まで」の拡大の要望が高くなっている。

(N=87)



問 10-4, 問 10-5 は, 問 10 で「2」を選ばれた方におうかがいします。

(小学生 問 10-4)

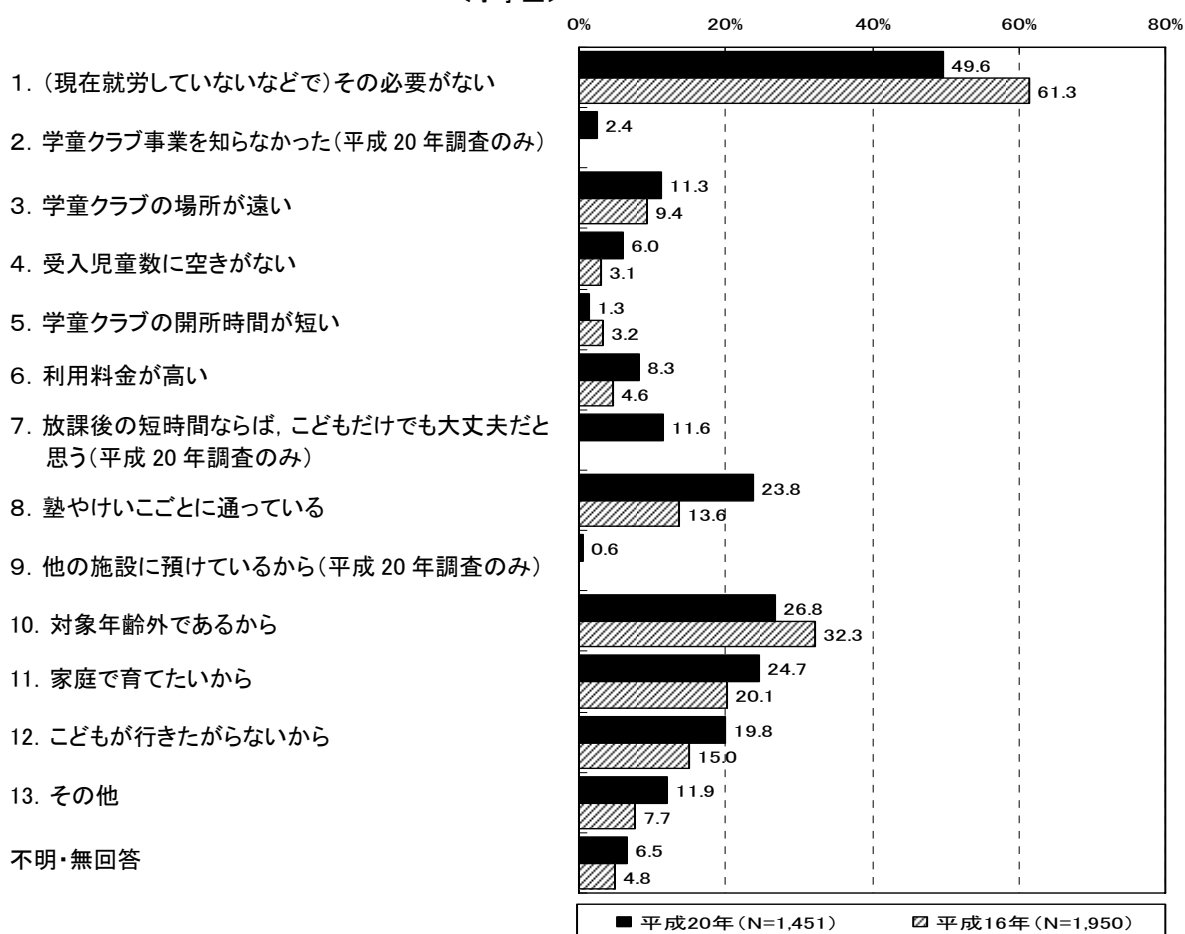
問 学童クラブ事業を利用していない理由についてお答えください。(理由の大きい順に3つまで)

<小学生>

「1. (現在就労していないなどで) その必要がない」が 49.6%と最も高く, このほか「10. 対象年齢外であるから」が 26.8%, 「11. 家庭で育てたいから」が 24.7%, 「8. 塾やけいごとに通っている」が 23.8%と高くなっている。

平成 16 年調査と比較すると, 「1. (現在就労していないなどで) その必要がない」が 11.7 ポイント低く, 「8. 塾やけいごとに通っている」は 10.2 ポイント高くなっている。

<小学生>

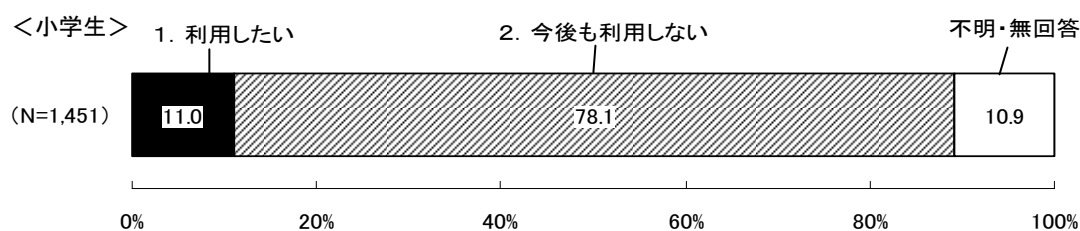


(小学生 問 10-5)

問 今後, 学童クラブ事業を利用したいとお考えですか。

<小学生>

学童クラブ事業の今後の利用意向については「1. 利用したい」が 11.0%となっている。





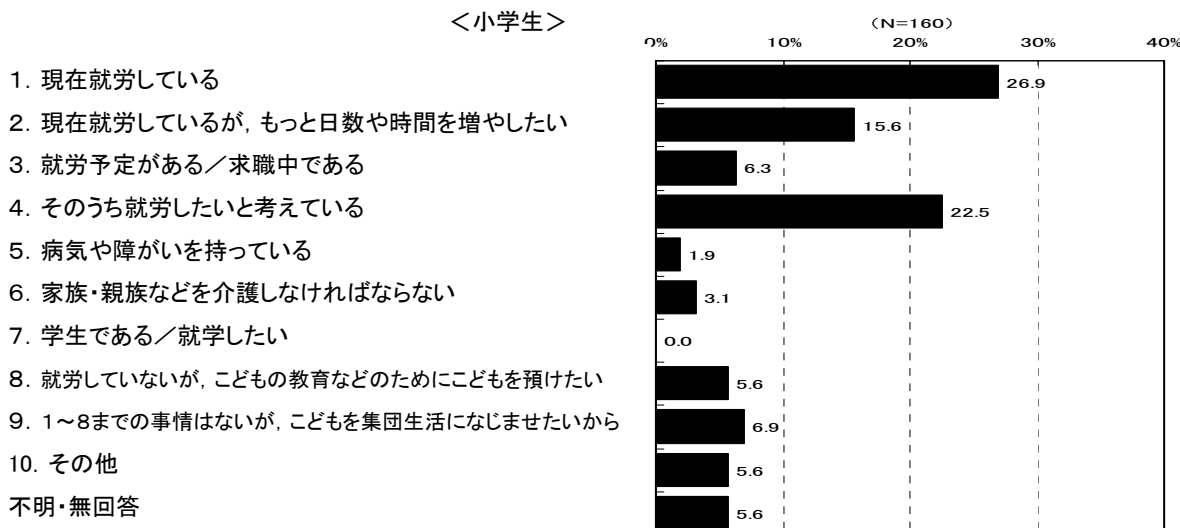
問 10-6、問 10-7 は、問 10-5 で「1」を選ばれた方におうかがいします。

（小学生 問 10-6）

問 今後、学童クラブ事業を利用したいと考えている理由はどのようなことですか。

＜小学生＞

「1. 現在就労している」が 26.9%と最も高く、次いで「4. そのうち就労したいと考えている」が 22.5%と高くなっている。



（小学生 問 10-7）

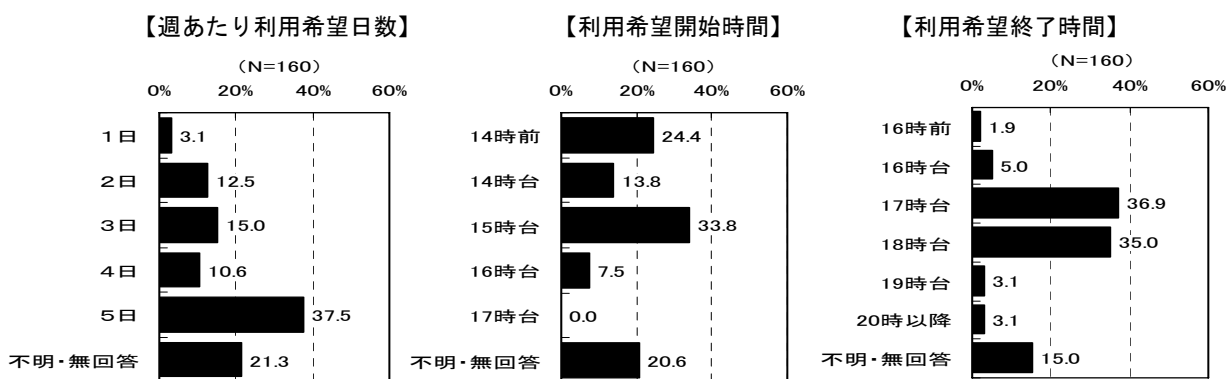
問 利用を希望する日数や時間帯をお答えください。

①平日の利用希望

＜小学生＞

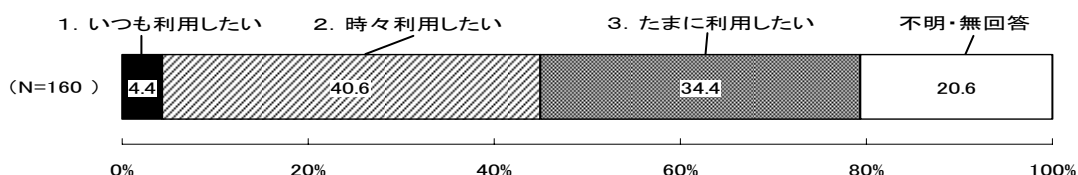
週あたりの利用希望日数は「5日」が 37.5%と最も高くなっている。

利用時間は、開始時間が「15時台」、終了時間が「17時台」と「18時台」で高くなっている。



②休日の利用希望

「2. 時々利用したい」が 40.6%、「3. たまに利用したい」が 34.4%と高くなっている。



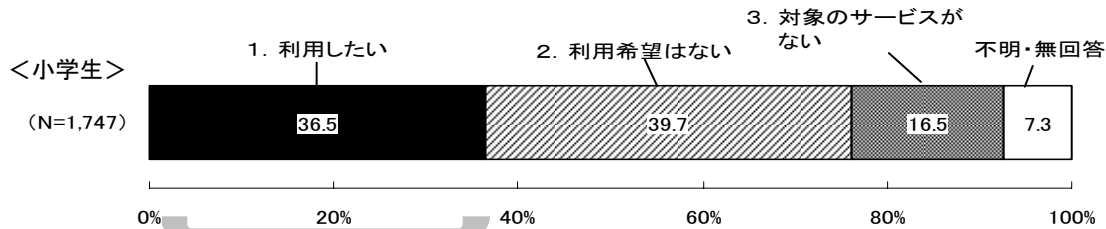
ここからはすべての方におうかがいします。

(小学生 問11)

問 地域によっては、学童クラブ事業と連携して行うサービスとして『放課後まなび教室』がありますが、その利用希望はありますか。

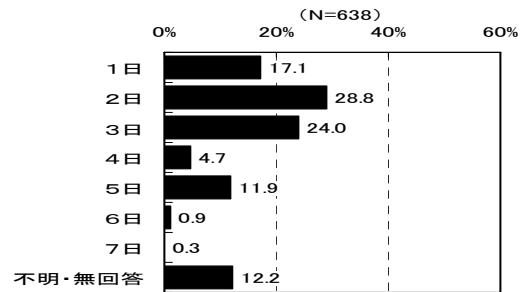
<小学生>

「2. 利用希望はない」が39.7%と高い一方、「1. 利用したい」も36.5%と高くなっている。



〔週あたりの利用希望〕

週あたりの利用希望日数は、「2日」と「3日」が高くなっている。



(小学生 問12)

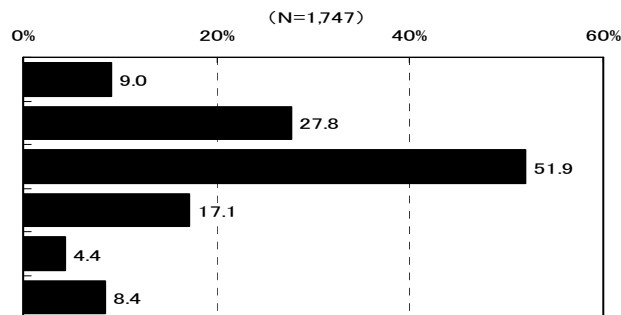
問 あて名のお子さんの小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。

<小学生>

「3. クラブ活動や習い事をさせたい」が51.9%と最も高く、次いで「2. 放課後まなび教室を利用したい」が27.8%と高くなっている。

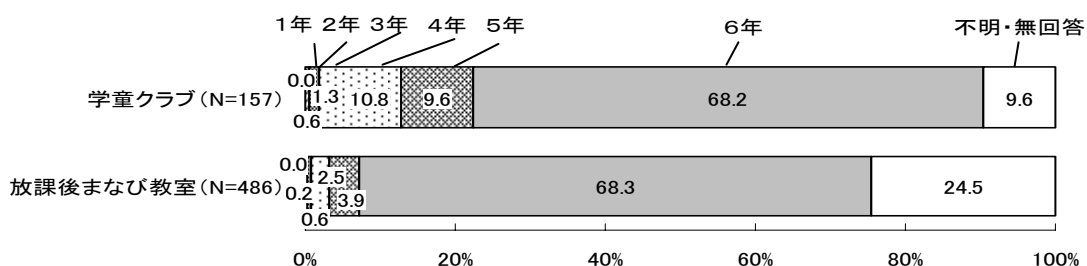
<小学生>

1. 学童クラブ授業を利用したい
  2. 放課後まなび教室を利用したい
  3. クラブ活動や習い事をさせたい
  4. 希望は特にない
  5. その他
- 不明・無回答



〔学童クラブ・放課後まなび教室について、小学何年生まで利用したいか〕

学童クラブ、放課後まなび教室ともに小学「6年」までが高くなっている。



## 7 病気・病後時の対応について（就学前，小学生）

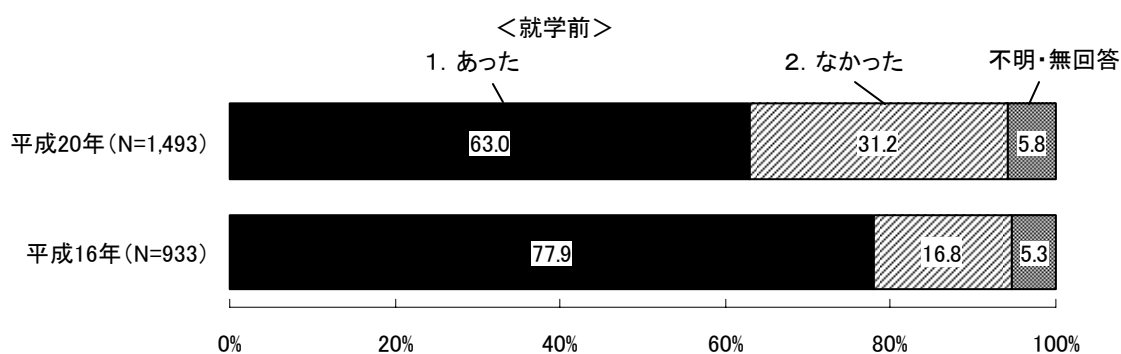
（就学前 問 14）

問 この1年間に、あて名のお子さんが病気や病気の回復期であるために、保育所（園）、幼稚園、昼間里親、その他認可外保育施設を利用できなかったことがありましたか。

<就学前>

「1. あった」が63.0%、「2. なかった」が31.2%となっている。

平成16年調査と比較すると、「1. あった」が14.9ポイント低くなっている。

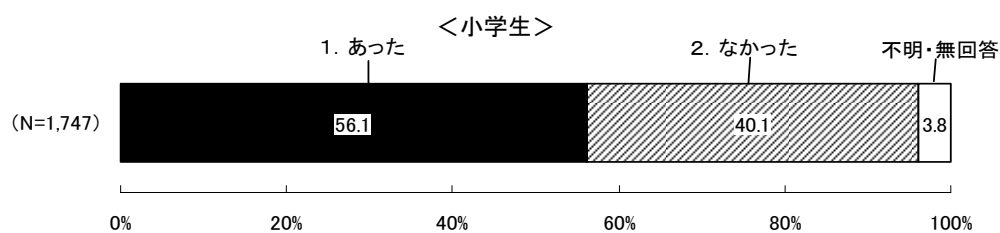


（小学生 問 13）

問 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありましたか。

<小学生>

「1. あった」が56.1%と半数を超えている。



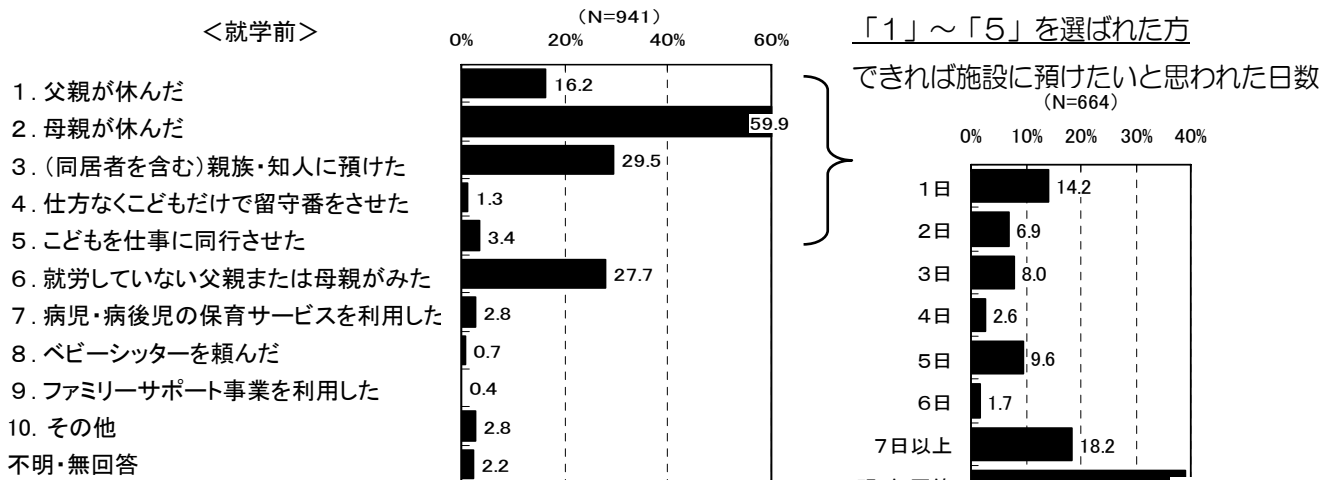
(就学前 問 14-1)

問 問 14で「1」を選ばれた方におうかがいします。

この1年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。(あてはまるものすべて)

<就学前>

「2. 母親が休んだ」が59.9%と最も高く、次いで「3. (同居者を含む) 親族・知人に預けた」「6. 就労していない父親または母親がみた」がそれぞれ3割弱と高くなっている。できれば施設に預けたい日数については、「7日以上」が18.2%、「1日」が14.2%と高くなっている。



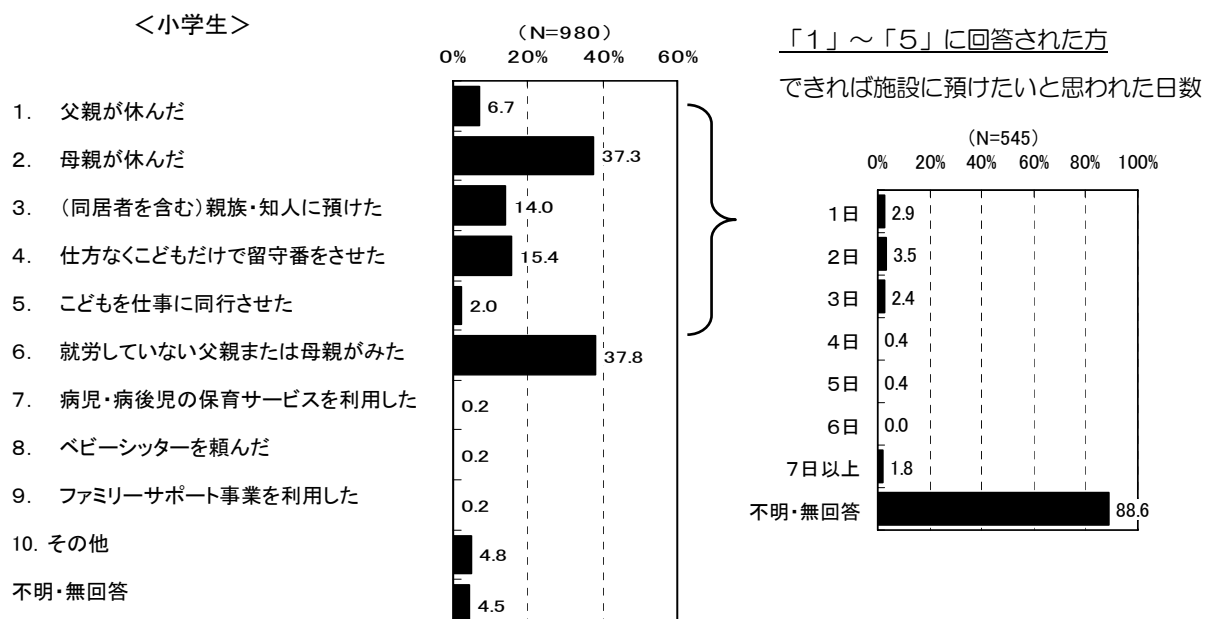
(小学生 問 13-1)

問 問 13で「1」を選ばれた方におうかがいします。

この1年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。(あてはまるものすべて)

<小学生>

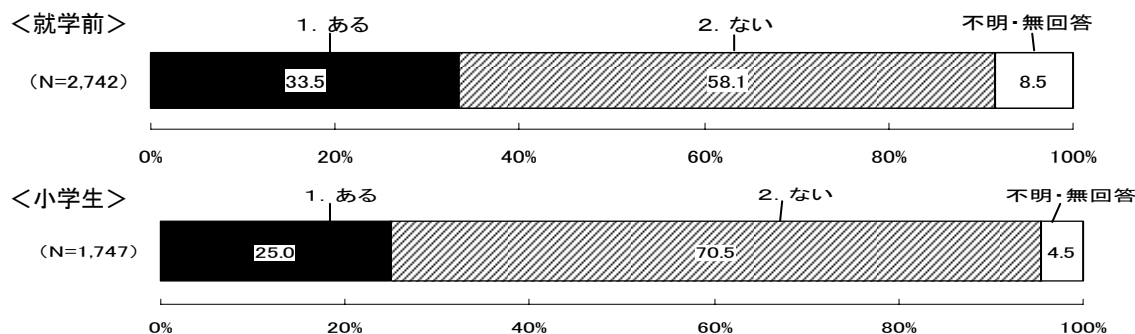
「6. 就労していない父親または母親がみた」が37.8%と最も高く、次いで「2. 母親が休んだ」が37.3%と高くなっている。



## 8 宿泊を伴わない一時預かりについて（就学前，小学生）

（就学前 問 15，小学生 問 14）

問 この1年間で、私用（買物，習い事，スポーツ，会合，美容院など）やリフレッシュ目的，冠婚葬祭や保護者の病気，あるいは就労のため，お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。



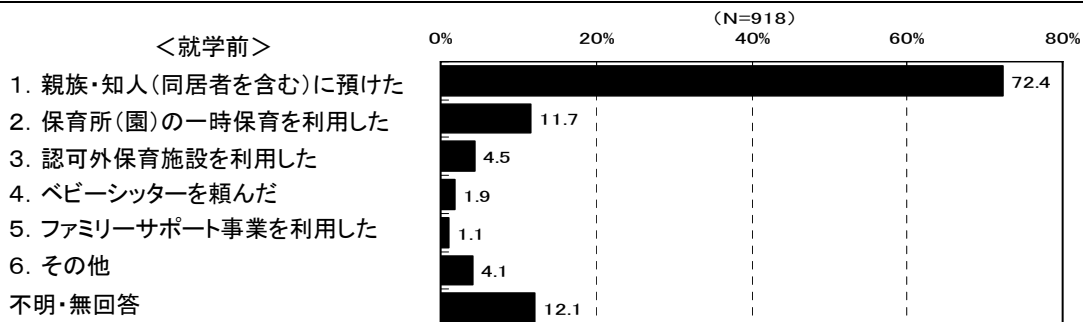
（就学前 問 15-1，小学生 問 14-1）

問 前問で「1」を選ばれた方におうかがいします。

この1年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。（あてはまるものすべて）

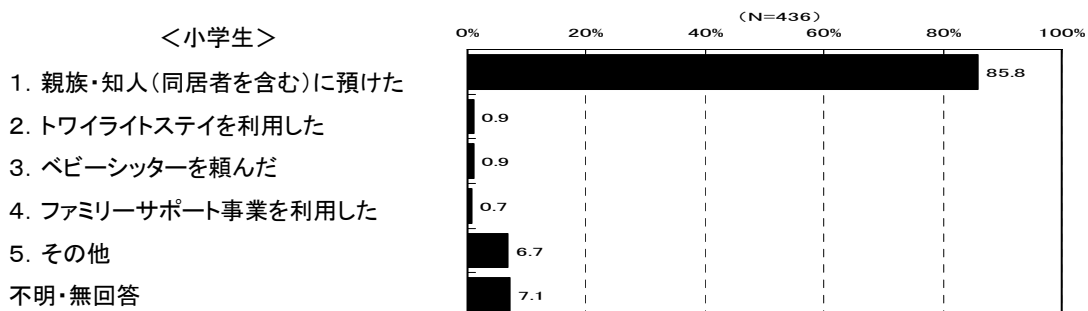
＜就学前＞

この1年間に、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことがある方の対処方法については「1. 親族・知人（同居者を含む）に預けた」が7割以上を占めている。



＜小学生＞

この1年間に、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことがある方の対処方法については「1. 親族・知人（同居者を含む）に預けた」が8割以上を占めている。



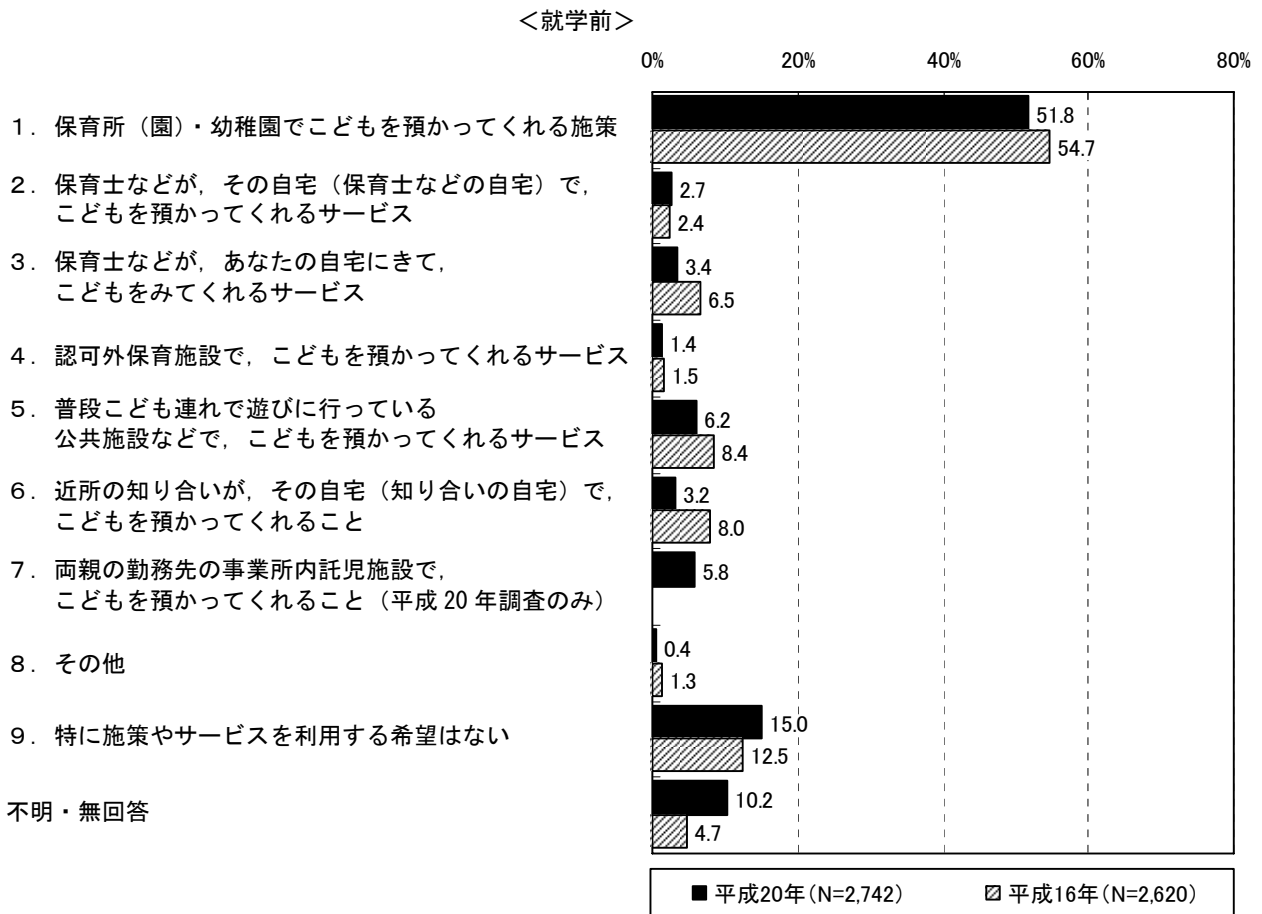
(就学前 問 16, 小学生 問 15)

問 日中(宿泊を伴わない時間帯)に一時的にお子さんを預けたい場合、どのような子育て支援施策・サービスを最も利用したいと思いますか。

<就学前>

「1. 保育所(園)・幼稚園で子どもを預かってくれる施策」が5割以上となっている。

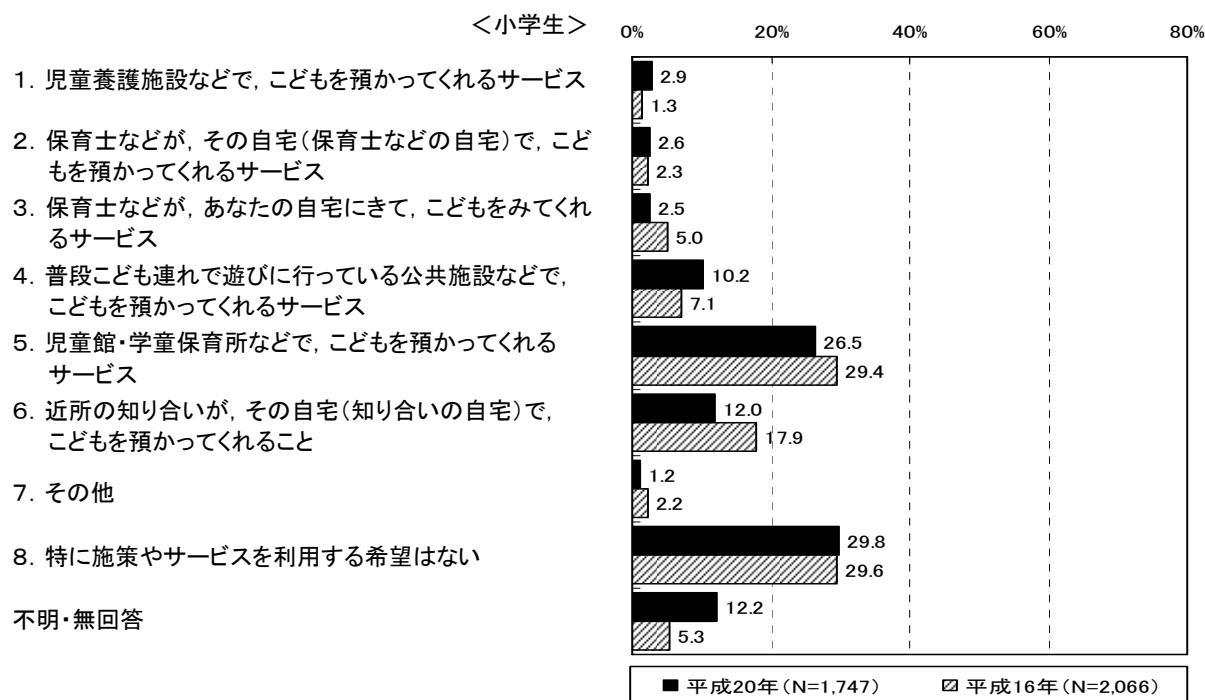
平成16年調査と比較すると、全体的に同様の結果となっているが、「6. 近所の知り合いが、その自宅(知り合いの自宅)で、子どもを預かってくれること」「3. 保育士などが、あなたの自宅にきて、子どもをみてくれるサービス」が低くなっている。



＜小学生＞

「8. 特に施策やサービスを利用する希望はない」が29.8%と最も高く、次いで「5. 児童館・学童保育所などで、子どもを預かってくれるサービス」が26.5%となっている。

平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



【こどもの学年別】

＜小学生＞

こどもの学年別にみると、「1年生」～「3年生」では「児童館・学童保育所などで、子どもを預かってくれるサービス」、「4年生」～「6年生」では「特に施策やサービスを利用する希望はない」の割合が最も高くなっている。

学年別	回答者数(人)	児童養護施設などで、子どもを預かってくれるサービス	保育士などが、その自宅(保育士などの自宅)で、子どもを預かってくれるサービス	保育士などが、あなたの自宅にきて、子どもをみてくれるサービス	普段子ども連れで遊びに行っている公共施設などで、子どもを預かってくれるサービス	児童館・学童保育所などで、子どもを預かってくれるサービス
		1年生	270	4.4	3.3	1.9
2年生	277	2.9	1.8	4.0	11.6	33.6
3年生	297	2.7	3.0	3.0	10.1	29.6
4年生	282	3.9	3.5	1.8	10.3	20.9
5年生	265	2.3	0.8	1.9	9.4	21.5
6年生	300	1.3	3.3	3.0	8.0	17.3

学年別	回答者数(人)	近所の知り合いが、その自宅(知り合いの自宅)で、子どもを預かってくれること	その他	特に施策やサービスを利用する希望はない	不明・無回答
		1年生	270	12.2	1.5
2年生	277	14.1	1.4	17.3	13.4
3年生	297	11.4	1.3	26.3	12.5
4年生	282	9.6	1.1	35.5	13.5
5年生	265	13.2	1.5	36.6	12.8
6年生	300	12.0	0.3	43.3	11.3

単位：%

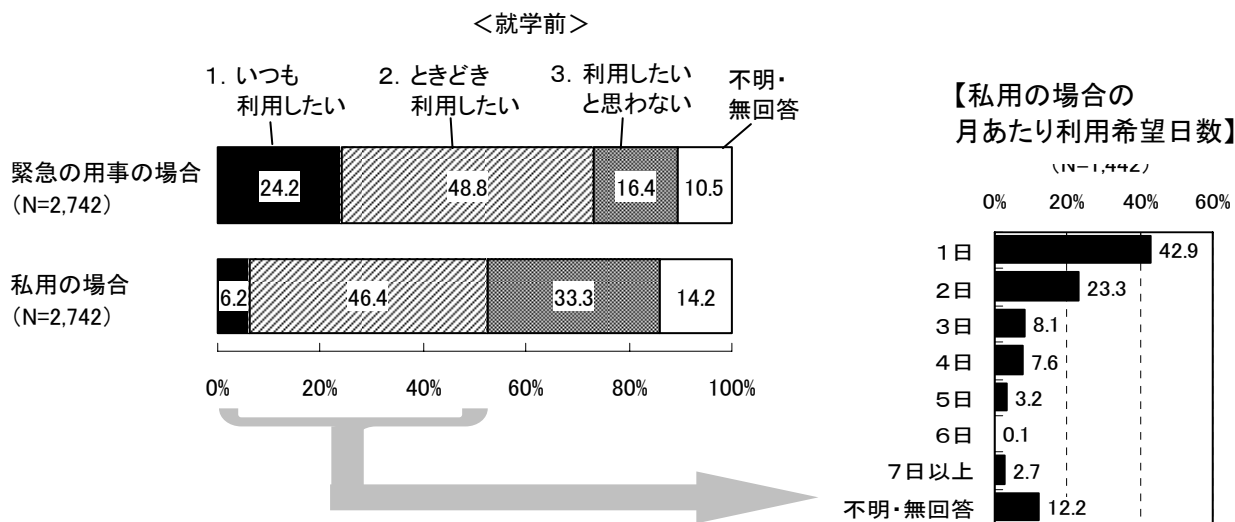
(就学前 問 16-1, 小学生 問 15-1)

問 上記のような施策やサービスをどの程度利用したいと思いますか。緊急の用事(冠婚葬祭, 保護者・家族の病気など)と私用(美容院, 習い事, 趣味の活動など)の別にお答えください。

<就学前>

「1. いつも利用したい」と「2. ときどき利用したい」を合わせた『利用したい』が、緊急の用事の場合については7割以上、私用の場合については5割以上と高くなっている。

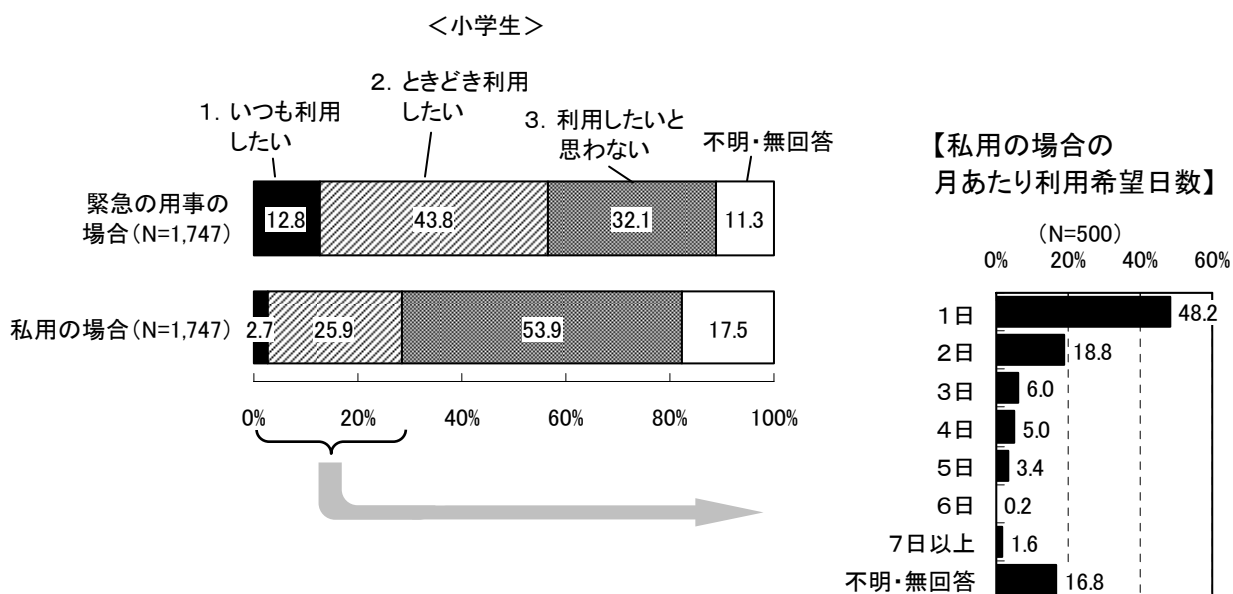
私用の場合の1月あたりの利用希望日数は、1日～2日が6割以上を占めている。



<小学生>

緊急の用事の場合は「2. ときどき利用したい」が4割を超えているが、私用の場合は「3. 利用したいと思わない」が半数を占めている。

私用の場合の1月あたりの利用希望日数は「1日」が半数近くを占めている。





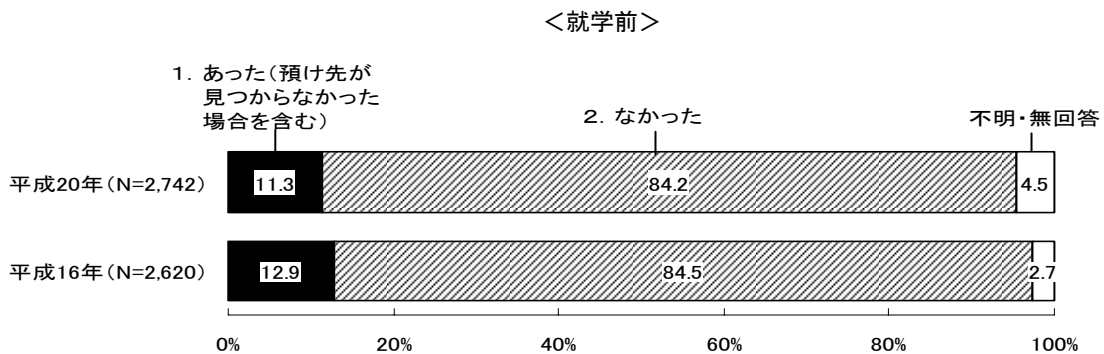
## 9 宿泊を伴う一時預かりについて（就学前、小学生）

（就学前 問17, 小学生 問16）

問 この1年間に、保護者の用事などにより、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。

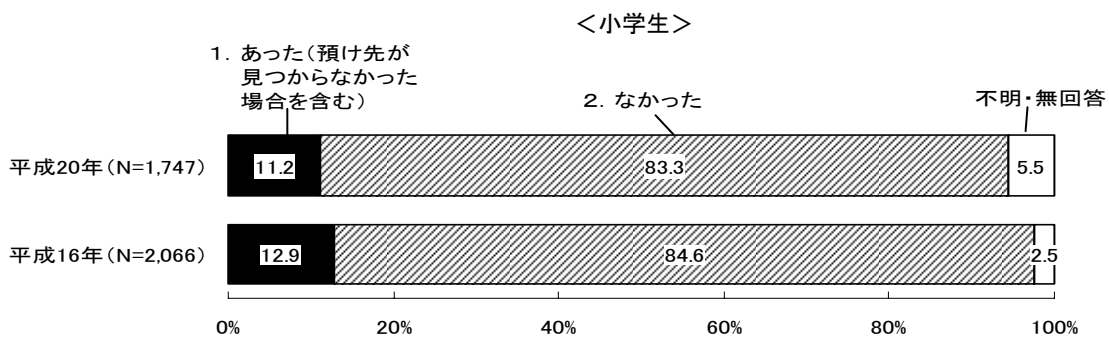
＜就学前＞

「1. あった（預け先が見つからなかった場合を含む）」が11.3%、「2. なかった」が84.2%となっている。平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



＜小学生＞

「1. あった（預け先が見つからなかった場合を含む）」が11.2%となっている。平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



(就学前 問 17-1, 小学生 問 16-1)

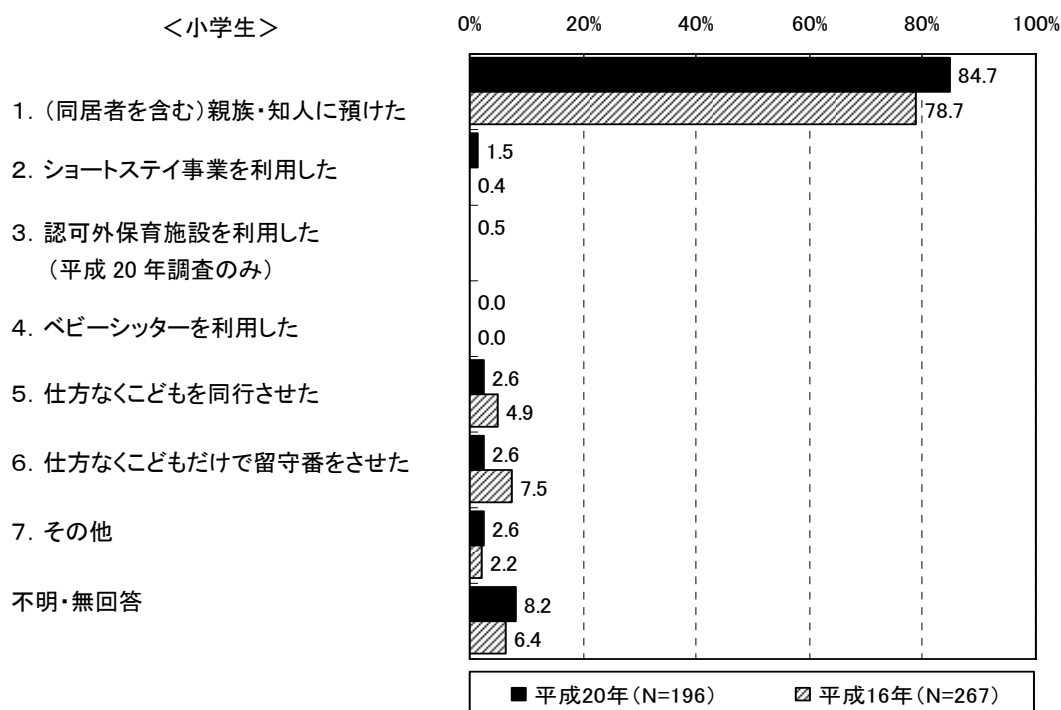
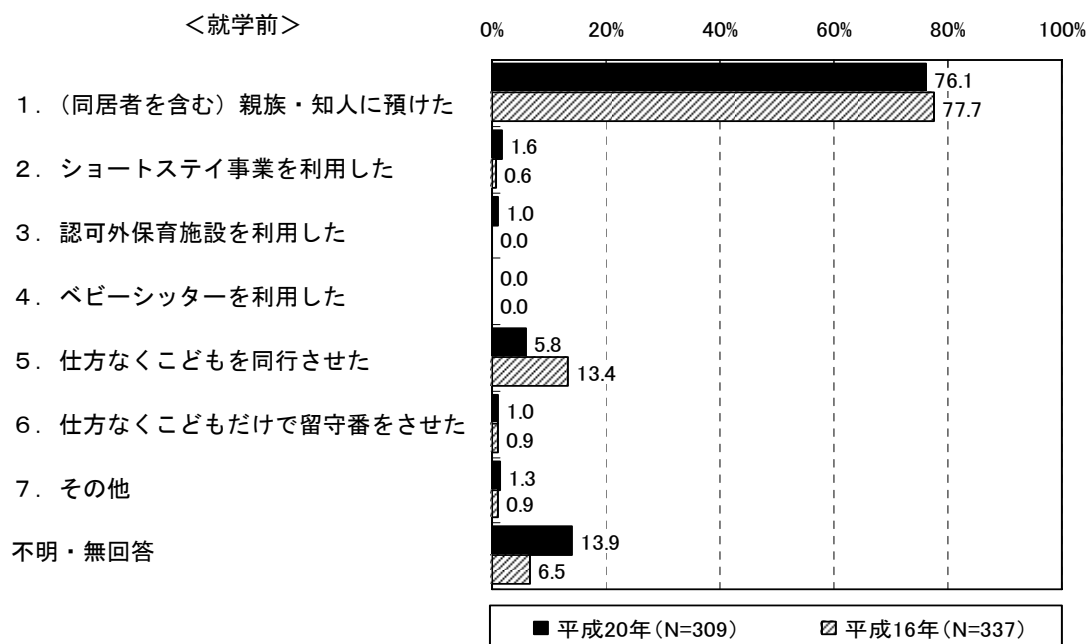
問 前問で「1」を選ばれた方におうかがいします。

この1年間の対処方法とそれぞれの泊数は概ね何日ですか。(あてはまるものすべて)

<就学前>

対処方法についてみると、「1. (同居者を含む) 親族・知人に預けた」が7割を超えている。

平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっているが、「5. 仕方なく子どもを同行させた」が7.6ポイント低くなっている。



## 10 ベビーシッターの利用について（就学前、小学生）

就学前 問 18, 19 はベビーシッターを利用されている方におうかがいします。

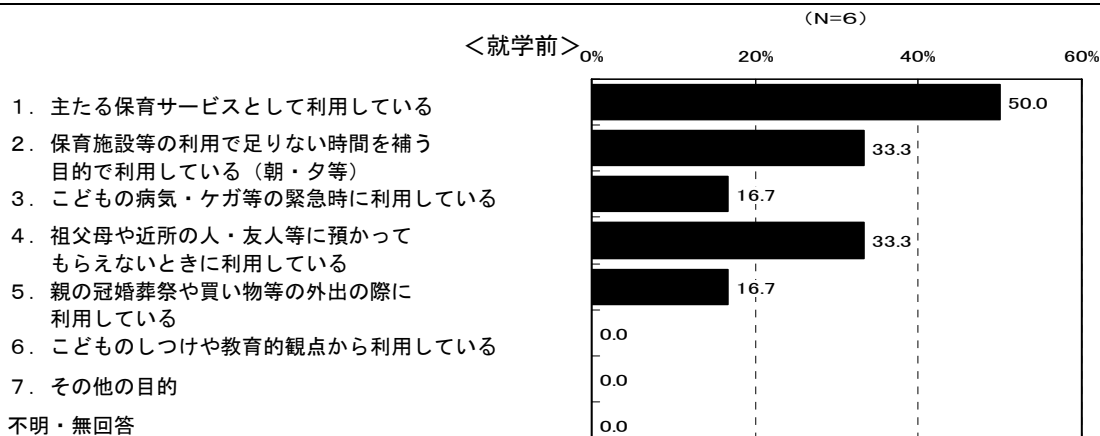
（就学前 問 18）

問 どのような目的で利用していますか。（あてはまるものすべて）

<就学前>

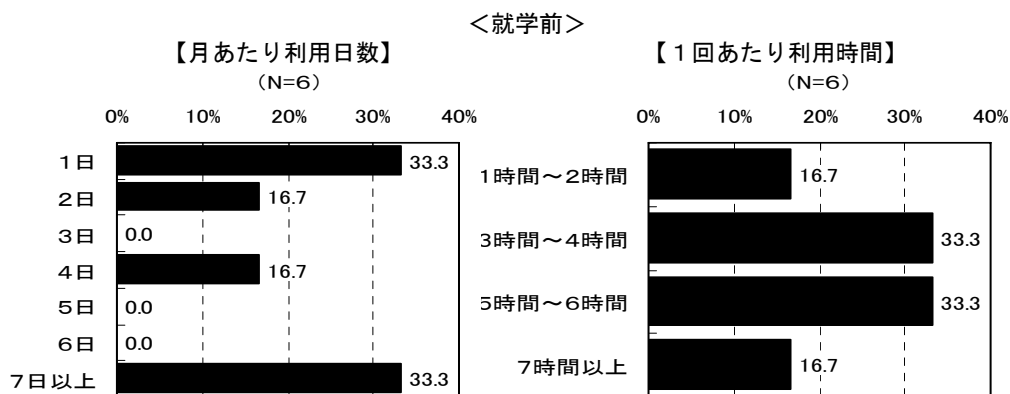
「1. 主たる保育サービスとして利用している」が50.0%と最も高くなっている。

1月あたりの利用日数については「1日」「7日以上」が高くなっており、1回あたりの利用時間については3時間～6時間が高くなっている。



（就学前 問 19）

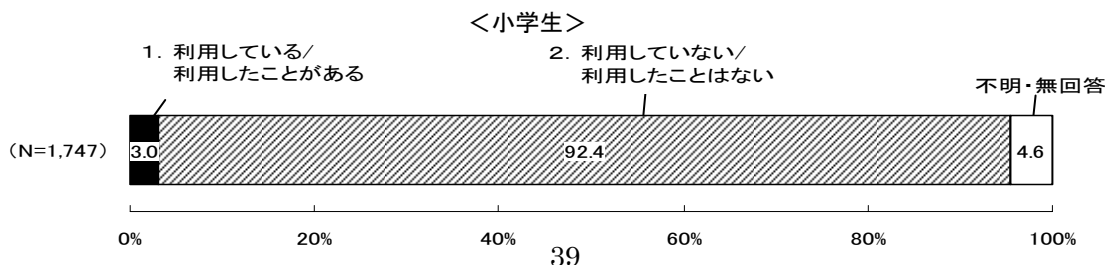
問 どれくらいの頻度で利用していますか。



※不明・無回答除く

（小学生 問 17）

問 ベビーシッターを利用していますか。



## 11 ファミリーサポート事業の利用について（就学前，小学生）

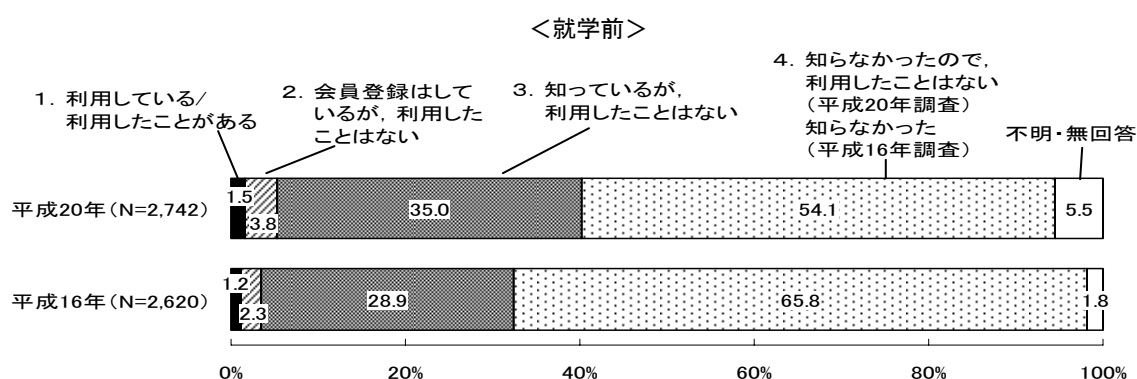
（就学前 問 20，小学生 問 18）

問 ファミリーサポート事業を利用していますか。

＜就学前＞

「4. 知らなかったなので、利用したことはない」が54.1%、「3. 知っているが、利用したことはない」が35.0%と高くなっている。

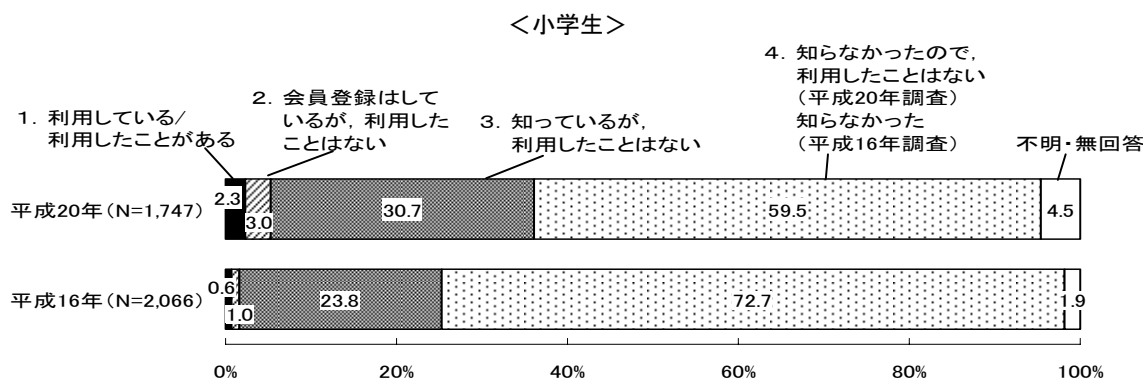
平成16年調査と比較すると、「4. 知らなかったなので、利用したことはない（平成20年調査）/知らなかった（平成16年調査）」が11.7ポイント低くなっている。



＜小学生＞

「4. 知らなかったなので、利用したことはない」が59.5%、「3. 知っているが、利用したことはない」が30.7%と高くなっている。

平成16年調査と比較すると、「4. 知らなかったなので、利用したことはない（平成20年調査）/知らなかった（平成16年調査）」が13.2ポイント低くなっている。



## 12 地域の子育て支援活動の利用について（就学前）

（就学前 問21）

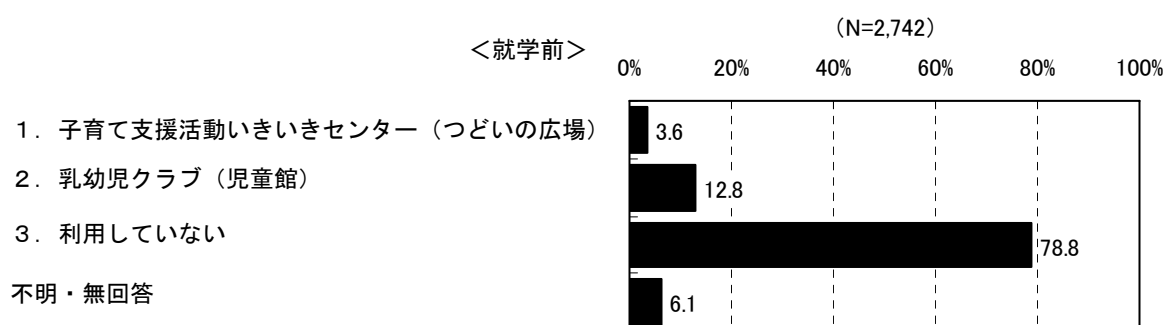
問 あなたとあて名のお子さんは、現在、子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）や児童館で実施している乳幼児クラブを利用していますか。

また、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。

<就学前>

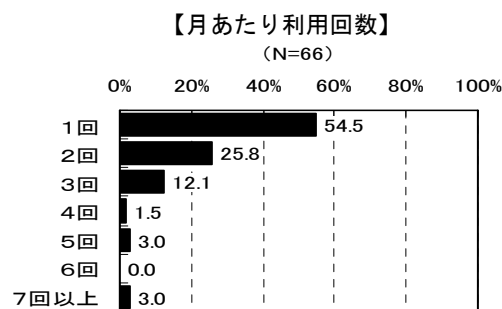
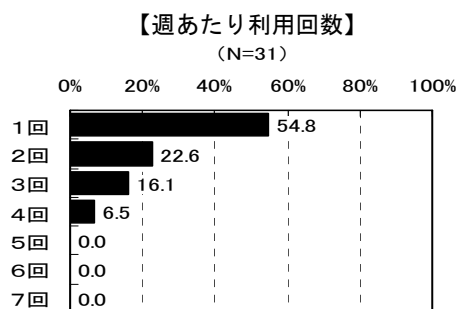
「3. 利用していない」が78.8%と高くなっている。

利用回数は、「子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）」「乳幼児クラブ（児童館）」ともに、1週あたり、1月あたりのどちらも1回～2回が高くなっている。



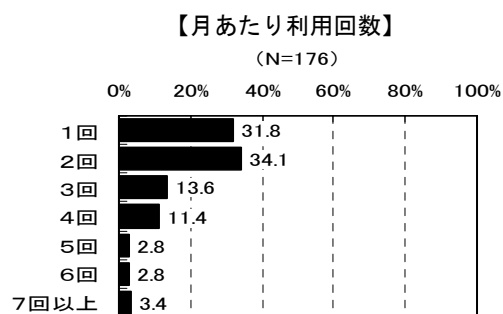
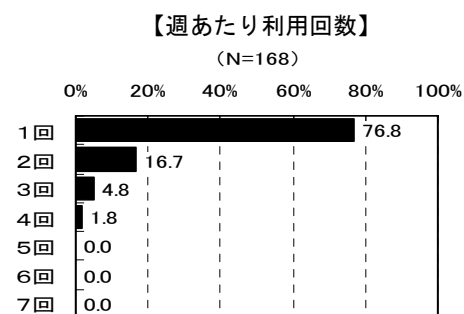
〔利用回数〕

### 1. 子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）



※不明・無回答除く

### 2. 乳幼児クラブ（児童館）



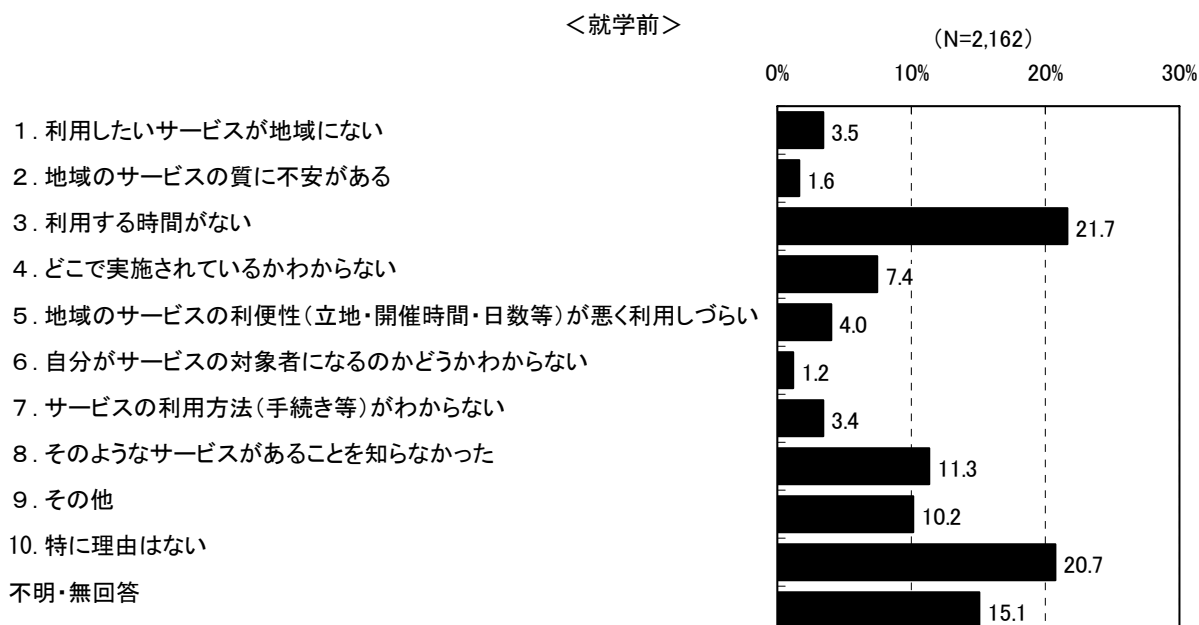
※不明・無回答除く

(就学前 問 21-2)

**問 21 で「3」を選んだ方におうかがいします。**

現在利用していない理由はどのようなことですか。

「3. 利用する時間がない」「10. 特に理由はない」が高くなっている。



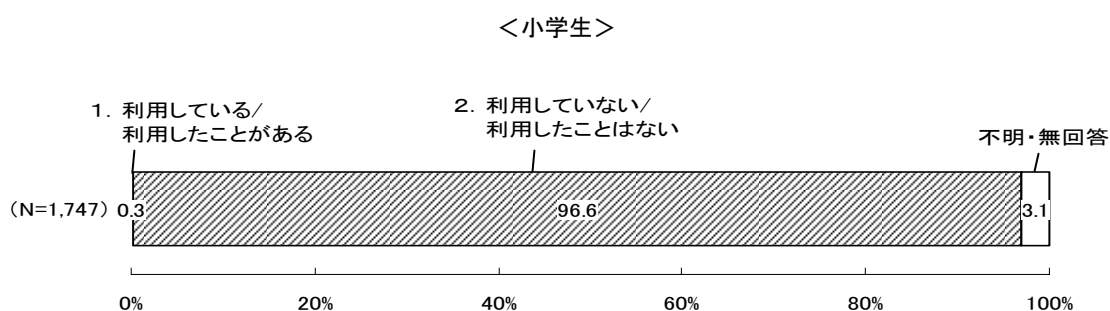
### 13 トワイライトステイの利用について（小学生）

（小学生 問19）

問 トワイライトステイを利用していますか。

<小学生>

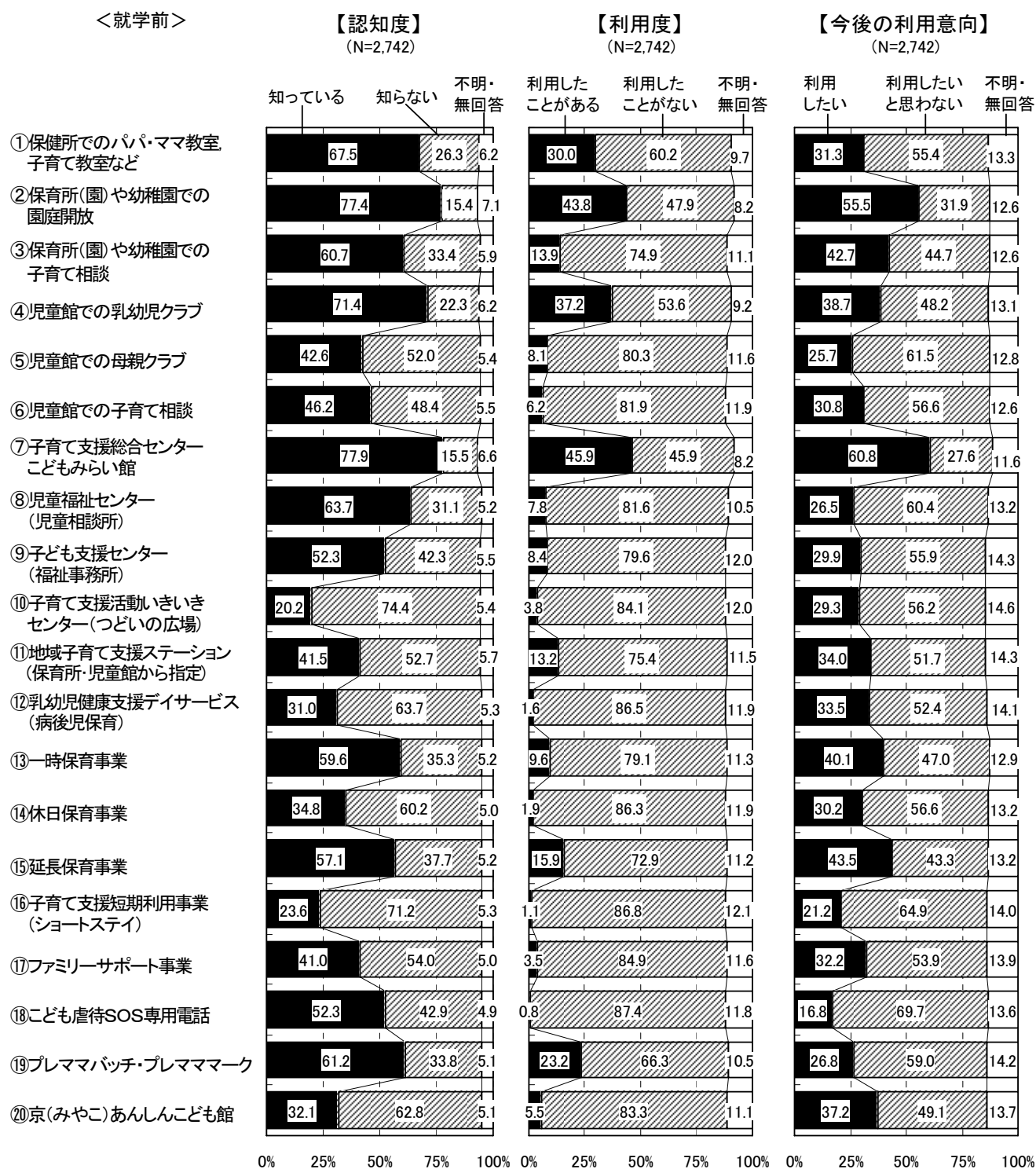
トワイライトステイの利用についてみると「2. 利用していない／利用したことはない」が96.6%と大半を占めている。



## 14 子育て支援施策・サービスの認知度、利用度について(就学前, 小学生)

(就学前 問 22)

問 以下の①～⑳の子育て支援施策・サービスを知っていたり、これまでに利用したことがありますか。また、今後利用したいと思いますか。

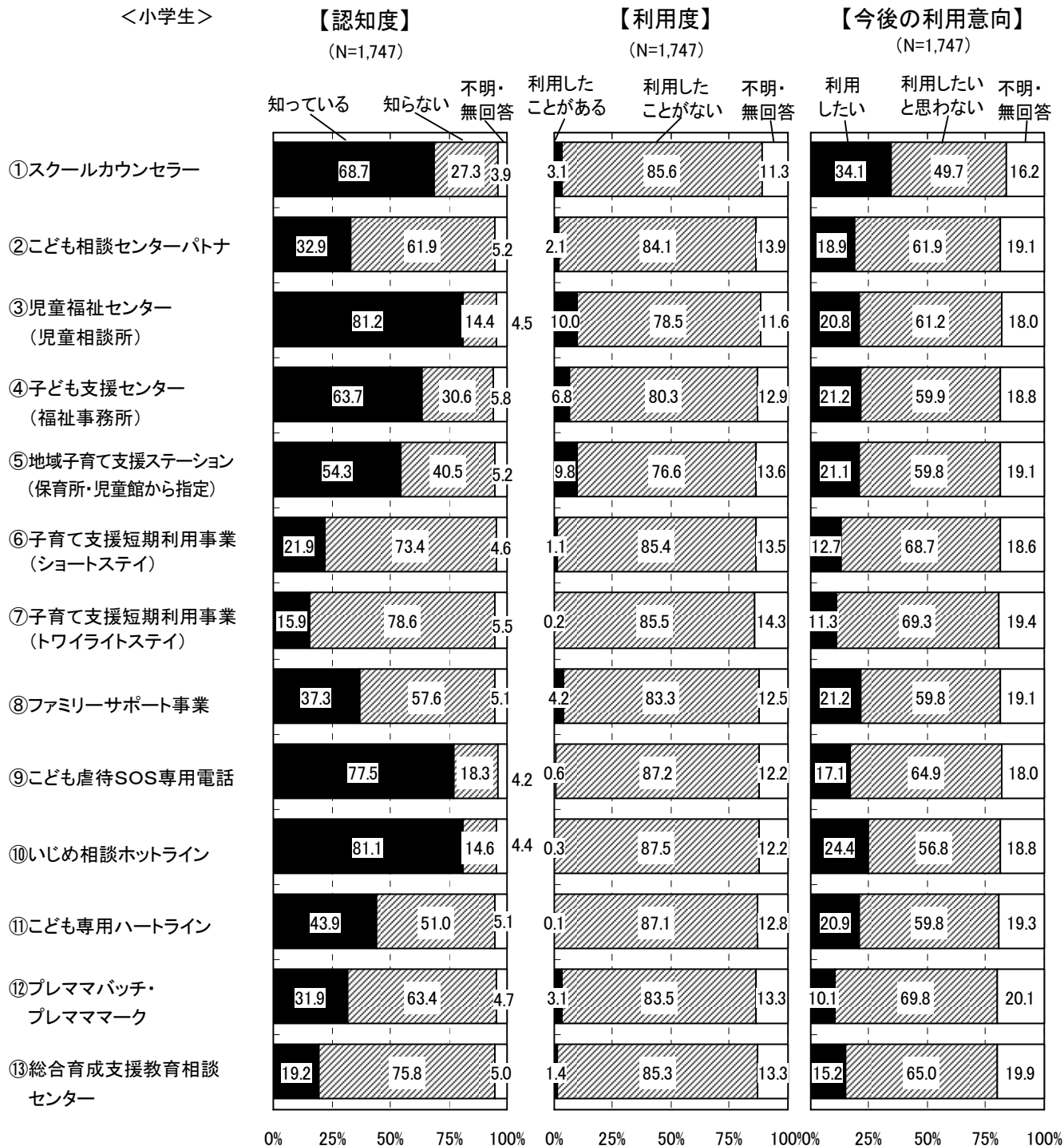




（小学生 問20）

問 以下の①～⑬の子育て支援施策・サービスを知っていたり、これまでに利用したことがありますか。また、今後利用したいと思いますか。

<小学生>



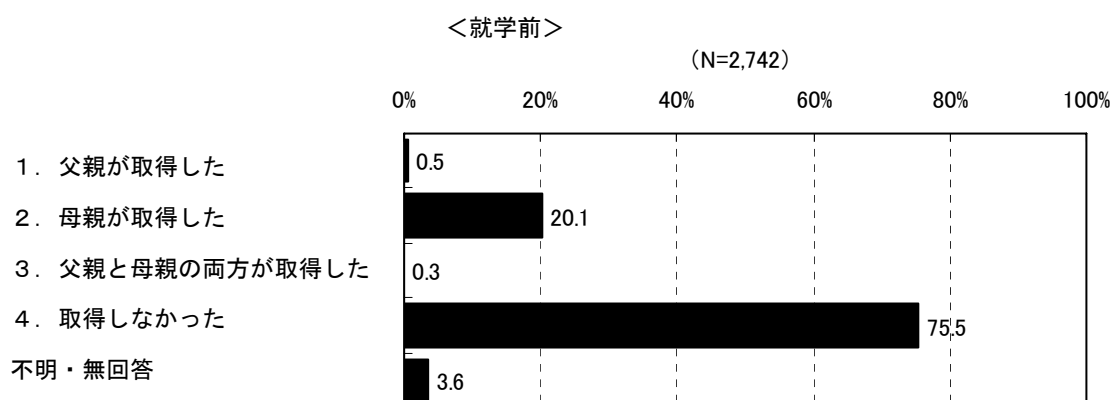
## 15 子育てと仕事(育児休業制度の利用など)について(就学前, 小学生)

(就学前 問 23, 小学生 21)

問 あて名のお子さんについて、父親または母親が育児休業を取得されましたか。

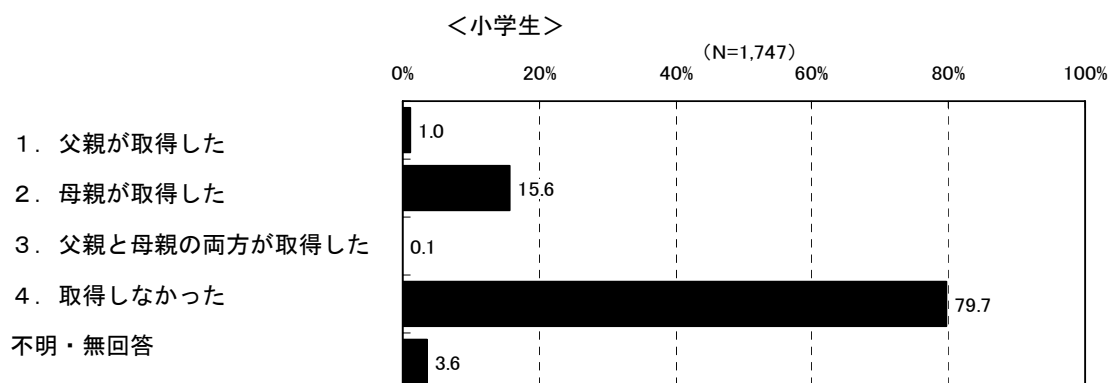
<就学前>

「4. 取得しなかった」が75.5%を占め、取得したと回答した方では、母親の取得が20%以上と高く、父親の取得は1%弱にとどまっている。



<小学生>

「4. 取得しなかった」が79.7%と最も高く、次いで「2. 母親が取得した」が15.6%となっている。



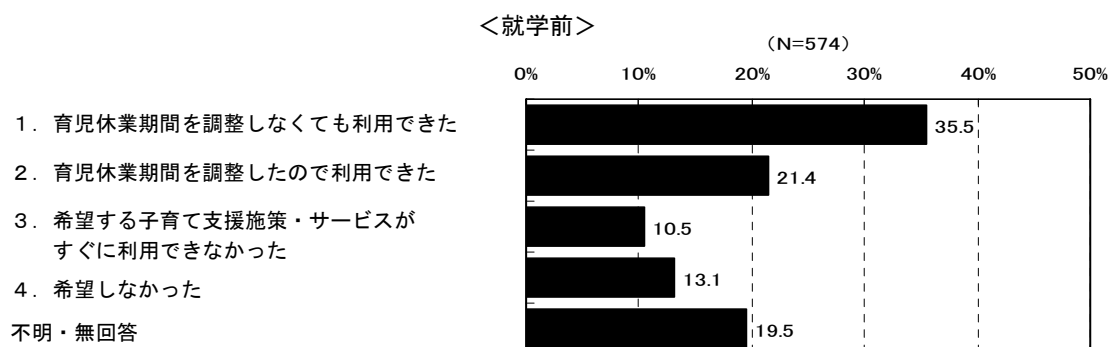
就学前 問 23-2 は問 23 で「1」～「3」を選ばれた方におうかがいします。

（就学前 問 23-2）

問 育児休業明けに、希望する保育所（園）や昼間里親などの子育て支援施策・サービスをすぐ利用できましたか。

<就学前>

「1. 育児休業期間を調整しなくても利用できた」が 35.5%と最も高く、次いで「2. 育児休業期間を調整したので利用できた」が 21.4%と高くなっている。

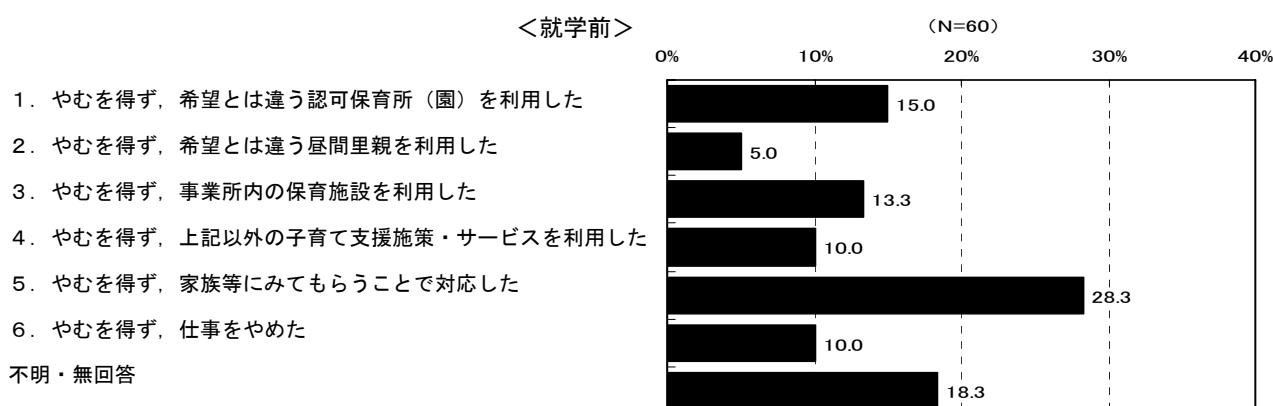


（就学前 問 23-4）

問 問 23-2 で「3」を選ばれた方におうかがいします。

どのように対応されましたか。

「5. やむを得ず、家族等にみてもらうことで対応した」が 28.3%と最も高く、次いで「1. やむを得ず、希望とは違う認可保育所（園）を利用した」が 15.0%と高くなっている。



(就学前 問 23-5)

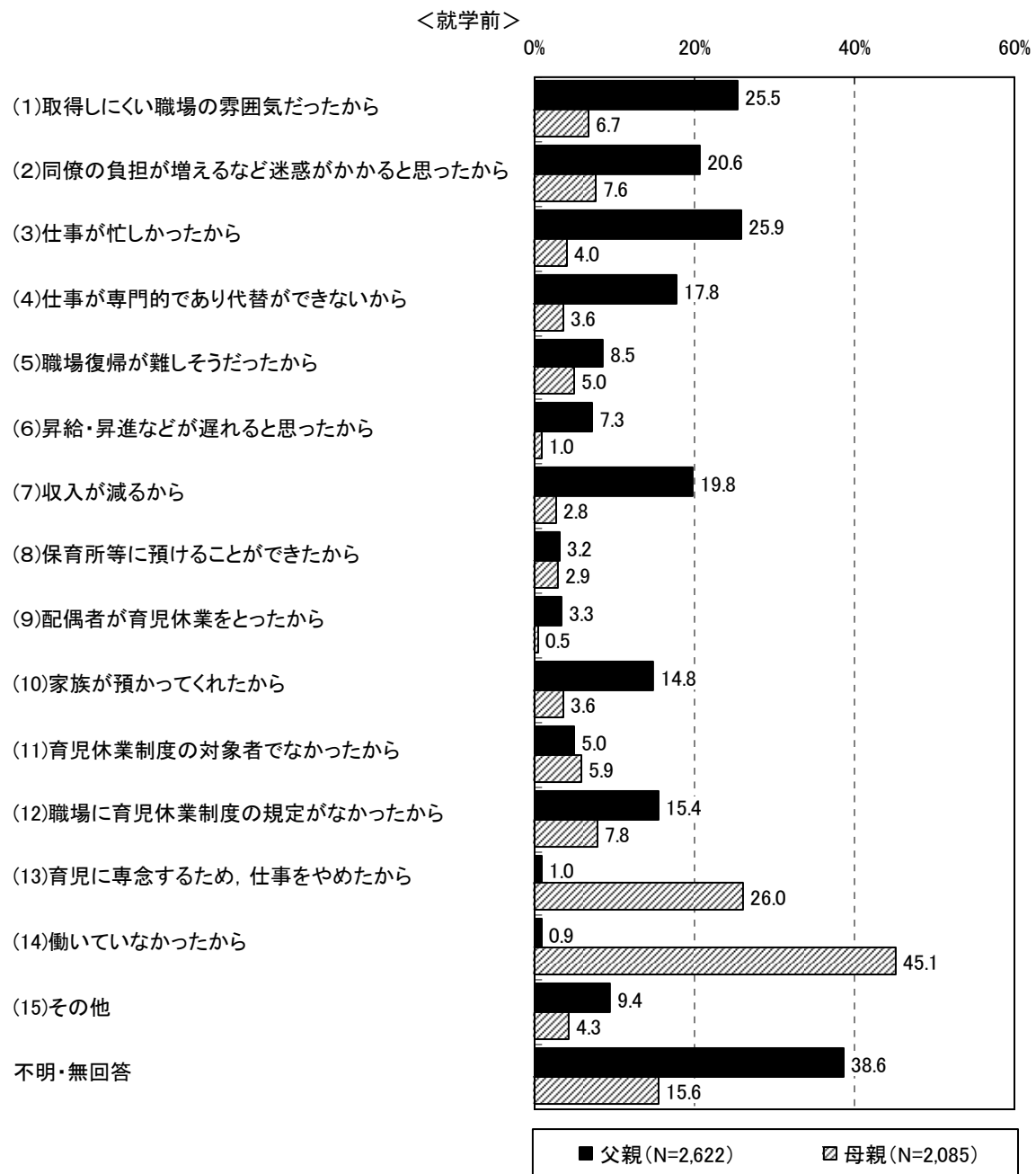
問 問 23 で「1」、「2」、「4」を選ばれた方におうかがいします。

育児休業を取得しなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべて)

<就学前>

育児休業を取得しなかった理由についてみると、「父親」では「(3) 仕事が忙しかったから」が 25.9%と最も高くなっており、次いで「(1) 取得しにくい職場の雰囲気だったから」が 25.5%となっている。

「母親」では、「(14) 働いていなかったから」が 45.1%と最も高く、次いで「(13) 育児に専念するため、仕事をやめたから」が 26.0%となっている。



（小学生 問 21-1）

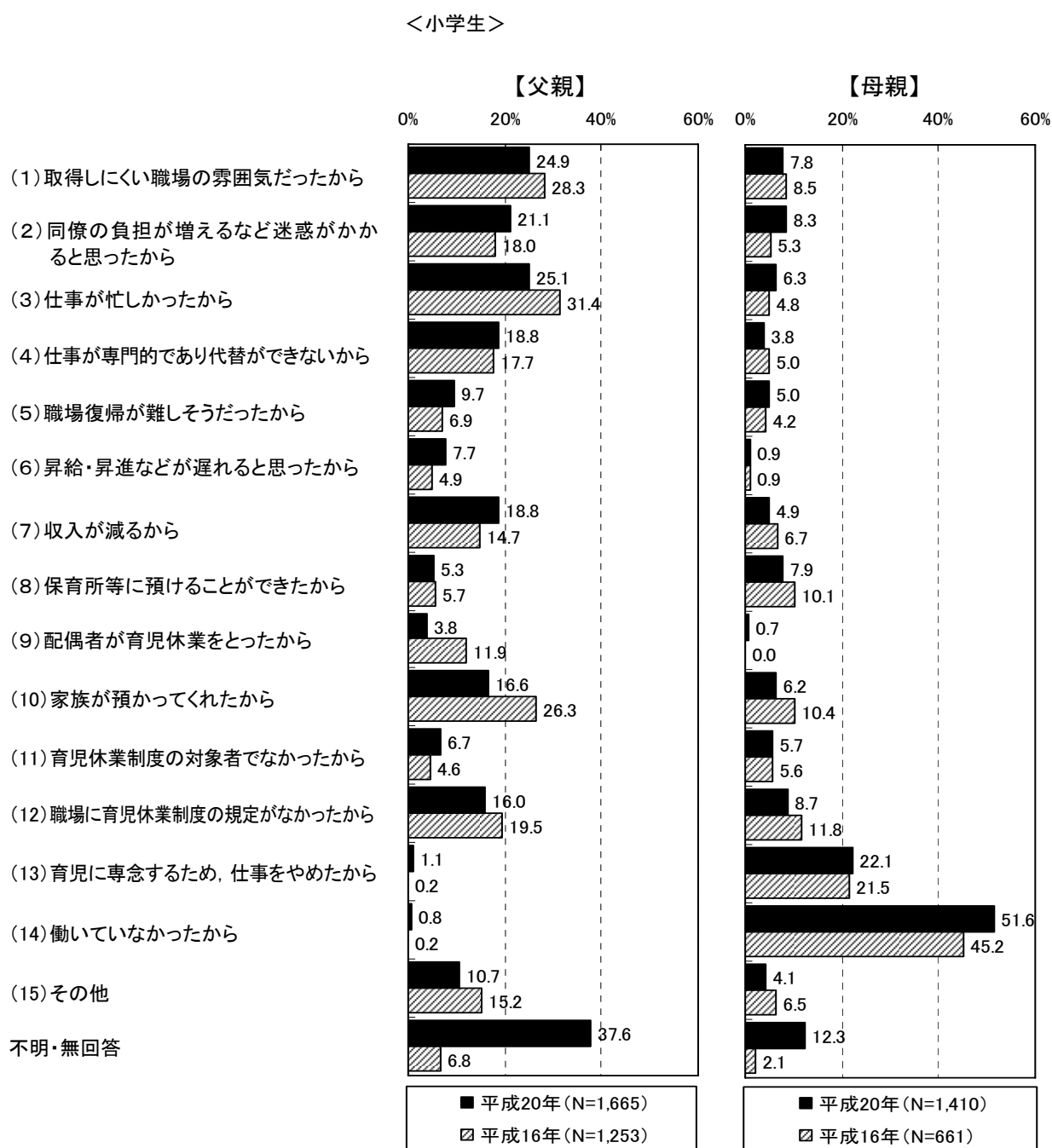
問 問 21 で「1」、「2」、「4」を選んだ方におうかがいします。

育児休業を取得しなかった理由は何ですか。（あてはまるものすべて）

<小学生>

育児休業を取得しなかった理由についてみると、「父親」では「(3) 仕事が忙しかったから」が 25.1%と最も高く、次いで「(1) 取得しにくい職場の雰囲気だったから」が 24.9%となっており、仕事のことが理由となっている。「母親」では「(14) 働いていなかったから」が 51.6%と最も高く、次いで「(13) 育児に専念するため、仕事をやめたから」が 22.1%となっている。

平成 16 年調査と比較すると、「父親」について「(10) 家族が預かってくれたから」が 26.3%から 16.6%と、9.7 ポイント低くなっている。また、「母親」については、ほぼ同様の結果となっている。



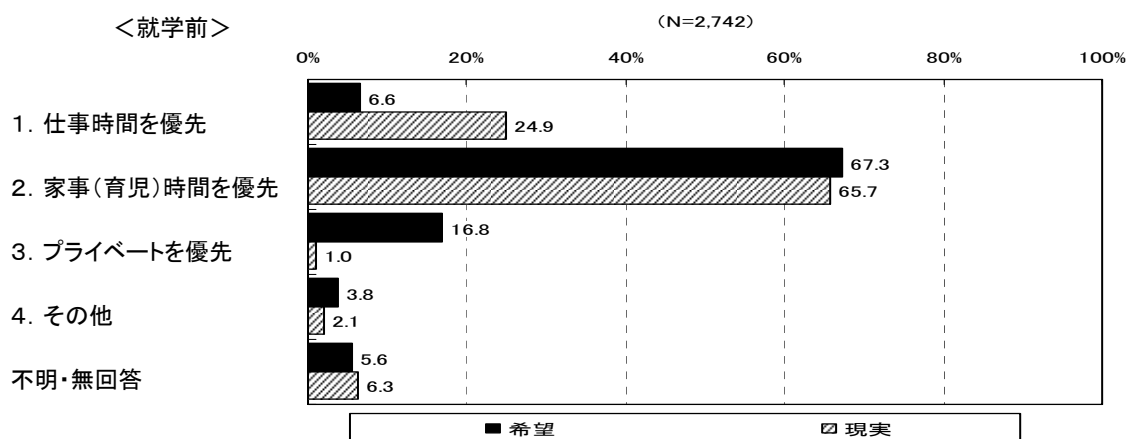
(就学前 問 24, 小学生 問 22)

問 あなたの生活の中で、「仕事時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度についておうかがいします。

<就学前>

「仕事時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度についてみると、「2. 家事（育児）時間を優先」が「希望」では67.3%、「現実」では65.7%とそれぞれ最も高くなっており、希望と現実が近い状態となっている。

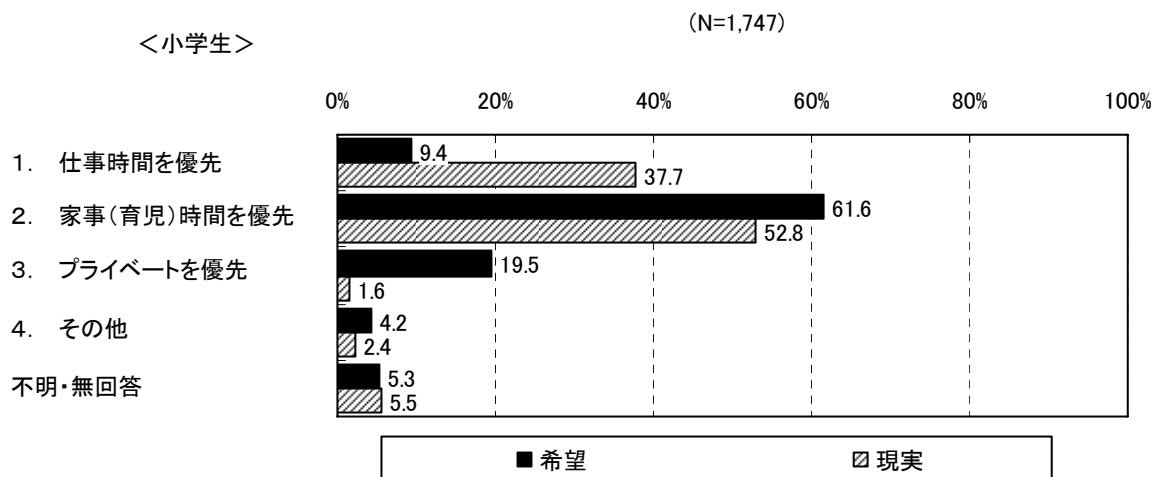
一方で、「1. 仕事時間を優先」については「希望」と「現実」の差が18.3ポイント、「3. プライベートを優先」については15.8ポイントと、その差が大きくなっている。



<小学生>

「仕事時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度についてみると、「希望」では「2. 家事（育児）時間を優先」が61.6%と最も高く、「現実」でも52.8%と最も高くなっており、希望と現実が近い状態となっている。

一方、「1. 仕事時間を優先」については、「現実」が「希望」より28.3ポイント高く、「3. プライベートを優先」では17.9ポイント「希望」が「現実」より高くなっており、希望と現実の差が大きくなっている。



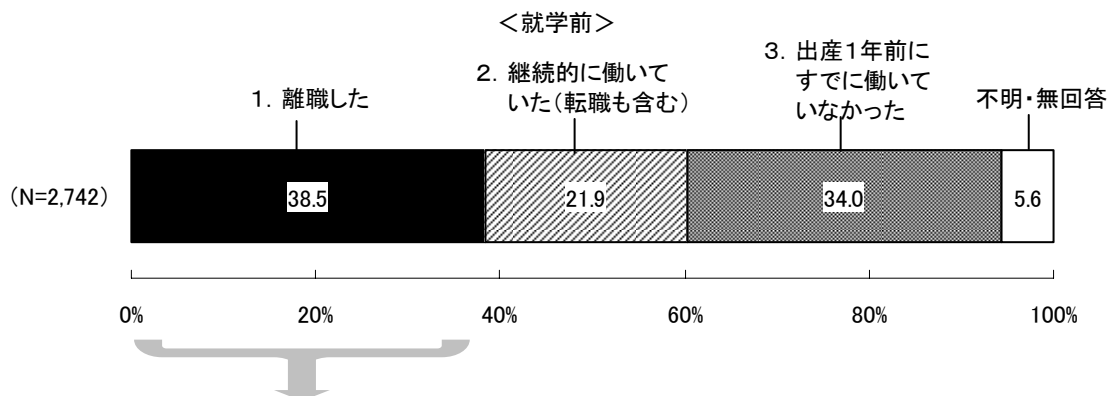
（就学前 問25）

問 母親のみなさんすべてにおうかがいします。

あて名のお子さんの出産前後（前後それぞれ1年以内）に離職をしましたか。

<就学前>

「1. 離職した」が38.5%と最も高く、次いで「3. 出産1年前にすでに働いていなかった」が34.0%となっている。



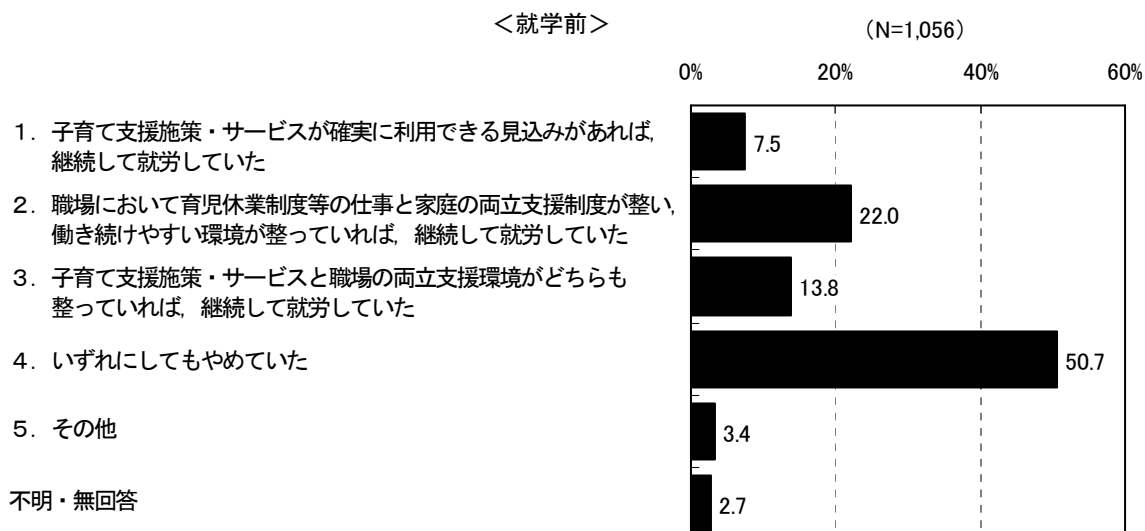
（就学前 問25-1）

問 問25で「1」を選ばれた方におうかがいします。

仕事と家庭の両立を支援する子育て支援施策・サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。

<就学前>

「4. いずれにしてもやめていた」が50.7%と最も高く、次いで「2. 職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」が22.0%となっている。



現在、就労されていない母親の方におうかがいします。

(就学前 問 26, 26-1, 小学生 問 23, 23-1)

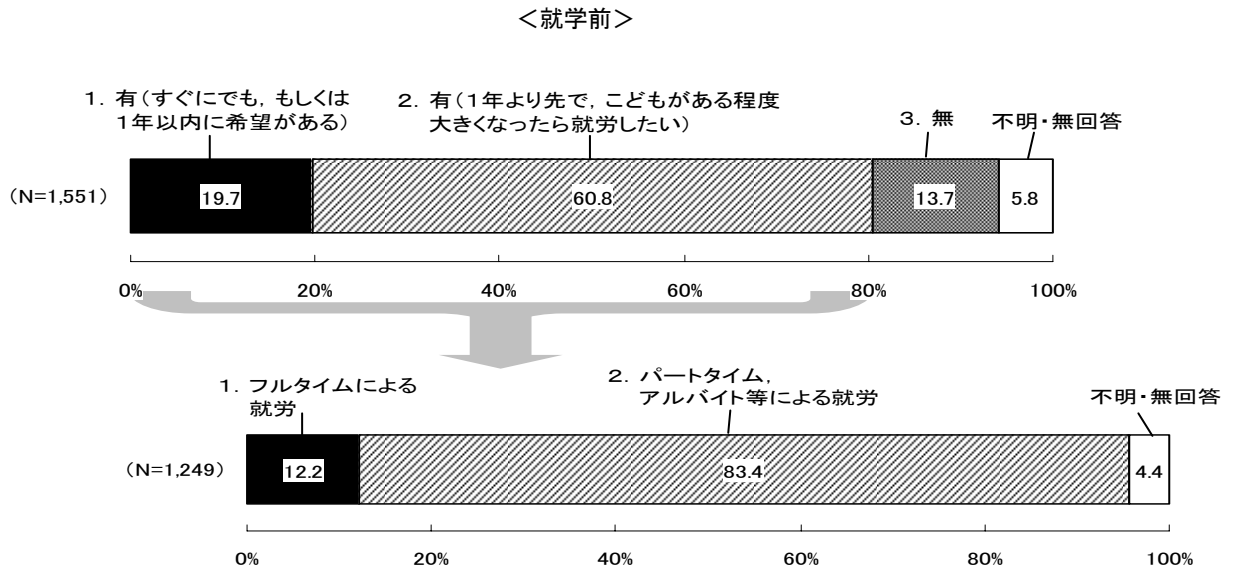
問 就労希望はありますか。

問 就労希望の形態はどのようなものですか。

<就学前>

就労希望者は約8割に上っている。

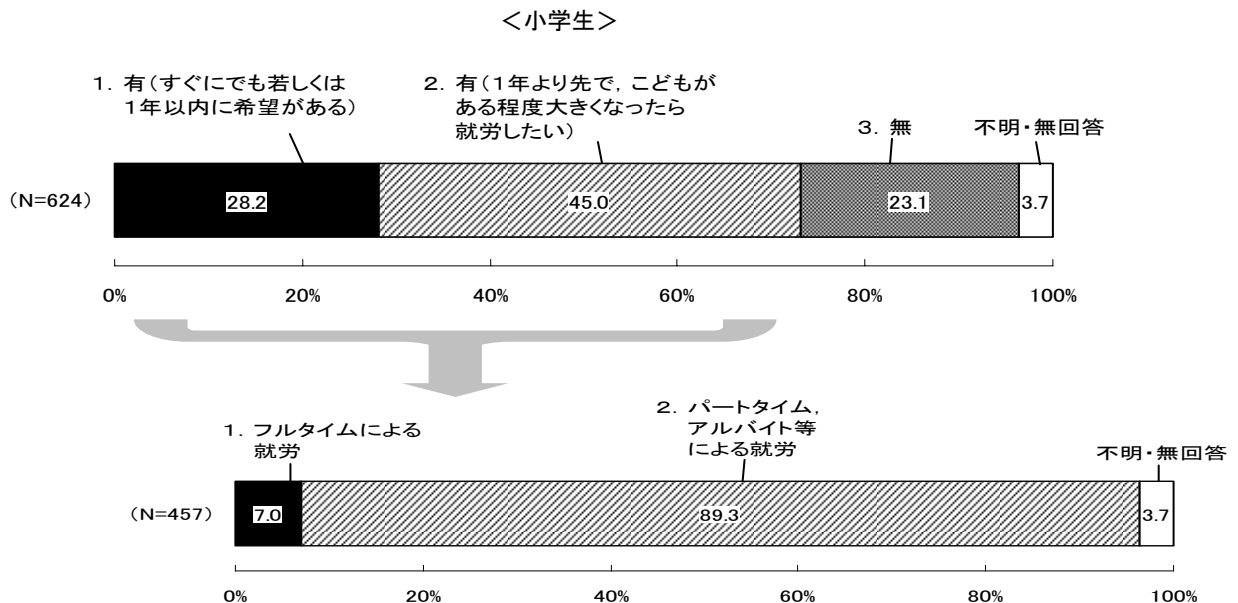
就労希望の形態は「2. パートタイム、アルバイト等による就労」が83.4%, 「1. フルタイムによる就労」が12.2%となっている。



<小学生>

就労希望者の割合は73.2%となっている。

就労希望の形態は「2. パートタイム、アルバイト等による就労」が89.3%, 「1. フルタイムによる就労」が7.0%となっている。



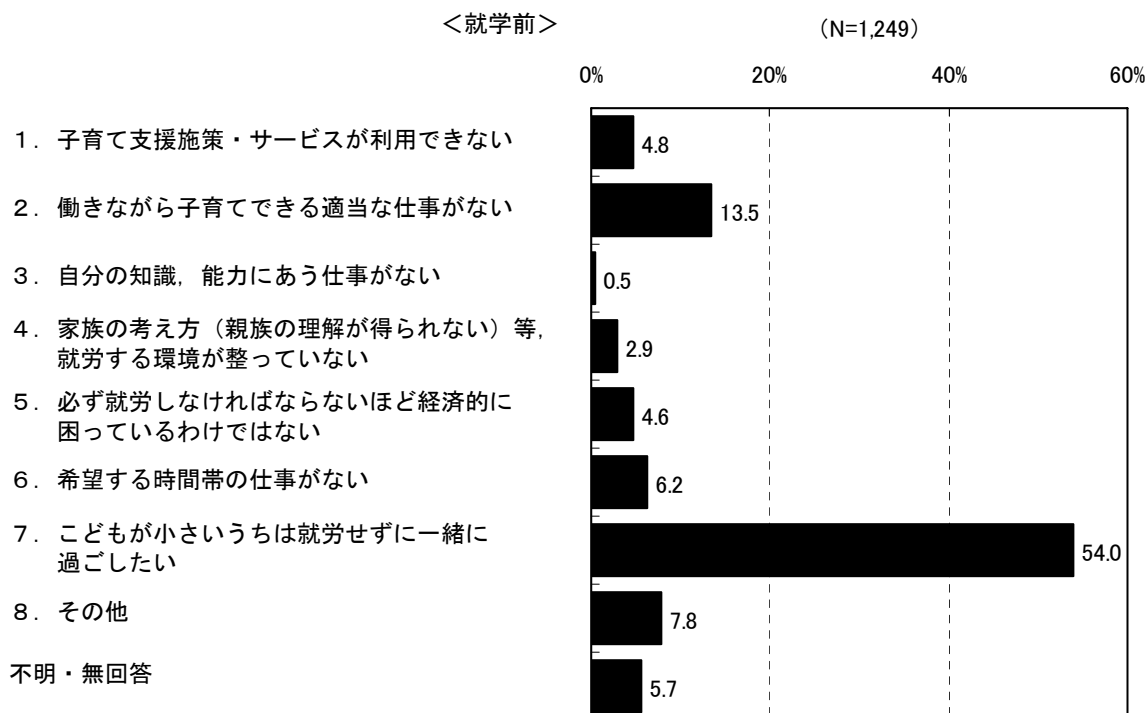


（就学前 問 26-2，小学生 問 23-2）

問 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。

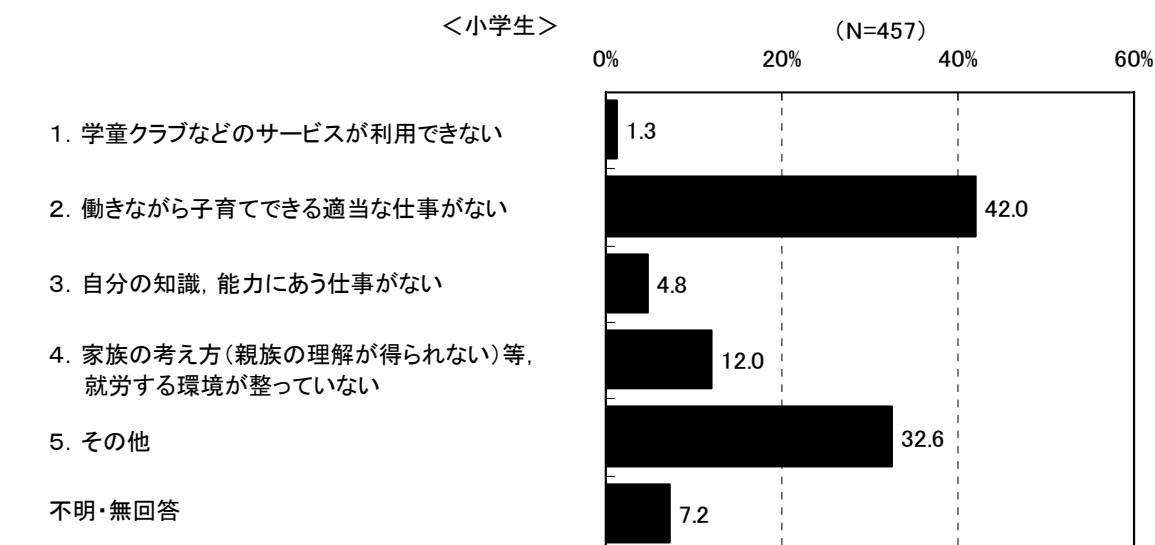
<就学前>

「7. こどもが小さいうちは就労せずに一緒に過ごしたい」が 54.0%と過半数を占め、次いで「2. 働きながら子育てできる適当な仕事がない」が 13.5%となっている。



<小学生>

「2. 働きながら子育てできる適当な仕事がない」が 42.0%、「4. 家族の考え方（親族の理解が得られない）等、就労する環境が整っていない」が 12.0%と高くなっている。



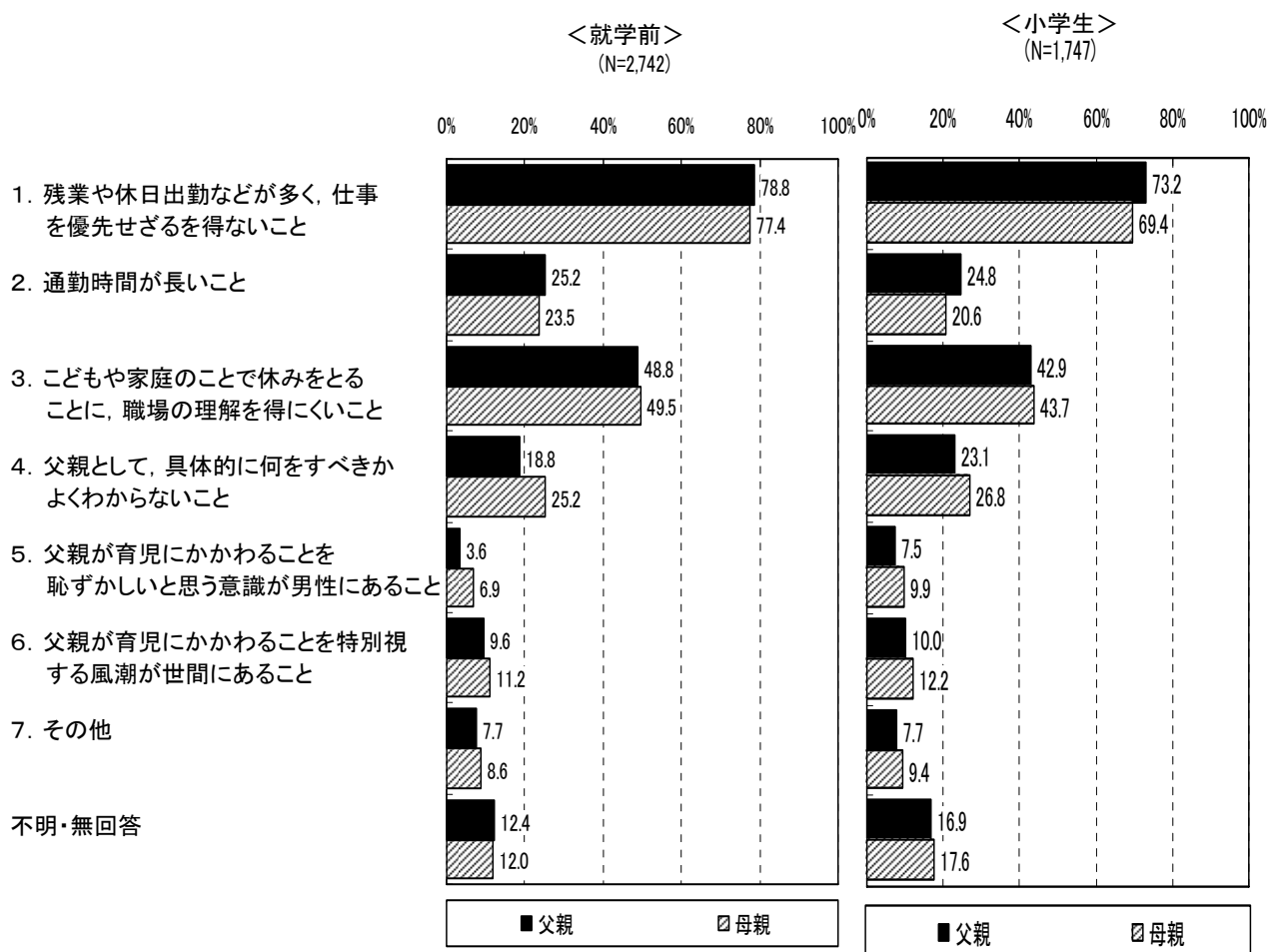
## 16 子育て環境などについて（就学前，小学生）

（就学前 問 27，小学生 問 24）

問 近年，子育て中の家庭での父親不在（父親が，子育てにあまりかかわらない，かかわる時間がないこと）が問題となっていますが，父親が子育てにかかわりづらいのは，どうしてだと思いますか。（あてはまるもの3つまで）

＜就学前＞＜小学生＞

父親が子育てにかかわりづらい理由についてみると，「父親」「母親」ともに「1. 残業や休日出勤などが多く，仕事を優先せざるを得ないこと」が約7～8割と最も高く，次いで「3. こどもや家庭のことで休みをとることに，職場の理解を得にくいこと」が約4～5割となっている。



（就学前 問 28, 小学生 問 25）

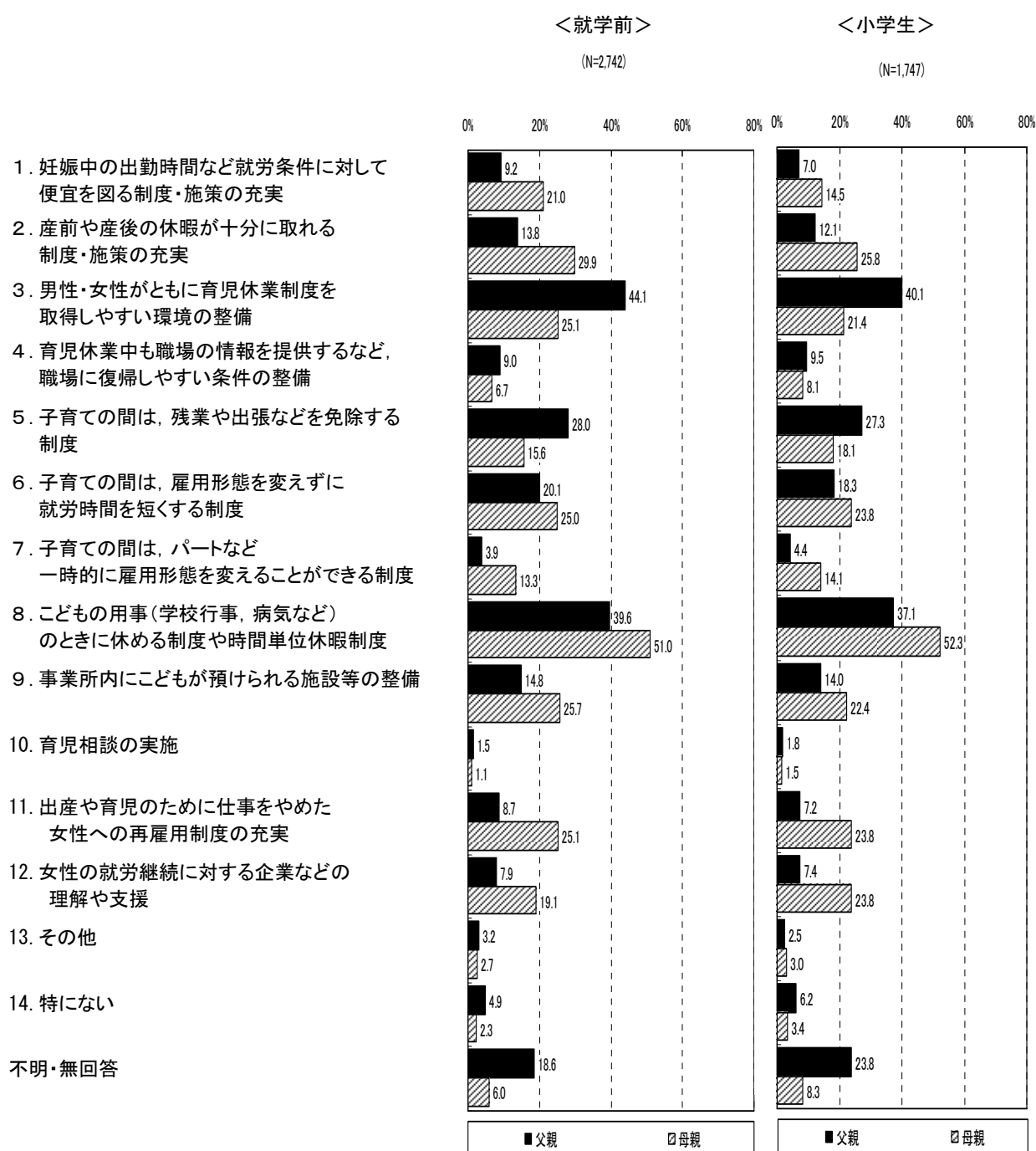
問 子育てと仕事の両立を支援していくため、社会全体でどのような制度や支援策に取り組んでほしいと思いますか。（あてはまるもの3つまで）

＜就学前＞

「3. 男性・女性がともに育児休業制度を取得しやすい環境の整備」では「父親」と「母親」の差が 19.0 ポイント、「11. 出産や育児のために仕事をやめた女性への再雇用制度の充実」では 16.4 ポイントと、その差が大きくなっている。

＜小学生＞

「3. 男性・女性が共に育児休業制度を取得しやすい環境の整備」では「父親」と「母親」の差が 18.7 ポイントと「父親」が高く、「8. こどもの用事（学校行事、病気など）のときに休める制度や時間単位休暇制度」については 15.2 ポイント「母親」が高く、「父親」と「母親」との差が大きくなっている。



(就学前 問 29, 小学生 問 26)

問 子育てをしている今はどんな気持ちですか。(あてはまるもの3つまで)

<就学前>

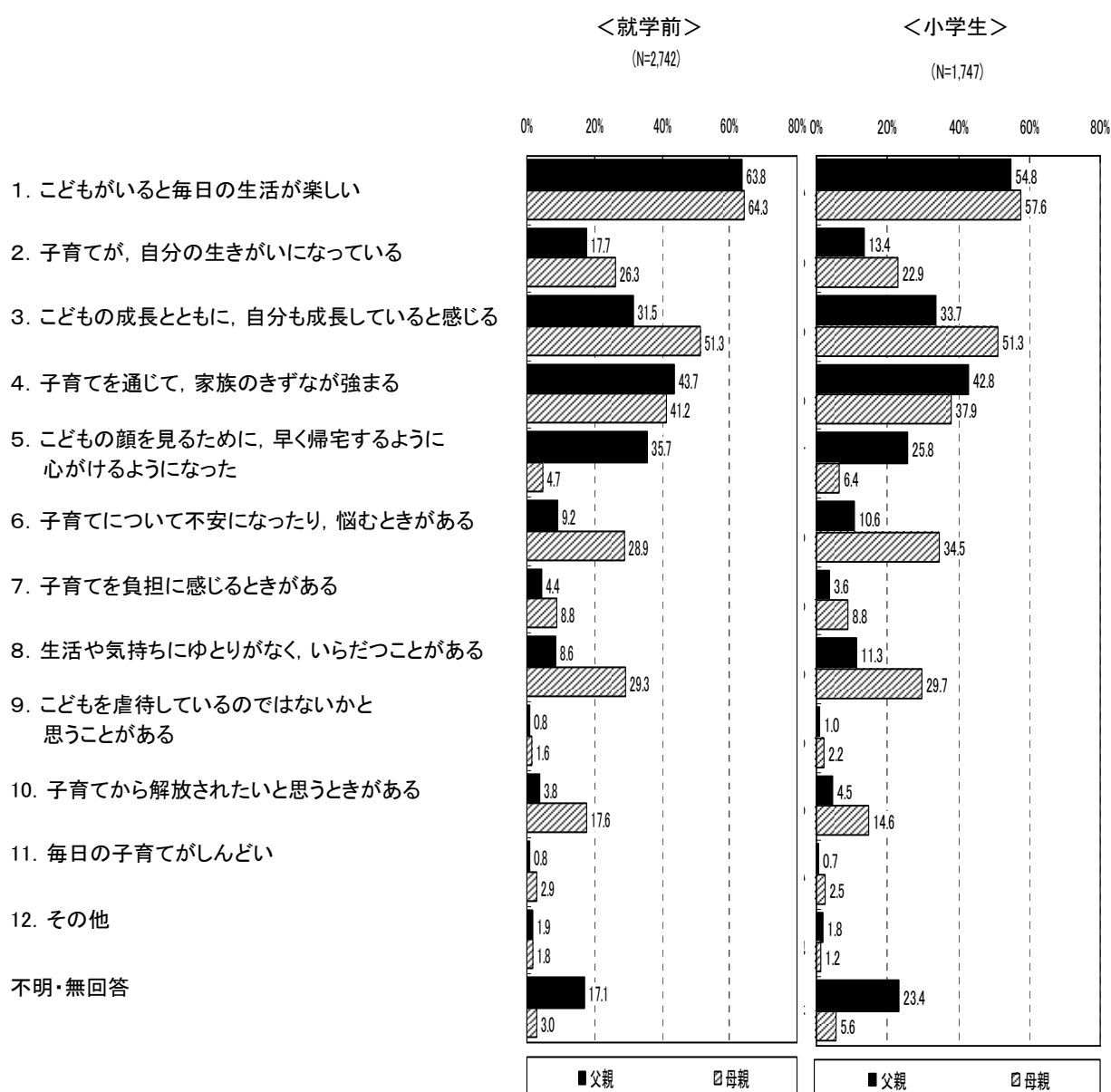
「父親」「母親」ともに「1. こどもがいると毎日の生活が楽しい」が6割を超えている。

また、「8. 生活や気持ちにゆとりがなく、いらだつことがある」については、「母親」が「父親」より 20.7 ポイント、「6. 子育てについて不安になったり、悩むときがある」については 19.7 ポイント高く、母親と父親の差が大きくなっている。

<小学生>

「父親」、「母親」ともに「1. こどもがいると毎日の生活が楽しい」が5割を超えている。

「6. 子育てについて不安になったり、悩むときがある」については、「父親」と「母親」の差が 23.9 ポイント、「8. 生活や気持ちにゆとりがなく、いらだつことがある」については、18.4 ポイント「母親」が高く、父親と母親の差が大きくなっている。



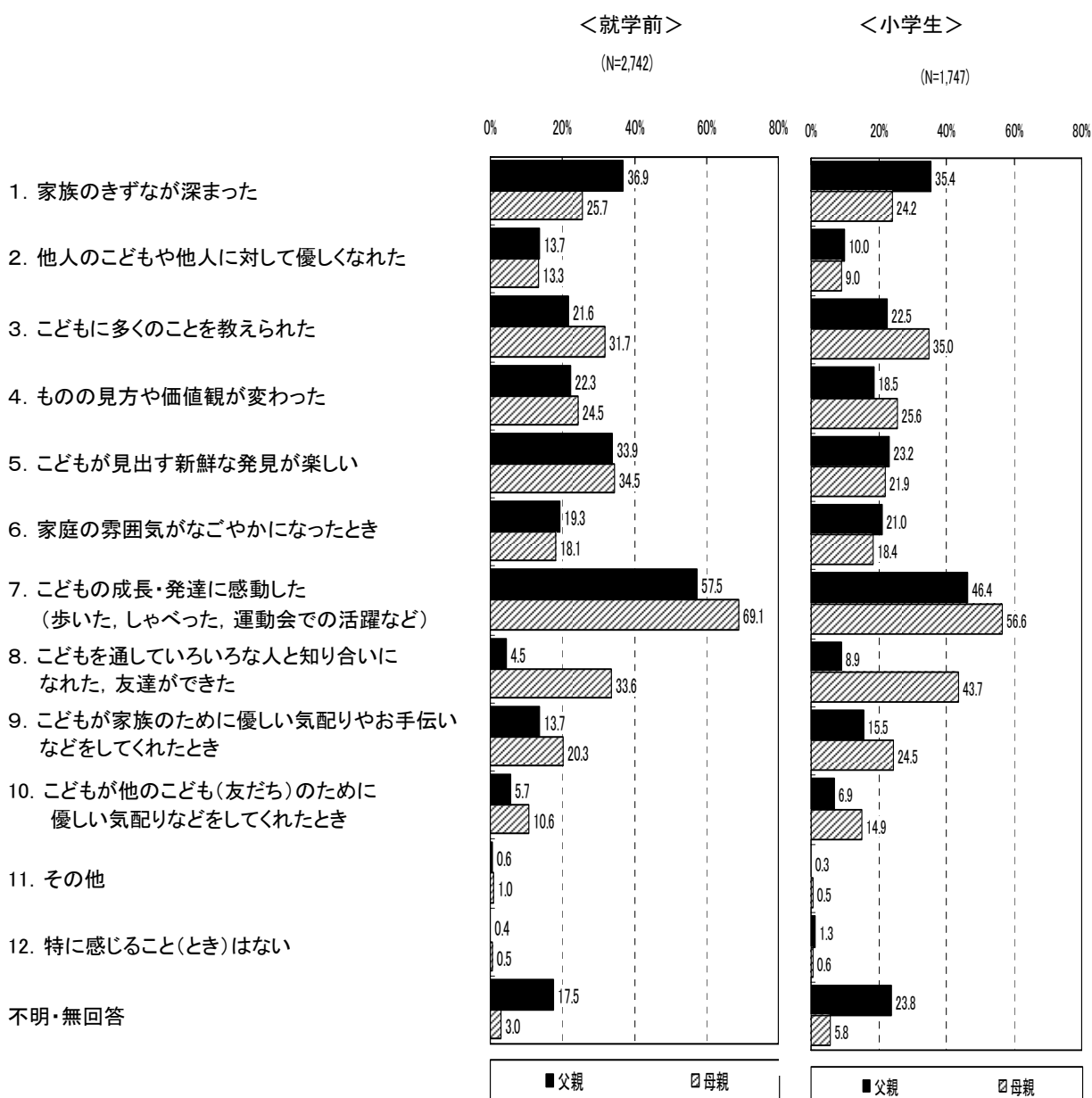
（就学前 問 30, 小学生 問 27）

問 子育てをしていて、「楽しい」「良かった」と感じる事、感じる時はどのようなこと（とき）ですか。（あてはまるもの3つまで）

＜就学前＞＜小学生＞

「父親」「母親」とともに「7. こどもの成長・発達に感動した（歩いた、しゃべった、運動会での活躍など）」が約5～6割程度となっている。

「8. こどもを通していろいろな人と知り合いになれた、友達ができた」については、「母親」が「父親」よりポイントが高く、父親と母親の差が大きくなっている。



(就学前 問 31, 小学生 問 28)

問 あて名のお子さんを育てていて、日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。(あてはまるもの3つまで)

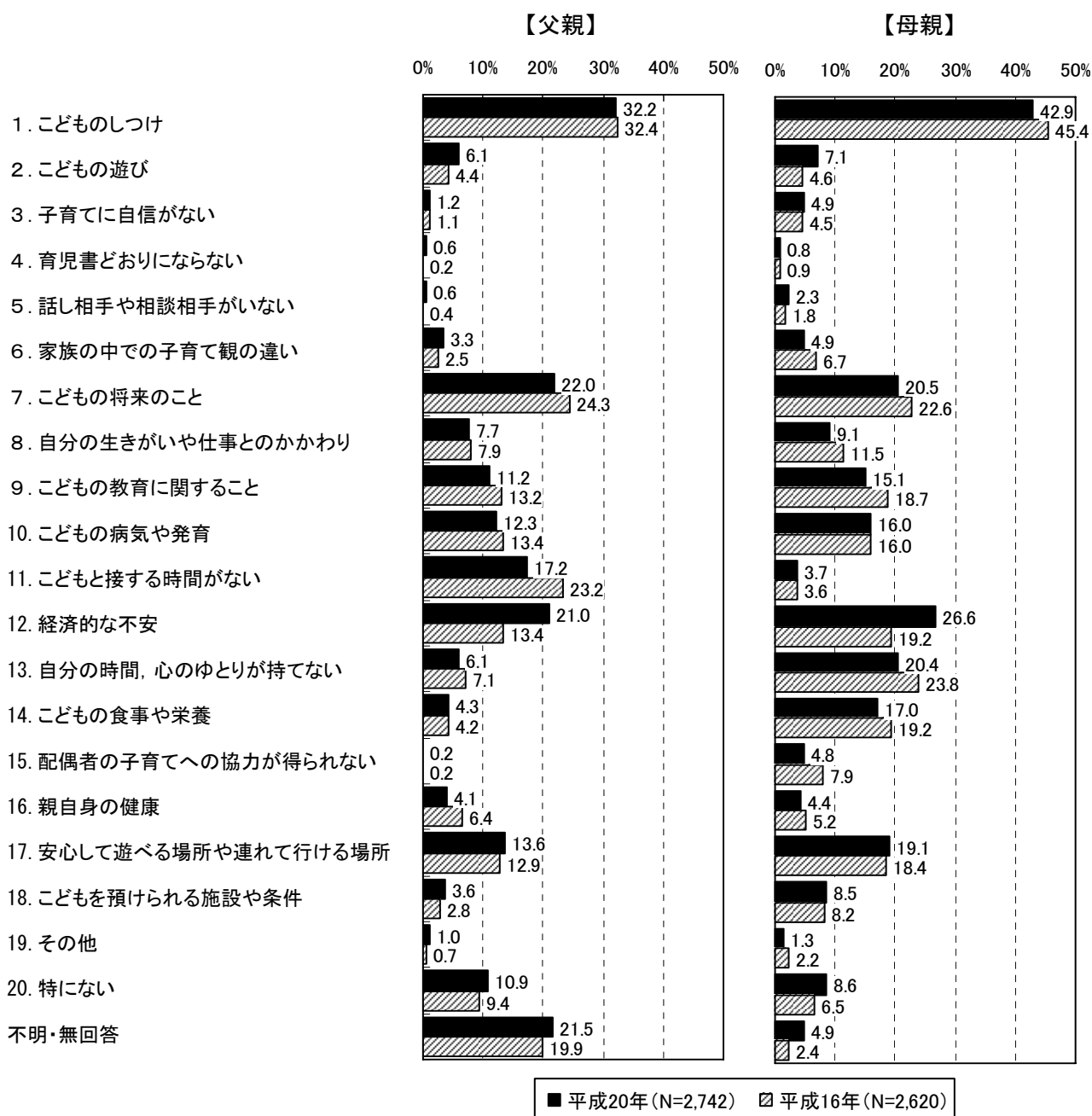
<就学前>

子育てをしていて、日頃悩んでいること、または気になることについてみると、「父親」「母親」ともに「1. こどものしつけ」が最も高くなっている。

また、「13. 自分の時間、心のゆとりが持てない」については、「母親」が「父親」より 14.3 ポイント、「14. こどもの食事や栄養」については 12.7 ポイント高く、父親と母親の差が大きくなっている。

平成 16 年調査との比較をみると、「父親」では「経済的な不安」の割合が平成 16 年調査より 6.6 ポイント、「母親」では 7.4 ポイント高くなっている。

<就学前>



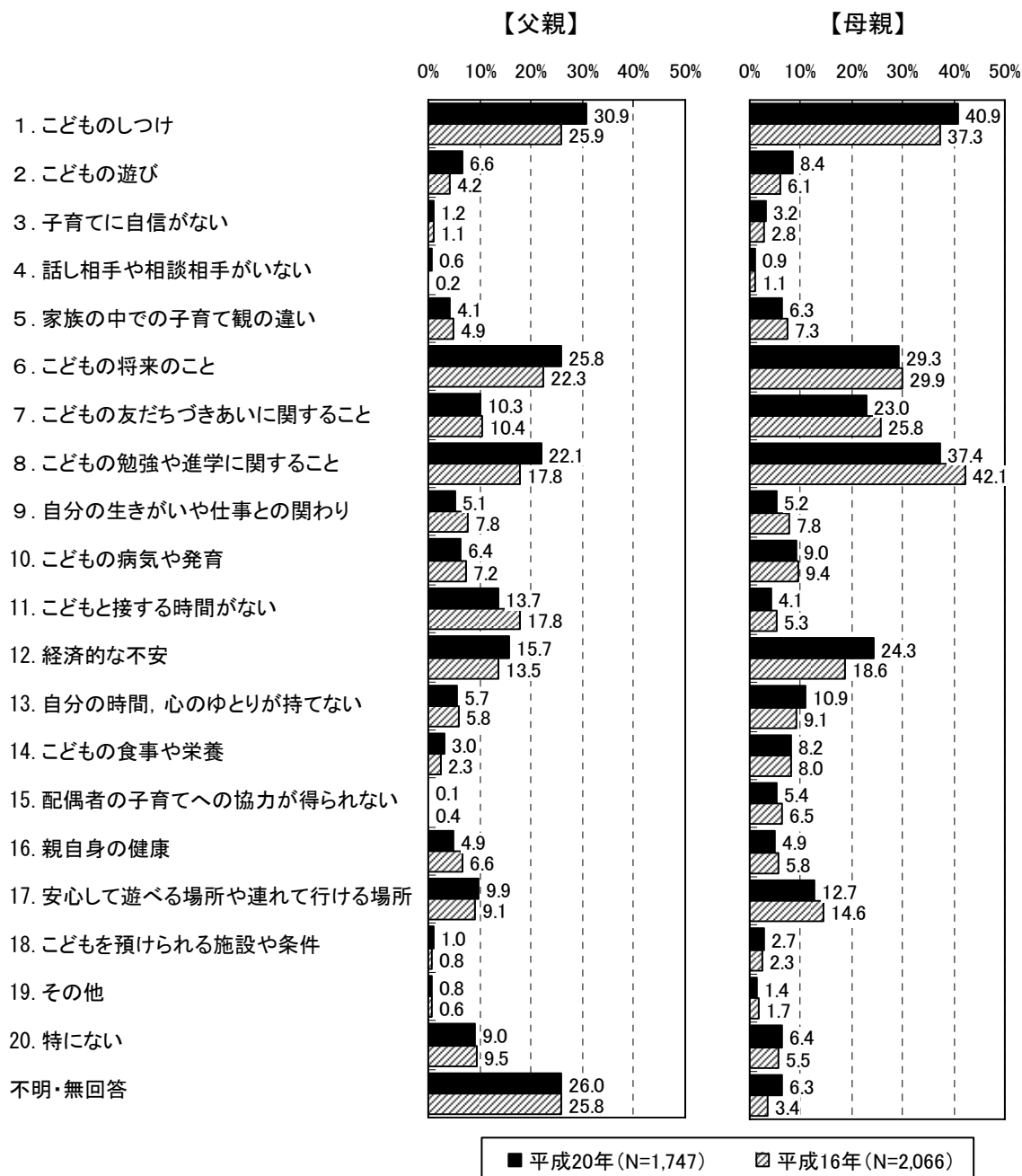
<小学生>

子育てをしていて、日頃悩んでいること、または気になることについてみると、「父親」「母親」とともに「1. こどものしつけ」が最も高くなっている。

「8. こどもの勉強や進学に関すること」については、「母親」が「父親」より15.3ポイント高くなっている。

平成16年調査と比較すると、「父親」についてはほぼ同様の結果となっている。また、「母親」については、平成16年調査では「8. こどもの勉強や進学に関すること」が最も高くなっていたのに対して、平成20年調査では、「1. こどものしつけ」が最も高くなっている。

<小学生>



(就学前 問 32, 小学生 問 29)

問 あて名のお子さんを育てるうえで、日頃感じられる悩みや不安を、誰に、またはどこに相談していらっしゃいますか。(あてはまるもの3つまで)

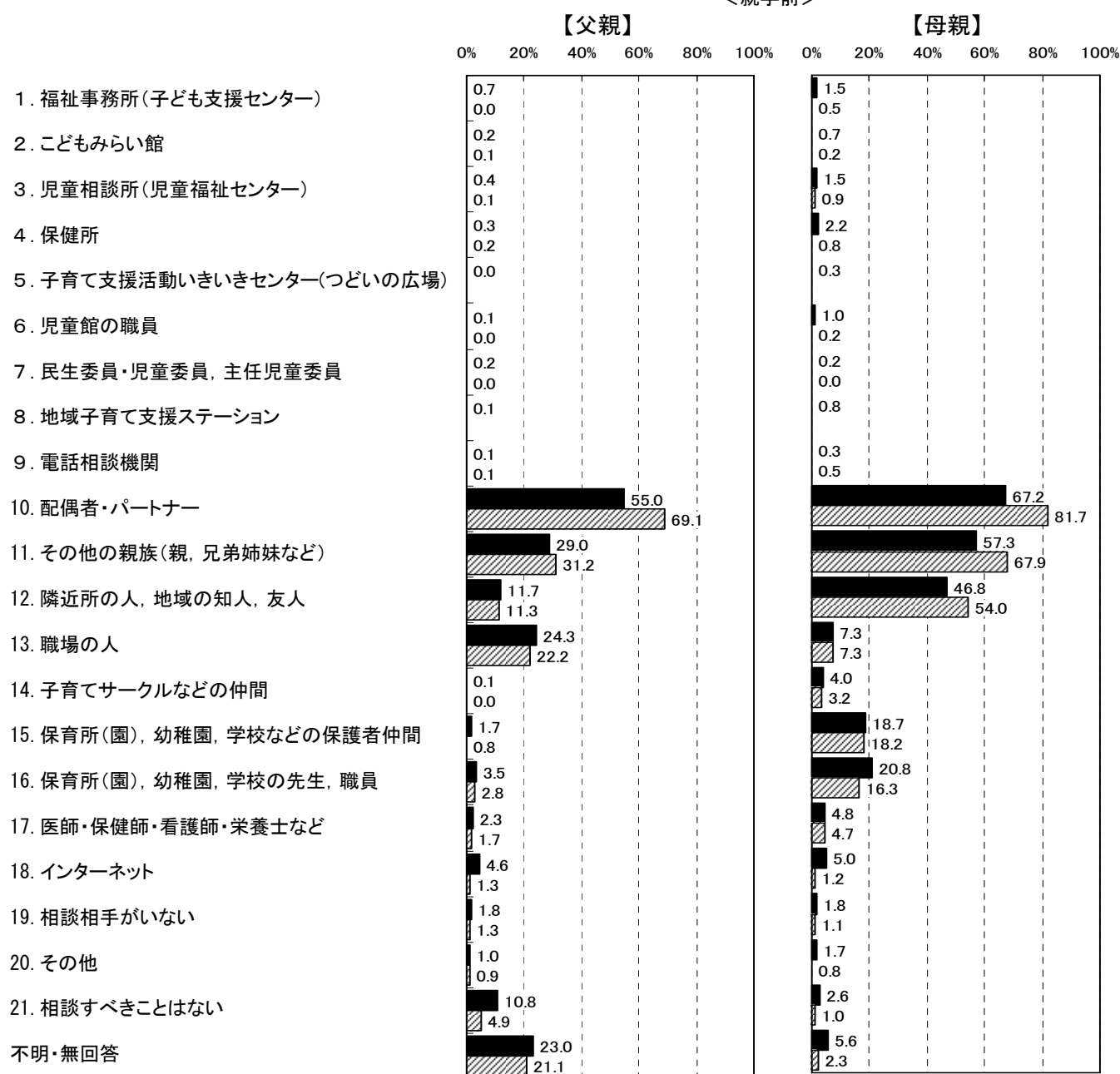
<就学前>

子育てについての相談先についてみると、「父親」「母親」ともに「10. 配偶者・パートナー」が最も高くなっている。

また、「12. 隣近所の人、地域の知人、友人」については、「母親」が「父親」より35.1ポイント、「11. その他の親族(親、兄弟姉妹など)」については28.3ポイント高く、父親と母親の差が大きくなっている。

平成16年調査と比較すると、「父親」「母親」ともに「10. 配偶者・パートナー」が低くなっている。「母親」では「16. 保育所(園)、幼稚園、学校の先生、職員」が4.5ポイント高くなっている。

<就学前>



■ 平成20年(N=2,742)    ▨ 平成16年(N=2,620)



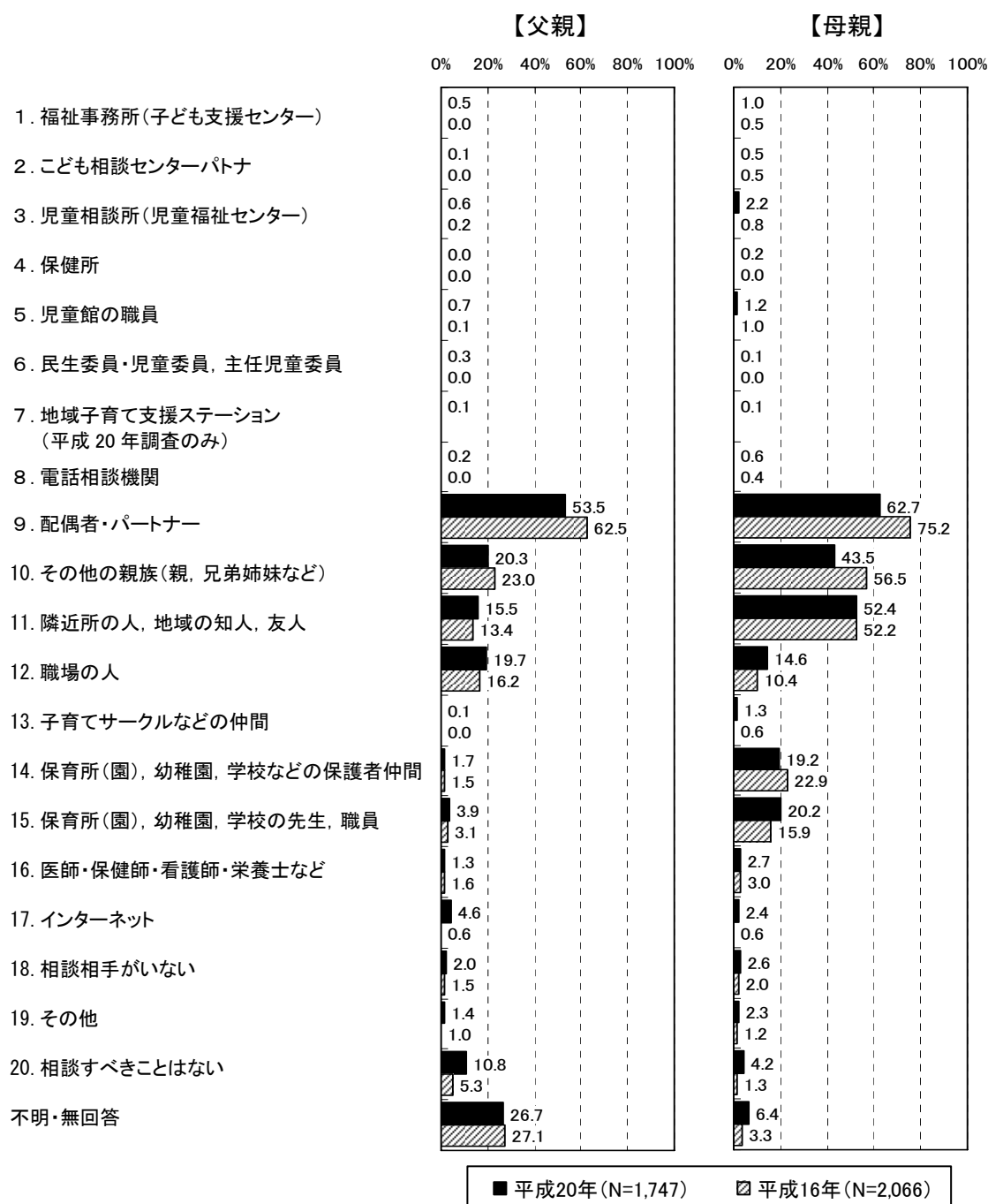
<小学生>

相談先についてみると、「父親」「母親」ともに「9. 配偶者・パートナー」が最も高くなっている。

「11. 隣近所の人、地域の知人、友人」については、「母親」が「父親」より36.9ポイントと高くなっている。

平成16年調査と比較すると、「父親」については「9. 配偶者・パートナー」が62.5%から53.5%と、9.0ポイント低くなっている。また、「母親」についても「9. 配偶者・パートナー」が75.2%から62.7%と、12.5ポイント低くなっている。

<小学生>



(就学前 問 33, 小学生 問 30)

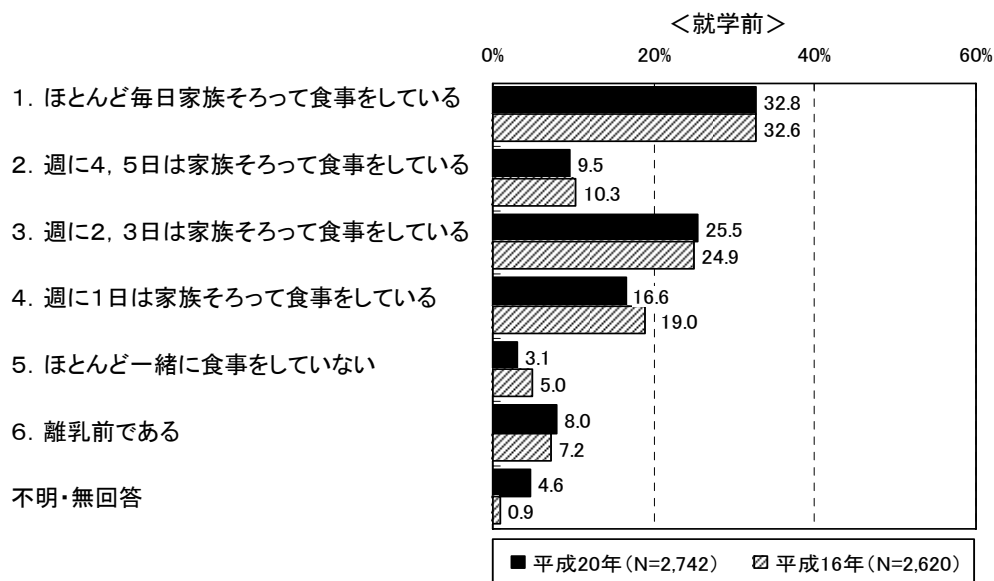
問 あて名のお子さんの食生活についてお答えください。

(1) ふだん家族そろって食事をするのがどのくらいありますか。

<就学前>

ふだん家族そろって食事をするのがどれくらいあるかについてみると、「1. ほとんど毎日家族そろって食事をしている」が32.8%と最も高くなっており、次いで「3. 週に2, 3日は家族そろって食事をしている」が25.5%となっている。

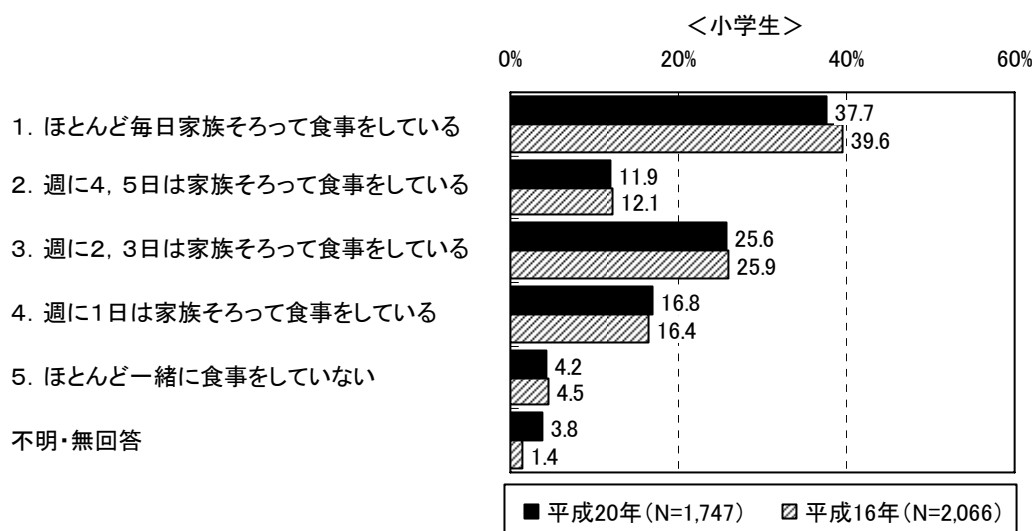
平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



<小学生>

ふだん家族そろって食事をするのがどれくらいあるかについてみると、「1. ほとんど毎日家族そろって食事をしている」が37.7%と最も高くなっており、次いで「3. 週に2, 3日は家族そろって食事をしている」が25.6%となっている。

平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。

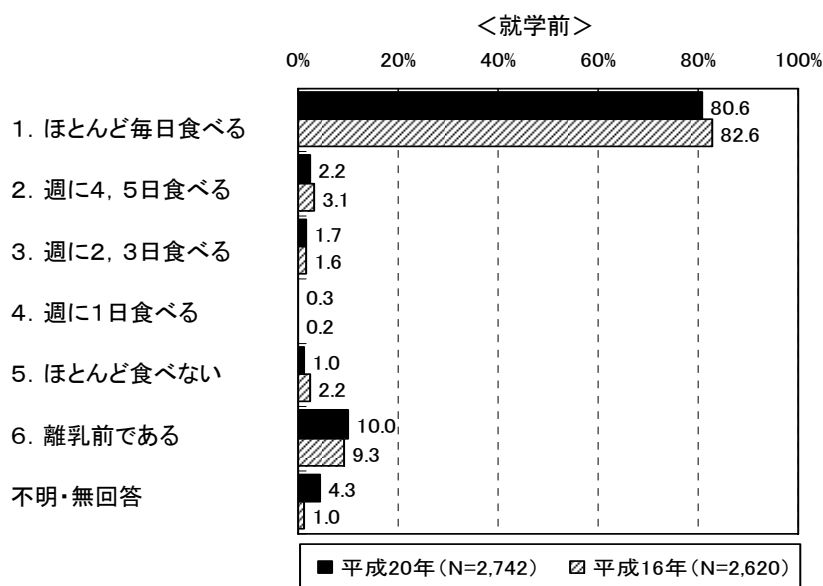


（2）あて名のお子さんは、ふだん朝食を食べていますか。

＜就学前＞

朝食を食べる頻度についてみると、「1. ほとんど毎日食べる」が80.6%と最も高くなっている。

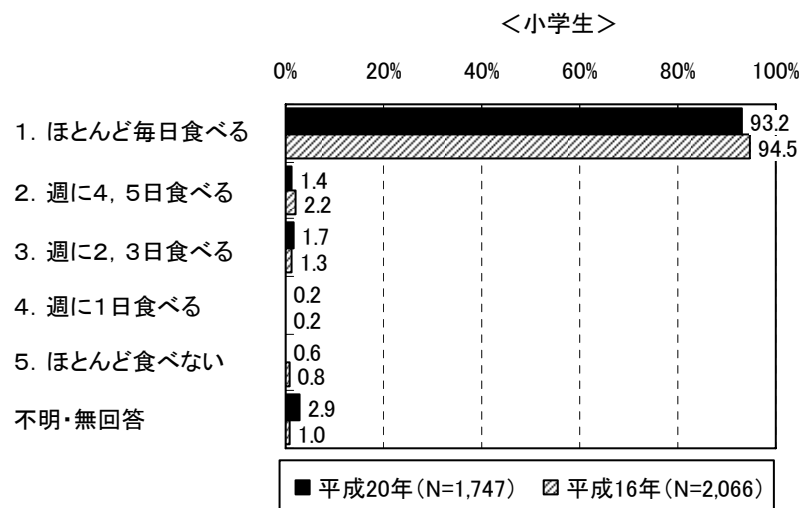
平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



＜小学生＞

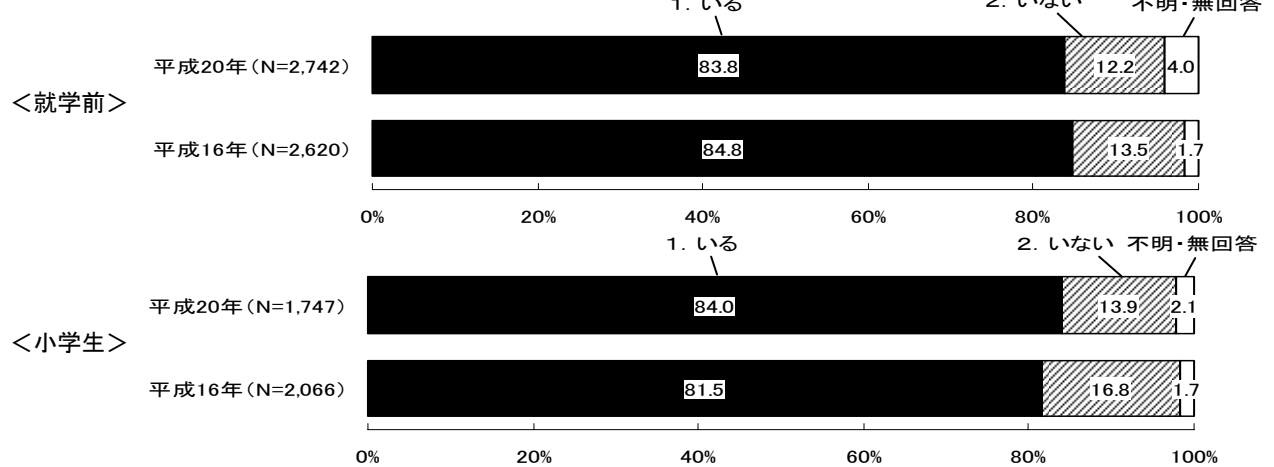
ふだん朝食を食べているかについてみると「1. ほとんど毎日食べる」が93.2%と大半を占めている。

平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



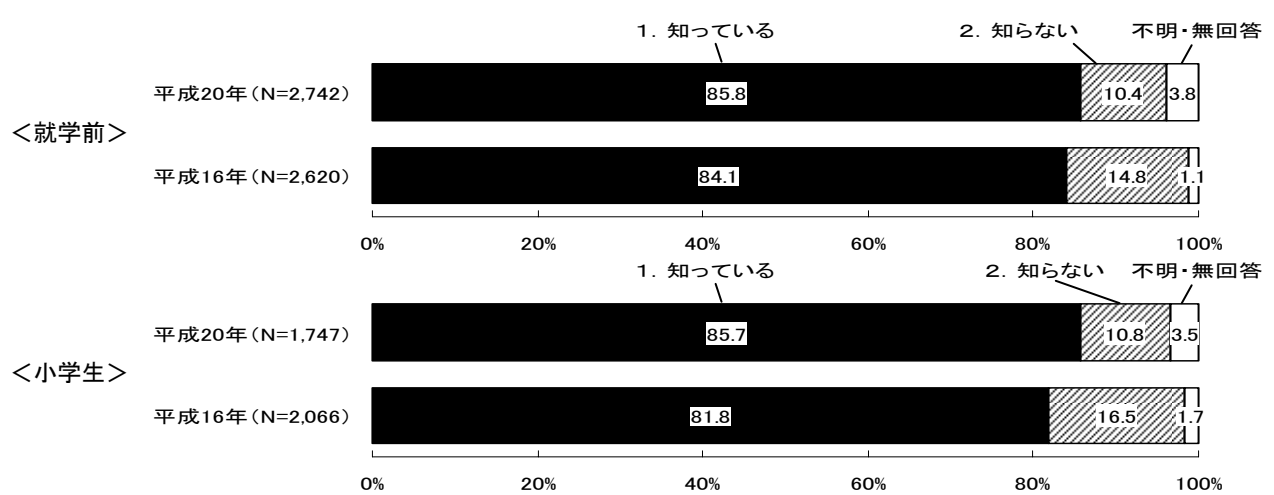
(就学前 問 34, 小学生 問 31)

問 あて名のお子さんには、かかりつけの医師がいますか。



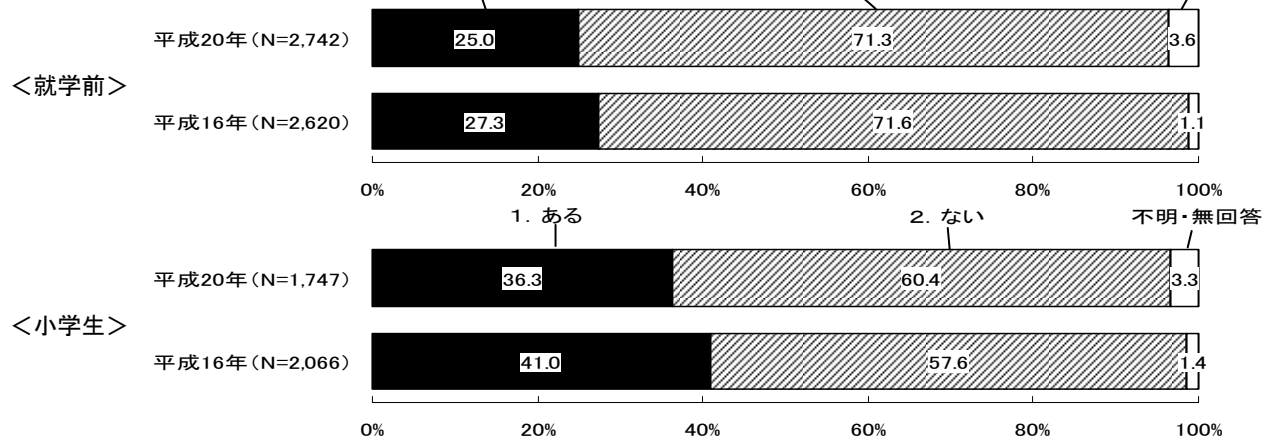
(就学前 問 35, 小学生 問 32)

問 あなたは、休日・夜間に診てもらえる小児救急医療機関を知っていますか。



(就学前 問 36, 小学生 問 33)

問 あて名のお子さんは、いままでに事故（転倒・交通事故・やけど・誤飲・溺水など）にあったことがありますか。

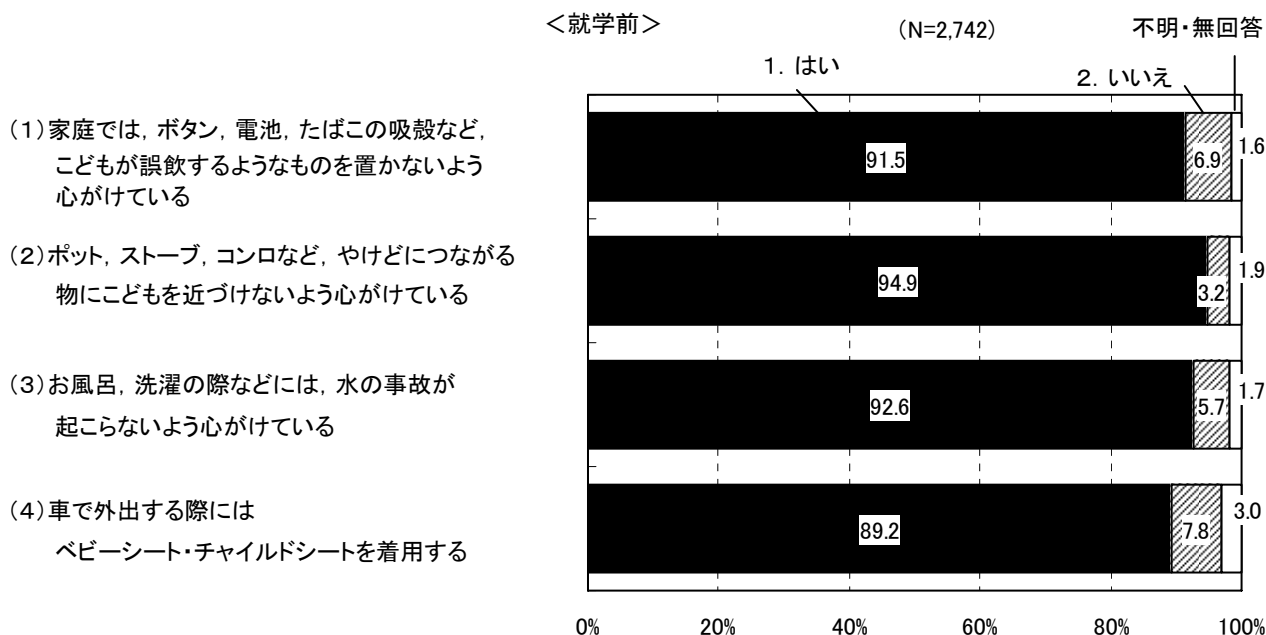


（就学前 問 37）

問 次の(1)～(4)はいずれも事故防止や健康のための対策ですが、あて名のお子さんについて意識して行っています(ました)か。(1)～(4)のそれぞれの設問についてお答えください。

＜就学前＞

事故防止や健康のための対策を意識して行っているかについてみると、すべての項目において、「1. はい」が約9割と高くなっている。

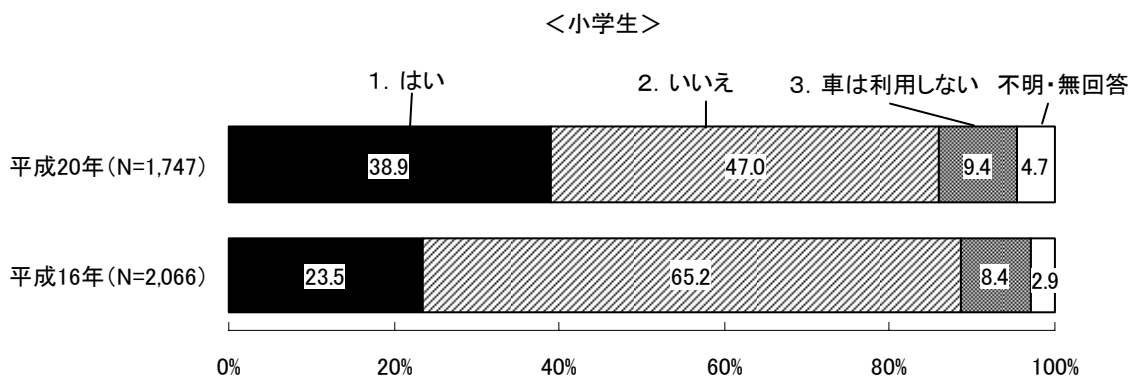


（小学生 問 34）

問 車で外出する際に、あて名のお子さんにはチャイルドシート・ジュニアシートを着用させていますか。

＜小学生＞

平成16年調査と比較すると、「1. はい」が23.5%から38.9%と、15.4ポイント高くなっている。

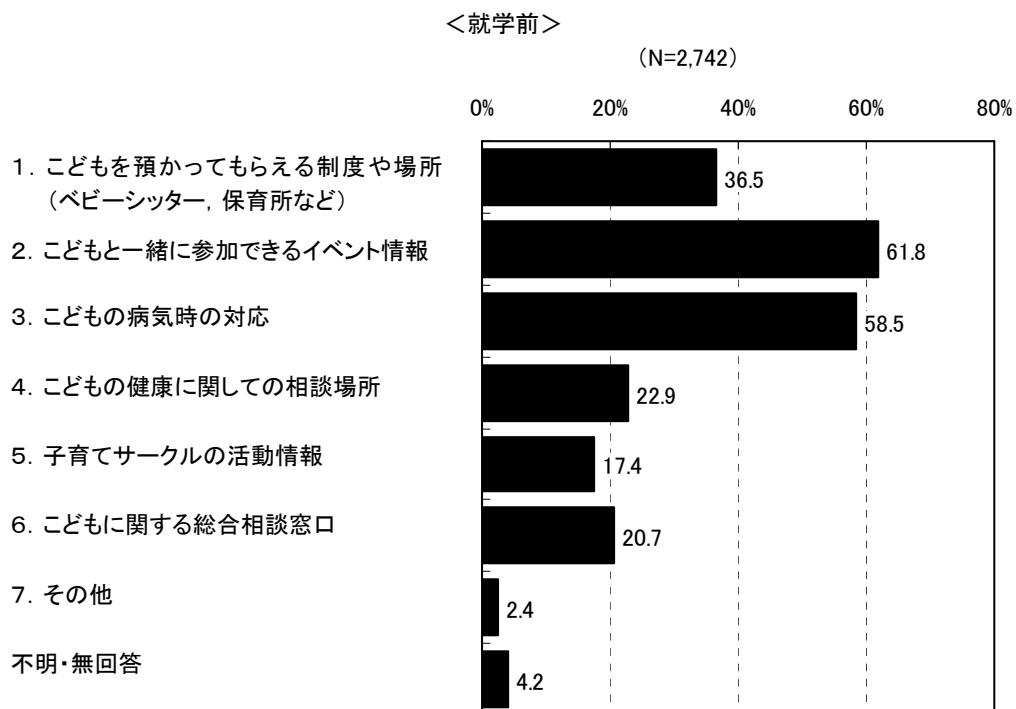


(就学前 問 38)

問 あなたが子育てに関して知りたい情報とはどのようなものですか。(あてはまるものすべて)

<就学前>

子育てに関して知りたい情報についてみると、「2. こどもと一緒に参加できるイベント情報」が61.8%と最も高く、次いで「3. こどもの病気時の対応」が58.5%となっている。



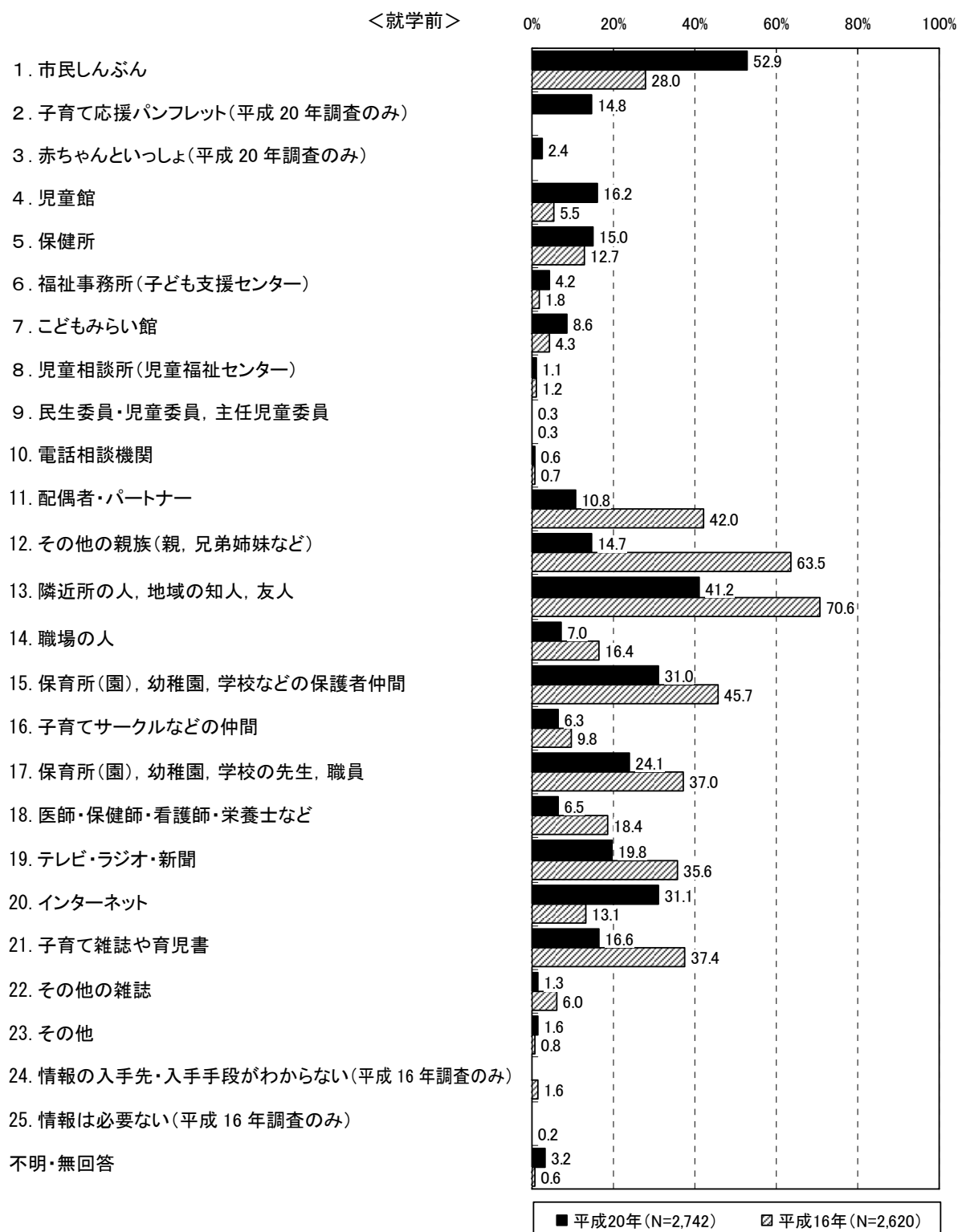
（就学前 問 38-1）

問 問 38 のような子育てに必要な施策情報等をどのように入手されていますか。（あてはまるものすべて）

＜就学前＞

子育てに必要な施策情報等の入手先についてみると、「1. 市民しんぶん」が 52.9%と最も高く、次いで「13. 隣近所の人、地域の知人、友人」が 41.2%となっている。

平成 16 年調査と比較すると、「1. 市民しんぶん」は 24.9 ポイント高くなっており、「11. 配偶者・パートナー」「12. その他の親族（親、兄弟姉妹など）」「13. 隣近所の人、地域の知人、友人」はそれぞれ 31.2 ポイント、48.8 ポイント、29.4 ポイント低くなっている。



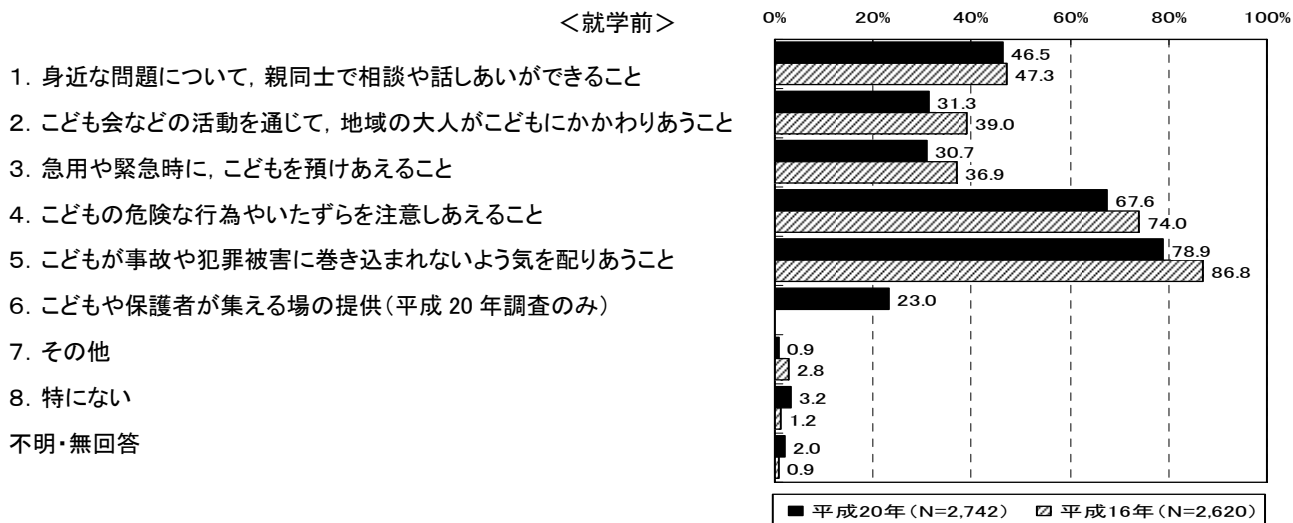
(就学前 問 39)

問 あなたは、子育てをするうえで、ご近所・地域の人々にどのようなことを期待しますか。(あてはまるものすべて)

<就学前>

子育てについて地域の人々に期待することについてみると、「5. こどもが事故や犯罪被害に巻き込まれないよう気を配りあうこと」が78.9%と最も高く、次いで「4. こどもの危険な行為やいたずらを注意しあえること」が67.6%となっている。

平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっているが、選択肢が増えているため全体的に割合が分散され低くなっている。

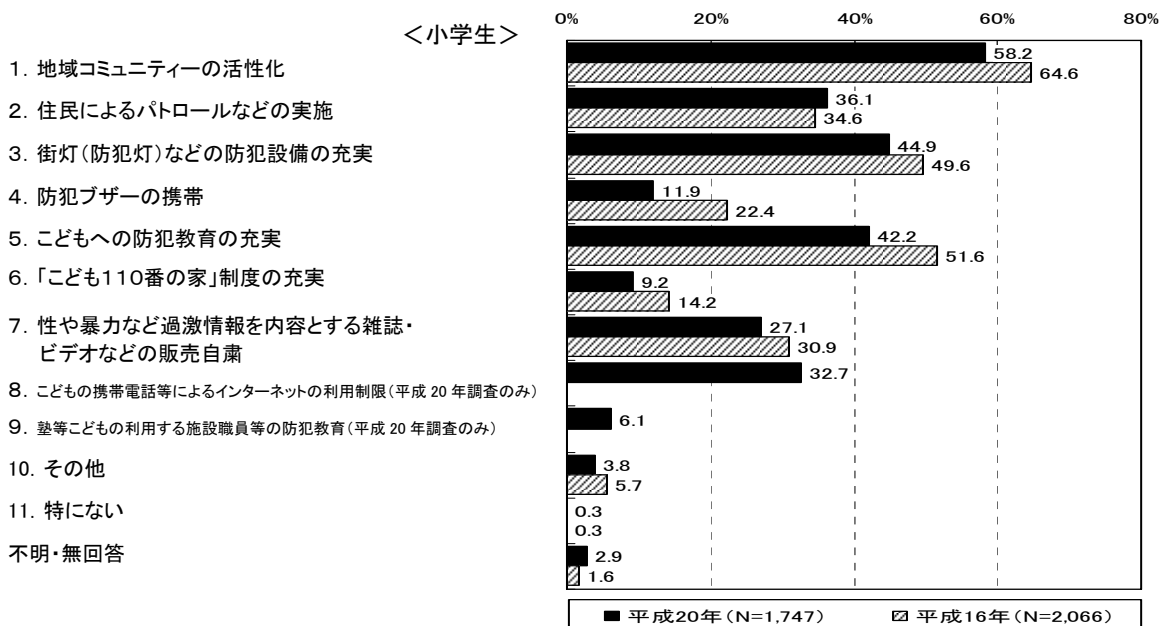


(小学生 問 35)

問 こどもが被害者となる犯罪が社会問題となっていますが、被害を予防・防止するために特に必要なことは何だと思えますか。(主なもの3つまで)

<小学生>

被害を予防・防止するために特に必要なことについてみると「1. 地域コミュニティの活性化」が58.2%と最も高く、次いで「3. 街灯(防犯灯)などの防犯設備の充実」が44.9%となっている。平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



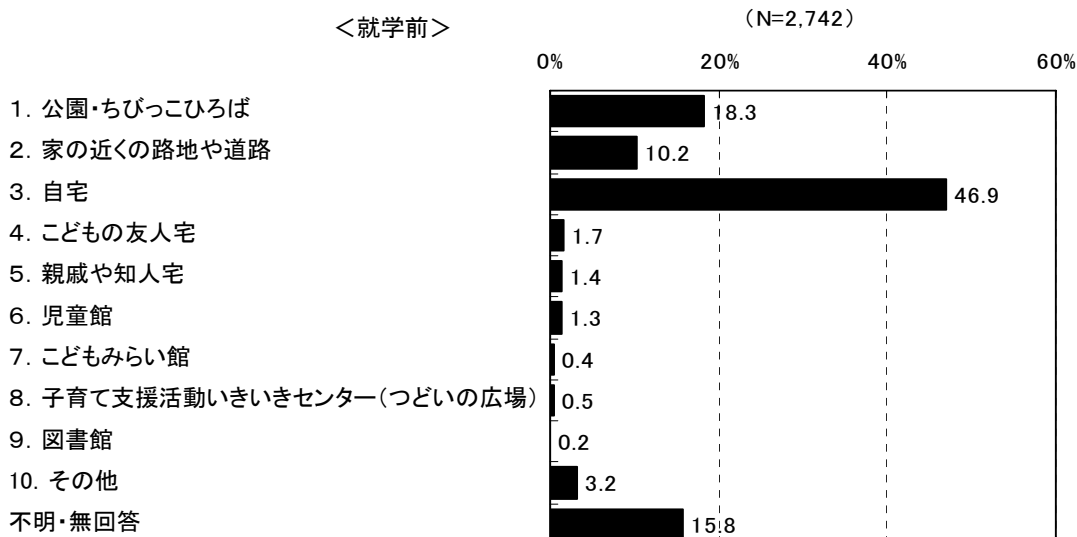


（就学前 問40）

問 あて名のお子さんを、平日の日中どこで遊ばせることが多いですか。

＜就学前＞

平日の日中どこで遊ばせるかについてみると、「3. 自宅」が46.9%と最も高く、次いで「1. 公園・ちびっこひろば」が18.3%となっている。



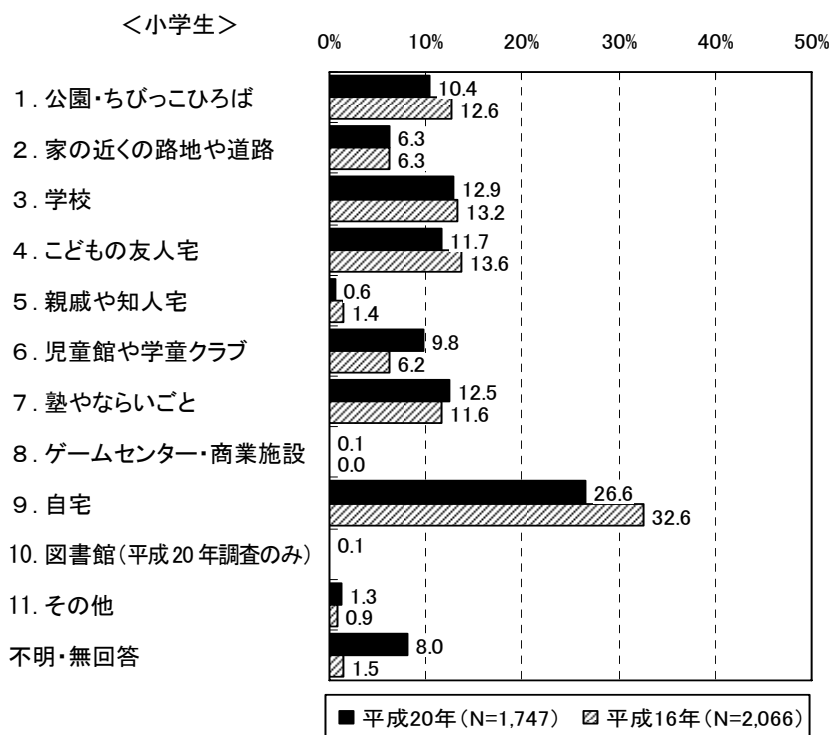
（小学生 問36）

問 あて名のお子さんは、平日の放課後どこで過ごすことが多いですか。

＜小学生＞

平日の放課後どこで過ごすかについてみると「9. 自宅」が26.6%と最も高く、次いで「3. 学校」が12.9%となっている。

平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



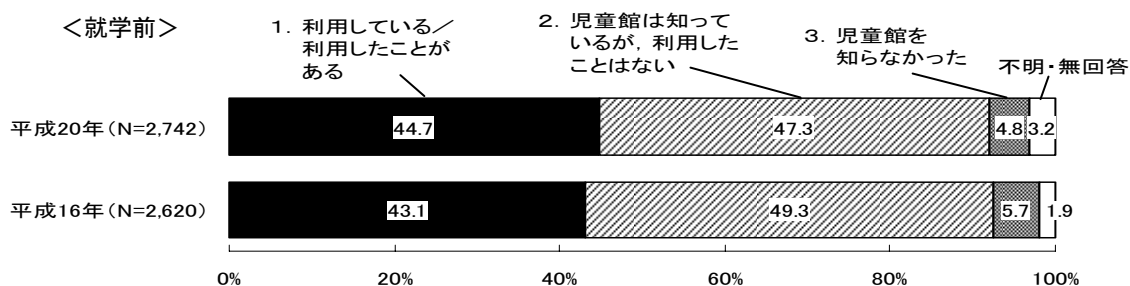
(就学前 問 41, 小学生 問 37)

問 京都市では、遊びを通じて児童の健全育成を図る地域の拠点として、児童館の整備・運営を行っています。あて名のお子さんは、これまでに児童館を利用したことがありますか。

＜就学前＞

これまで児童館を利用したことがあるかについてみると、「2. 児童館は知っているが、利用したことはない」が47.3%と最も高く、次いで「1. 利用している／利用したことがある」が44.7%となっている。

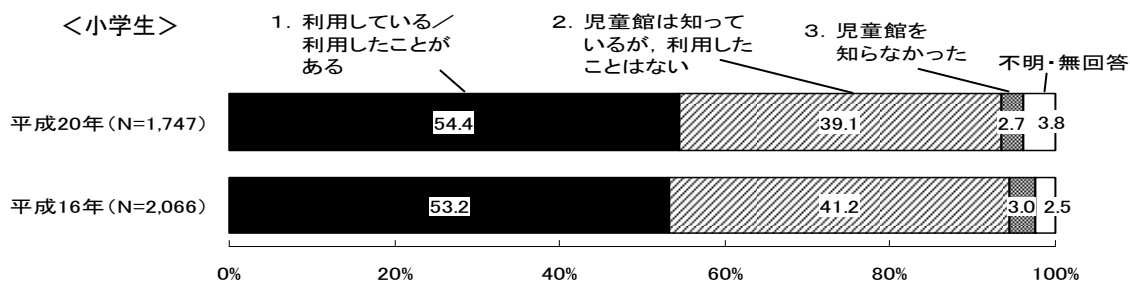
平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



＜小学生＞

これまで児童館を利用したことがあるかについてみると「1. 利用している／利用したことがある」が54.4%と最も高く、次いで「2. 児童館は知っているが、利用したことはない」が39.1%となっている。

平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



(就学前 問 41-1, 小学生 問 37-1)

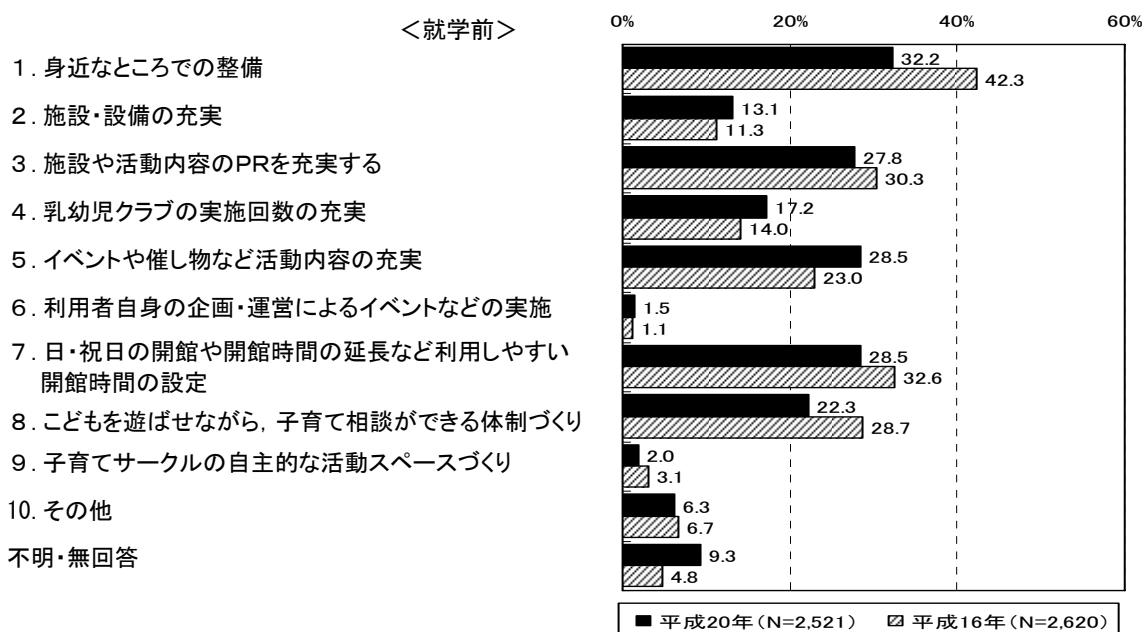
問 前問で「1」、「2」を選ばれた方におうかがいします。

あて名のお子さんが利用しやすくするために、児童館について期待することは何ですか。(主なもの3つまで)

<就学前>

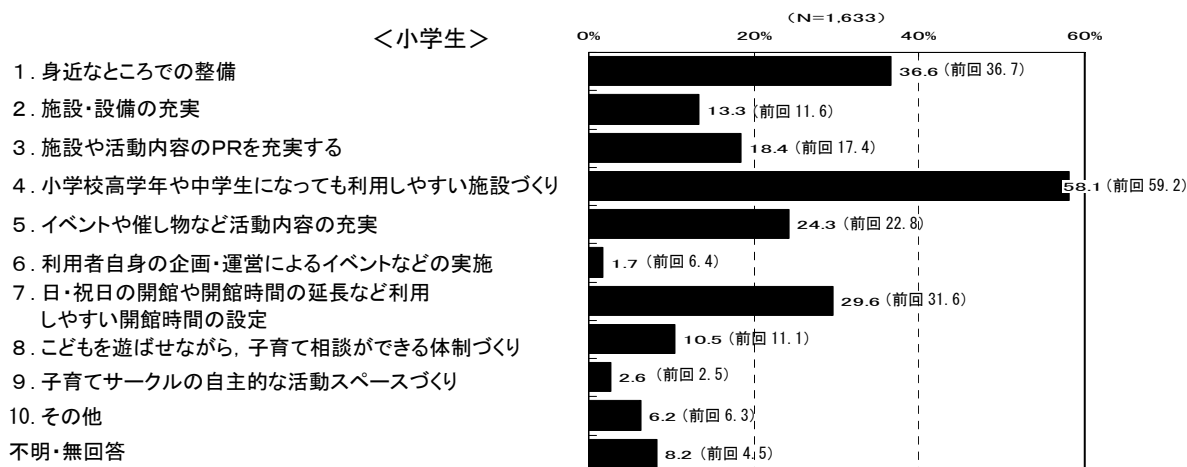
児童館に期待することについてみると、「1. 身近なところでの整備」が32.2%と最も高く、次いで「5. イベントや催し物など活動内容の充実」「7. 日・祝日の開館や開館時間の延長など利用しやすい開館時間の設定」がそれぞれ28.5%となっている。

平成16年調査と比較すると、「1. 身近なところでの整備」は10.1ポイント低くなっている。一方、「5. イベントや催し物など活動内容の充実」は5.5ポイント高くなっている。



<小学生>

児童館に期待することについてみると「4. 小学校高学年や中学生になっても利用しやすい施設づくり」が58.1%と最も高く、次いで「1. 身近なところでの整備」が36.6%となっている。



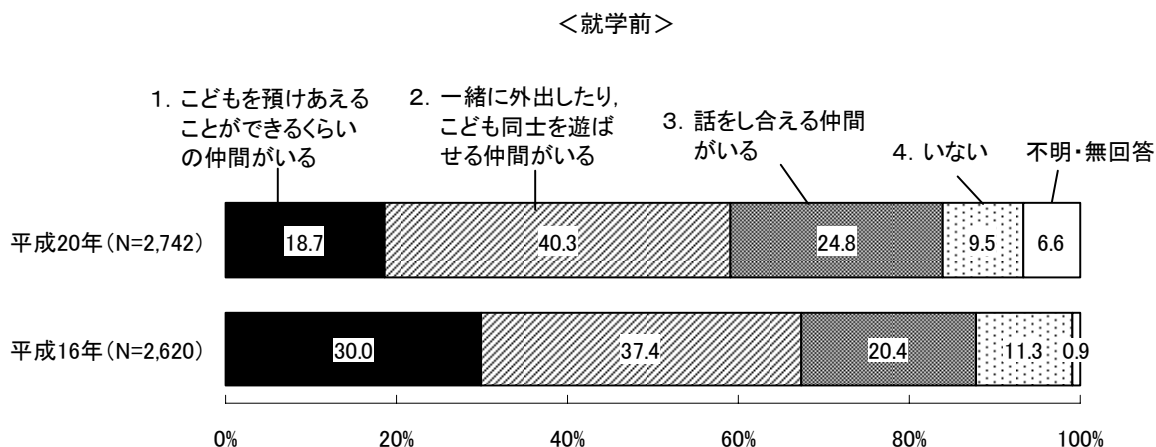
(就学前 問 42)

問 あなたの周りには子育ての仲間がいますか。

<就学前>

子育て仲間の有無についてみると、「2. 一緒に外出したり、子ども同士を遊ばせる仲間がいる」が40.3%と最も高く、次いで「3. 話をし合える仲間がいる」が24.8%となっている。

平成16年調査と比較すると、「2. 一緒に外出したり、子ども同士を遊ばせる仲間がいる」「3. 話をし合える仲間がいる」が高くなっている一方、「1. 子どもを預けあえることができるくらいの仲間がいる」は低くなっている。



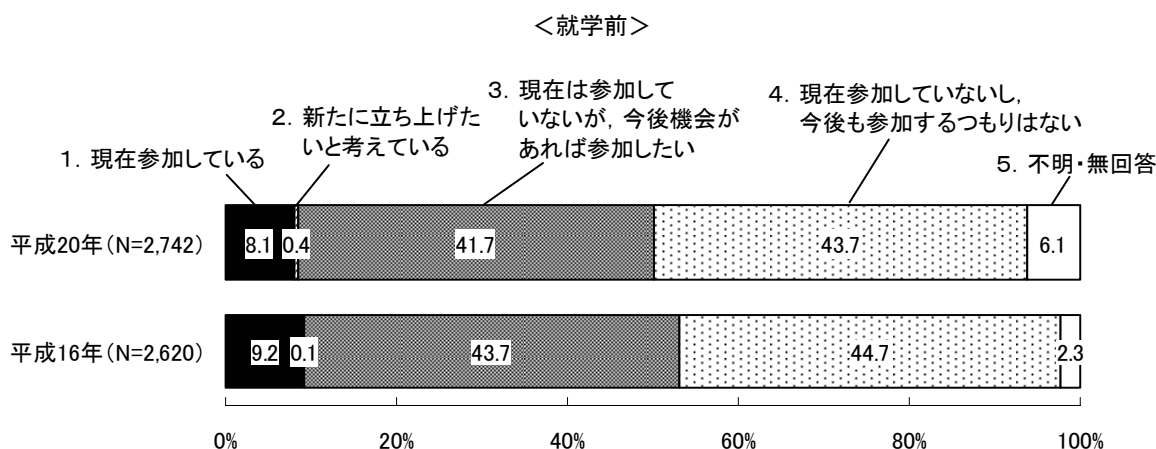
(就学前 問 43)

問 あなたは子育てに関するサークルなど自主的な活動に参加していますか。

<就学前>

自主的な活動に参加しているかについてみると、「4. 現在参加していないし、今後参加するつもりはない」が43.7%と最も高く、次いで「3. 現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が41.7%となっている。

平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



(就学前 問 43-2)

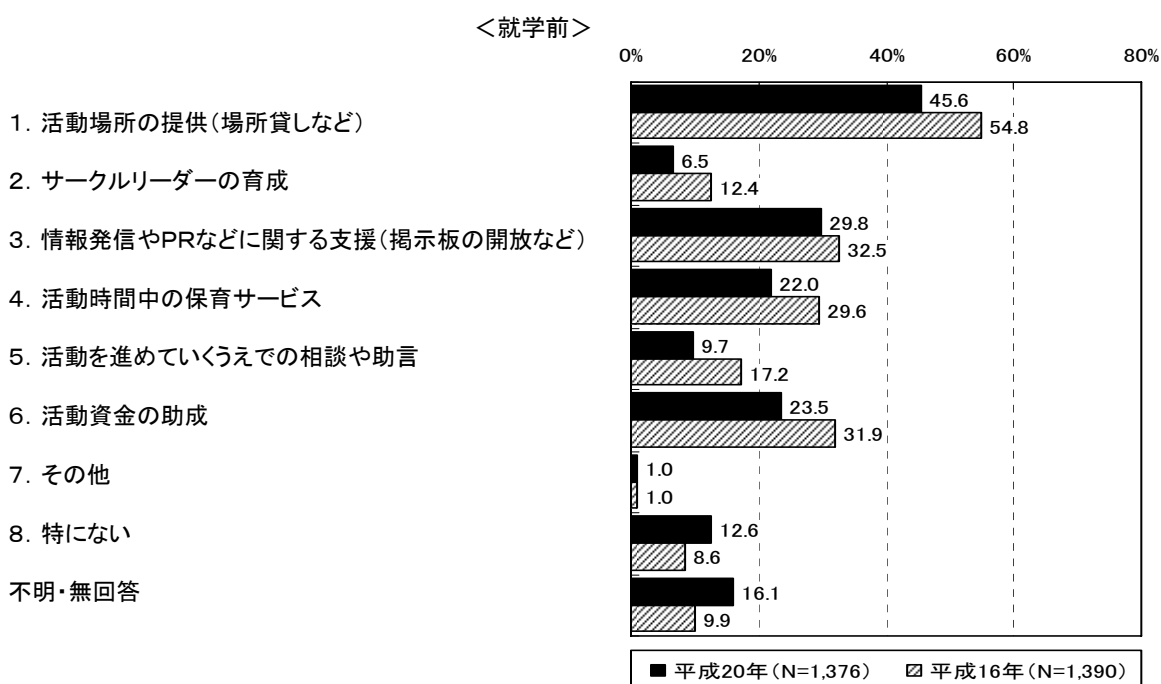
問 問 43 で「1」、「2」、「3」を選ばれた方におうかがいします。

子育てサークルなどの自主的な活動をしていくにあたって行政や地域に行ってほしい支援はどのようなものですか。(主なもの3つまで)

<就学前>

自主的な活動をしていくにあたって行政や地域に行ってほしい支援についてみると、「1. 活動場所の提供(場所貸しなど)」が45.6%と最も高く、次いで「3. 情報発信やPRなどに関する支援(掲示板の開放など)」が29.8%となっている。

平成16年調査と比較すると、全体的に割合が低くなっており、「1. 活動場所の提供(場所貸しなど)」では9.2ポイント低くなっている。



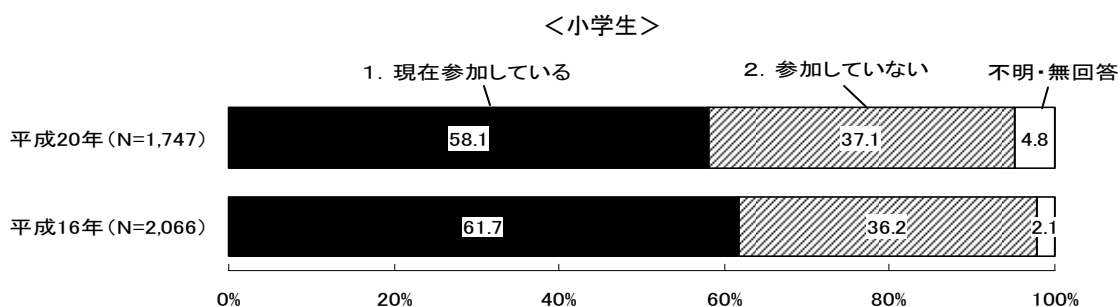
(小学生 問 38)

問 問 38で「1」を選ばれた方におうかがいします。  
あなたは地域活動に参加していますか。

<小学生>

地域活動に参加しているかについてみると「1. 現在参加している」が58.1%、「2. 参加していない」が37.1%となっている。

平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



(小学生 問 38-1)

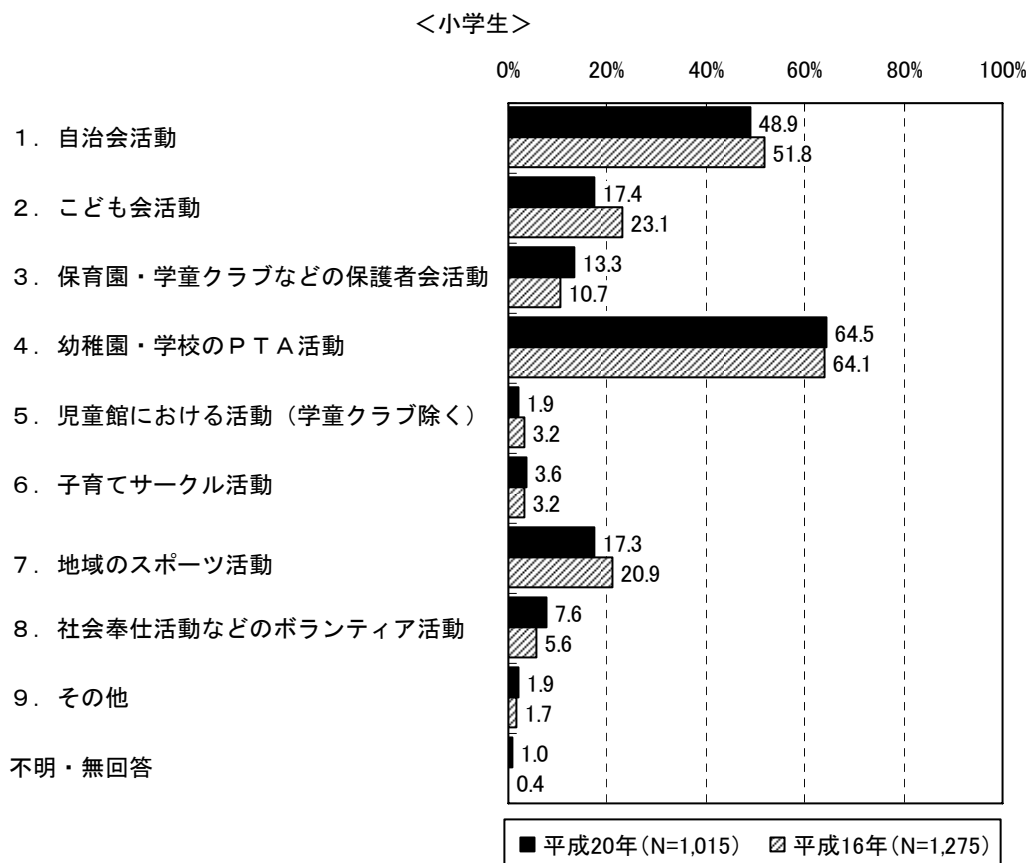
問 問 38で「1」を選ばれた方におうかがいします。

それはどんな活動ですか。(あてはまるものすべて)

<小学生>

地域活動の内容についてみると「4. 幼稚園・学校のPTA活動」が64.5%と最も高く、次いで「1. 自治会活動」が48.9%となっている。

平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



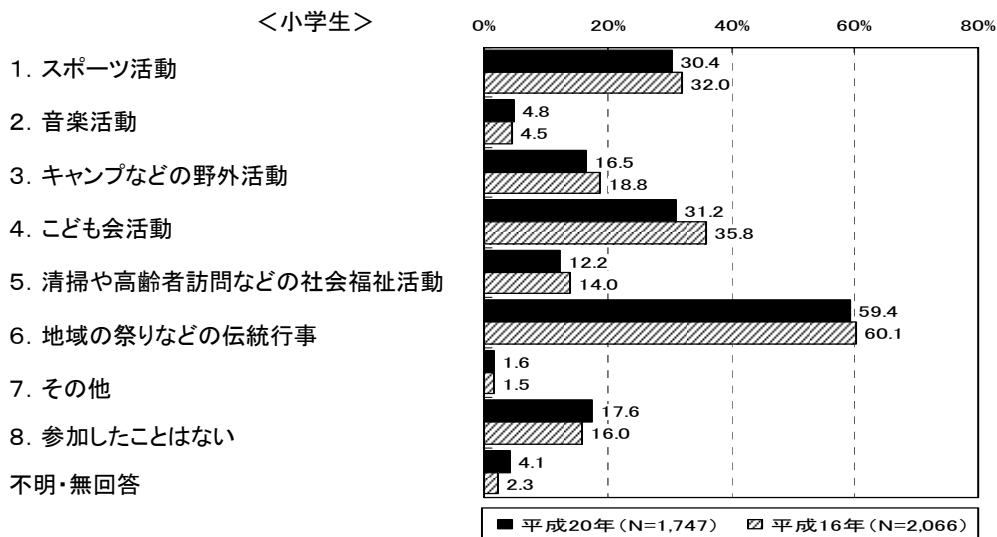
(小学生 問 39)

問 あて名のお子さんは、地域的なグループ活動に参加したことがありますか。(あてはまるものすべて)

<小学生>

地域的なグループ活動に参加したことがあるかについてみると「6. 地域の祭りなどの伝統行事」が59.4%と最も高く、次いで「4. こども会活動」が31.2%となっている。

平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



(小学生 問 40)

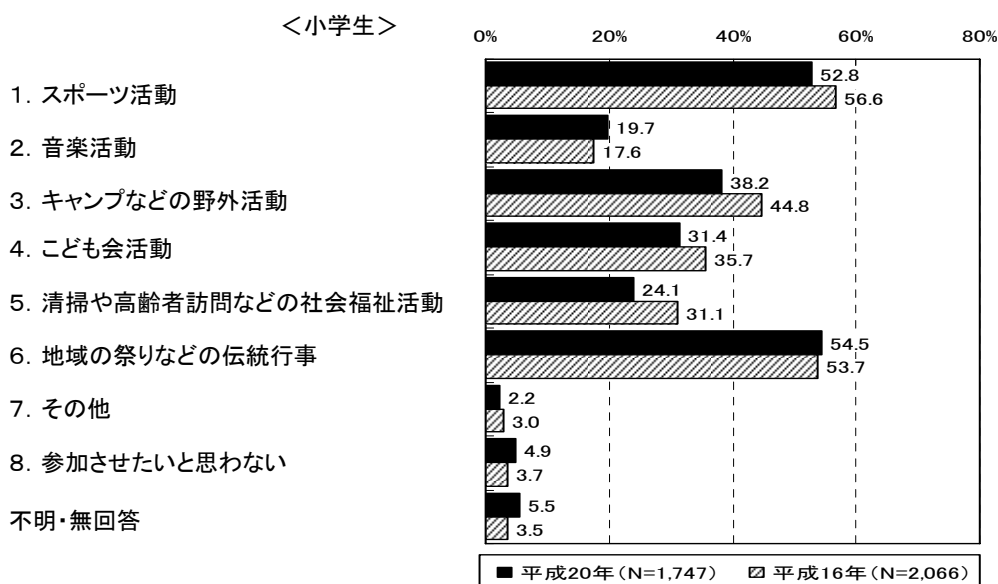
問 今後、あて名のお子さんを、どのような地域的なグループ活動に参加させたいと思いますか。

(あてはまるものすべて)

<小学生>

どのような地域的なグループ活動に参加させたいかについてみると「6. 地域の祭りなどの伝統行事」が54.5%、「1. スポーツ活動」が52.8%となっている。

平成16年調査と比較すると、平成16年調査では「スポーツ活動」が最も高くなっていたのに対して、平成20年調査では「地域の祭りなどの伝統行事」が最も高くなっている。



(就学前 問 44)

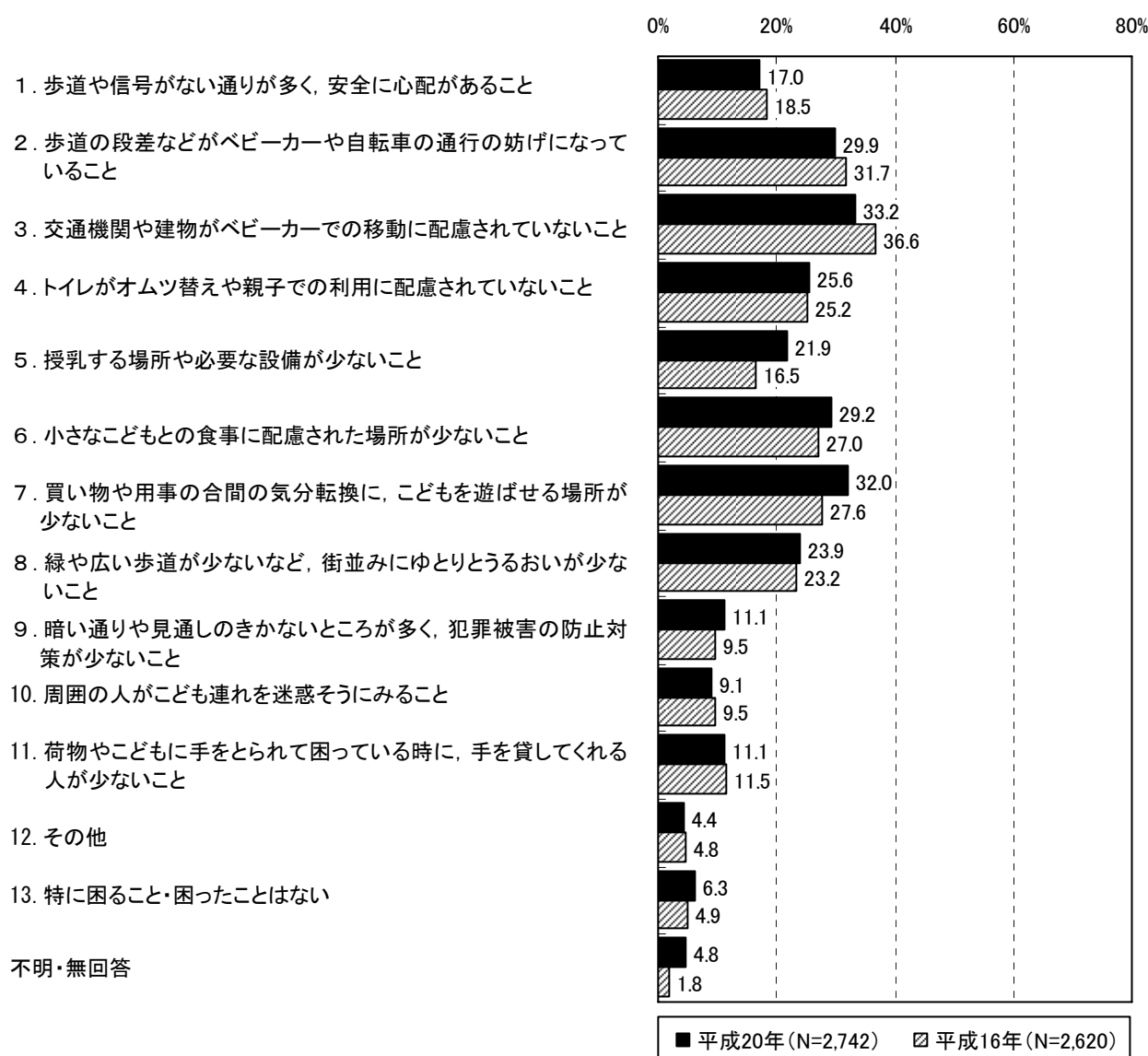
問 あて名のお子さんと外出する際に、困ること・困ったことは何ですか。(あてはまるもの3つまで)

<就学前>

こどもとの外出の際に困ることについてみると、「3. 交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていないこと」が33.2%と最も高く、次いで「7. 買い物や用事の合間の気分転換に、こどもを遊ばせる場所が少ないこと」が32.0%となっている。

平成16年調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっているが、「5. 授乳する場所や必要な設備が少ないこと」「6. 小さなこどもとの食事に配慮された場所が少ないこと」「7. 買い物や用事の合間の気分転換に、こどもを遊ばせる場所が少ないこと」などが高くなっている。

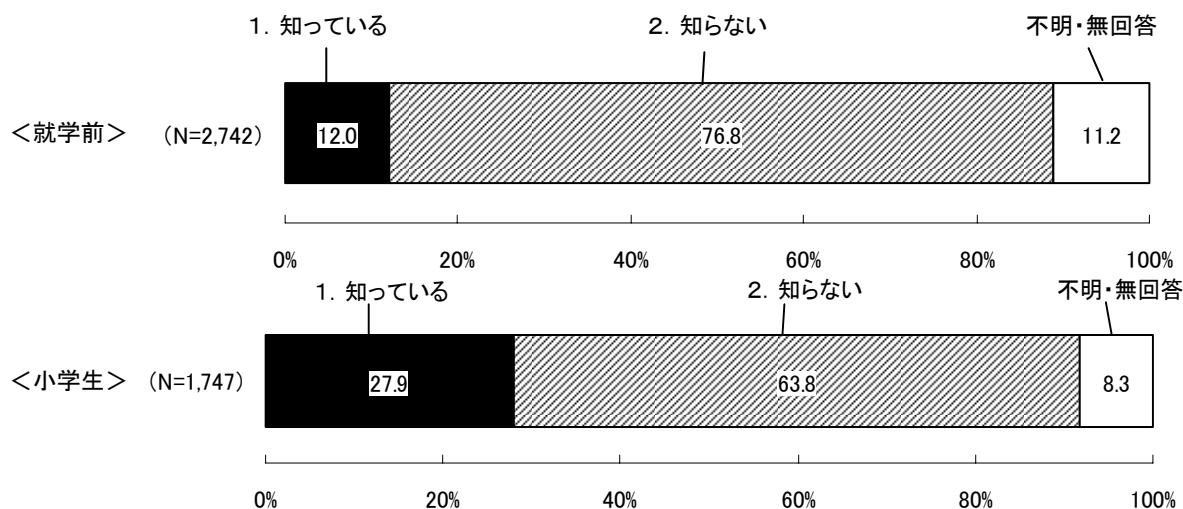
<就学前>





(就学前 問 45, 小学生 問 41)

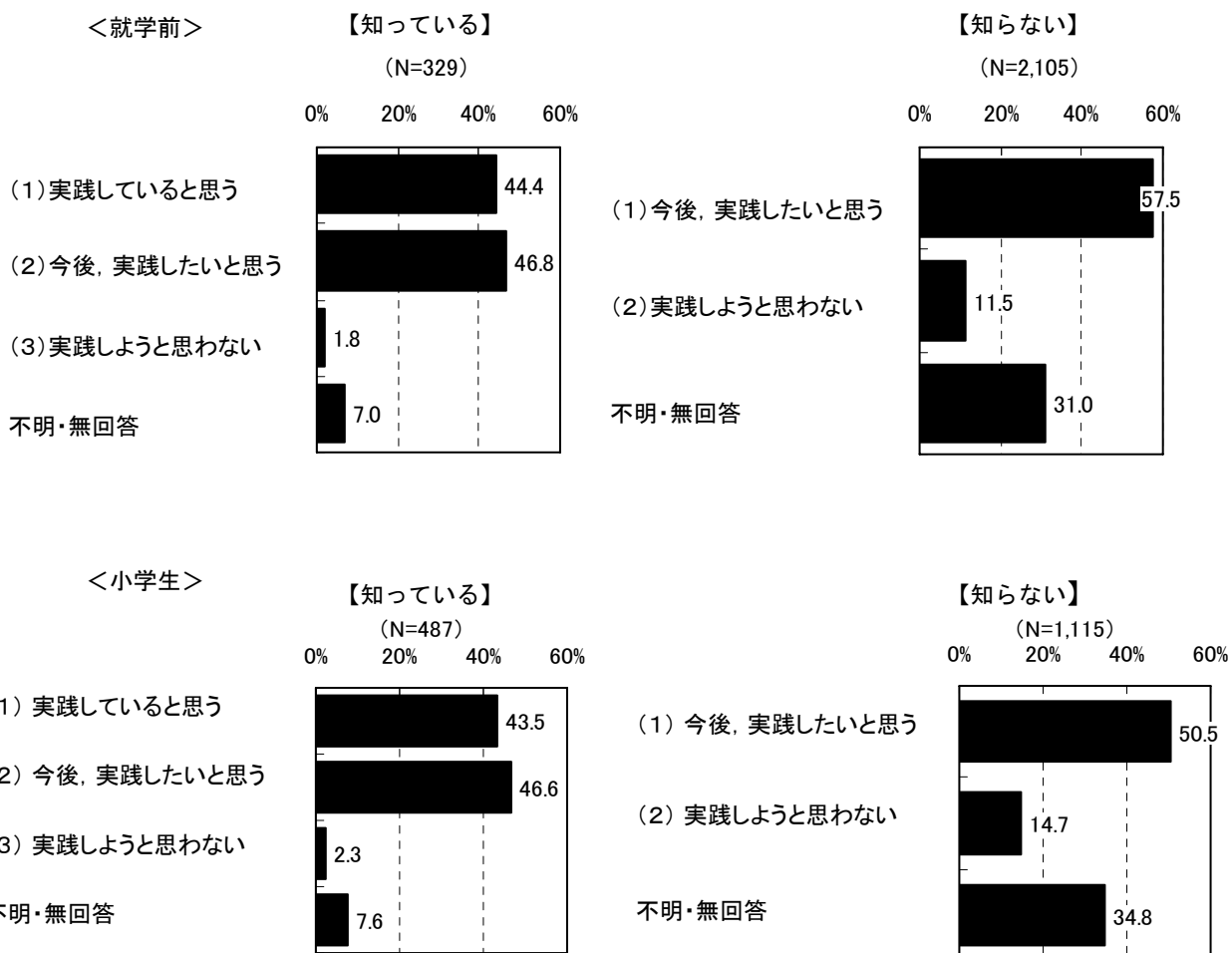
問 平成 19 年 2 月 制定の「子どもを共に育む京都市民憲章」についておうかがいします。あなたは、この憲章を知っていますか。また、憲章の実践についてどう思われますか。



〔憲章の実践について〕

憲章を知っている方についてみると、「(2) 今後、実践したいと思う」が最も高く、次いで「(1) 実践していると思う」が高くなっている。

知らない方についてみると、「(1) 今後、実践したいと思う」が約 5~6 割となっている。



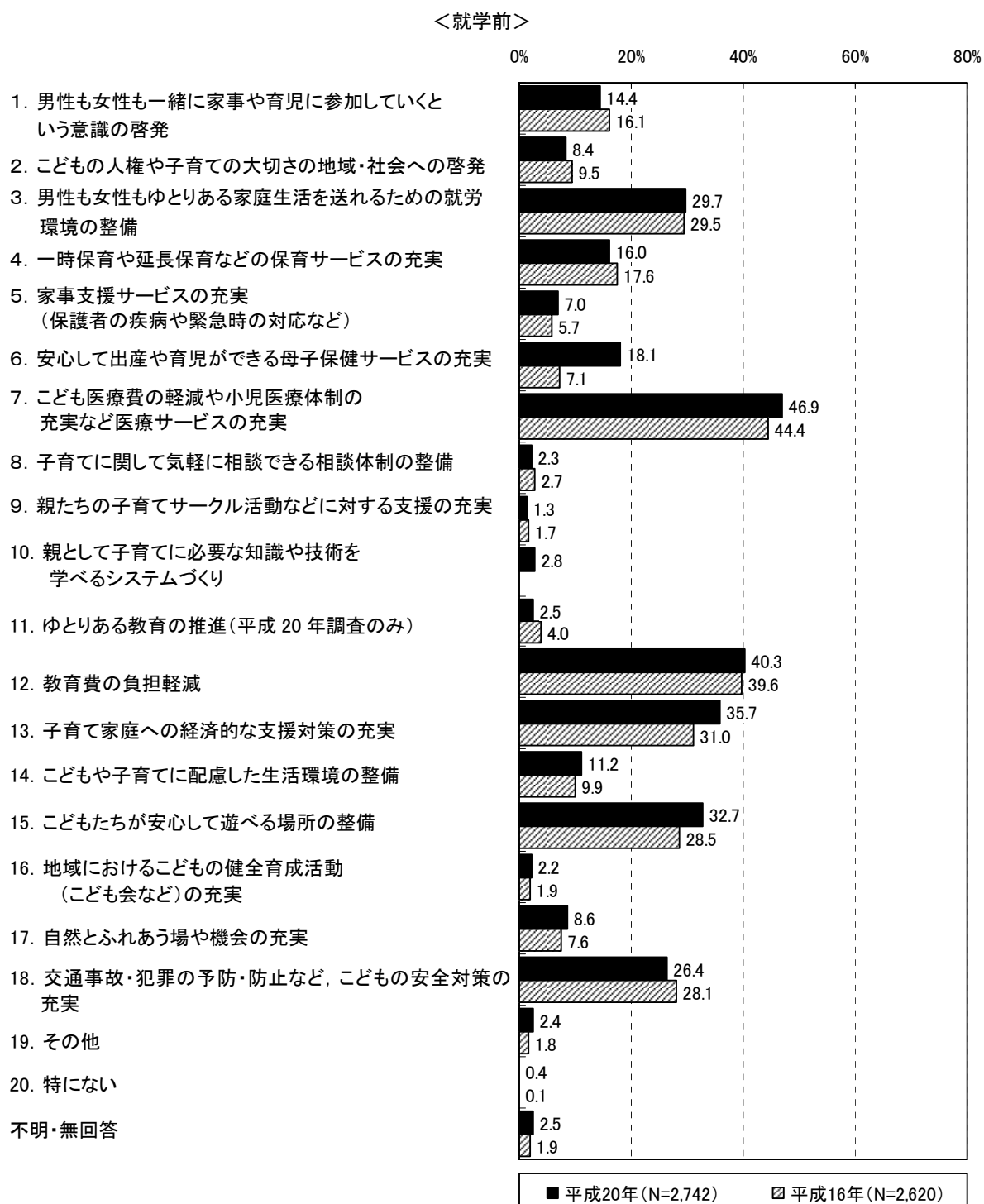
(就学前 問 46, 小学生 問 42)

問 あなたは、あて名のお子さんを健やかに育てるために、今後、京都市・京都府・国にどのようなことを期待しますか。(あてはまるもの3つまで)

<就学前>

子育てのために行政に期待することについてみると、「7. こども医療費の軽減や小児医療体制の充実など医療サービスの充実」が46.9と最も高く、次いで「12. 教育費の負担軽減」が40.3%となっている。

平成16年調査と比較すると、「6. 安心して出産や育児ができる母子保健サービスの充実」では11.0ポイント高くなっている。

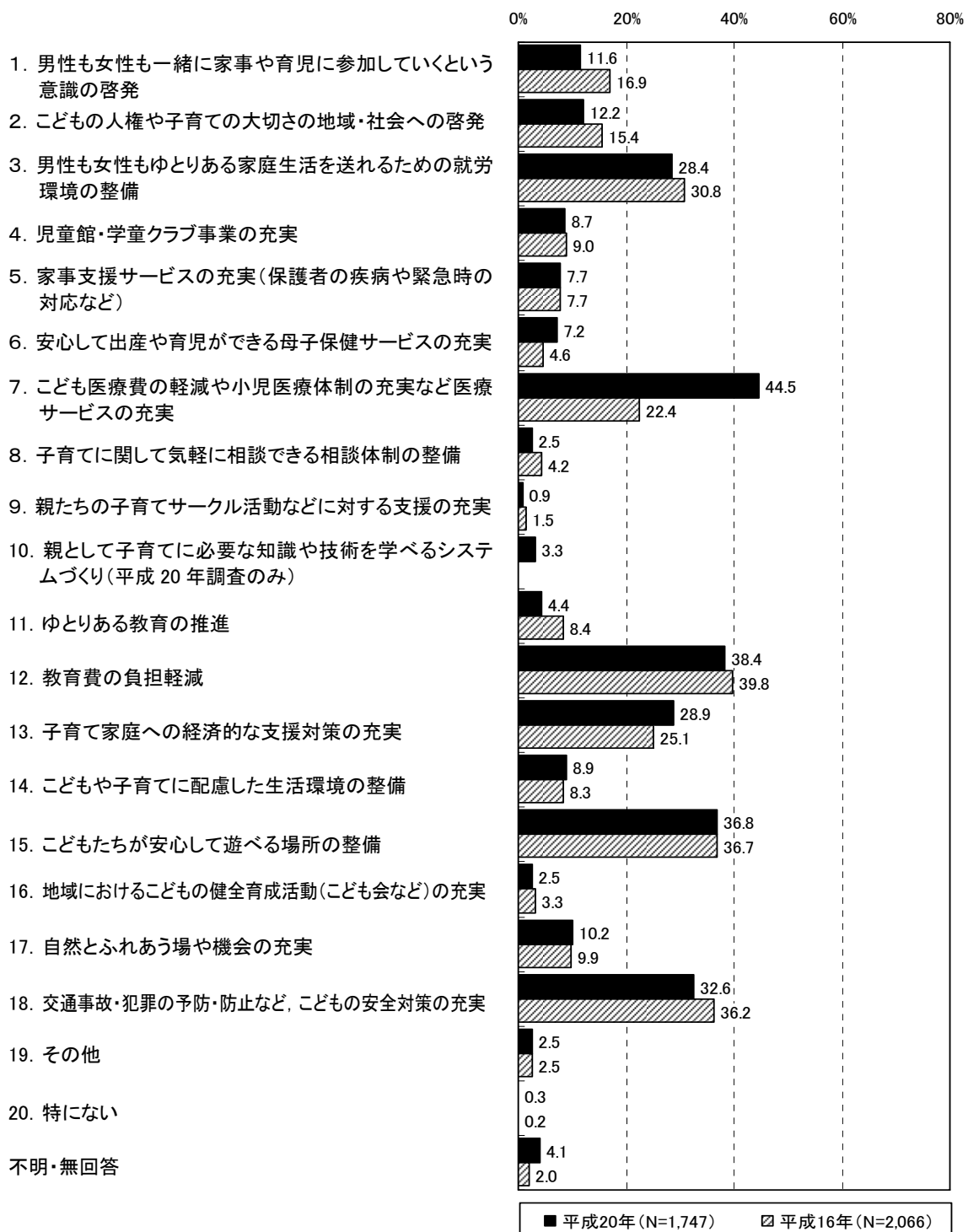


<小学生>

子育てのために行政に期待することについてみると「7. こども医療費の軽減や小児医療体制の充実など医療サービスの充実」が44.5%と最も高く、次いで「12. 教育費の負担軽減」が38.4%となっている。

平成16年調査と比較すると、「こども医療費の軽減や小児医療体制の充実など医療サービスの充実」が22.4%から44.5%と、22.1ポイント高くなっている。

<小学生>



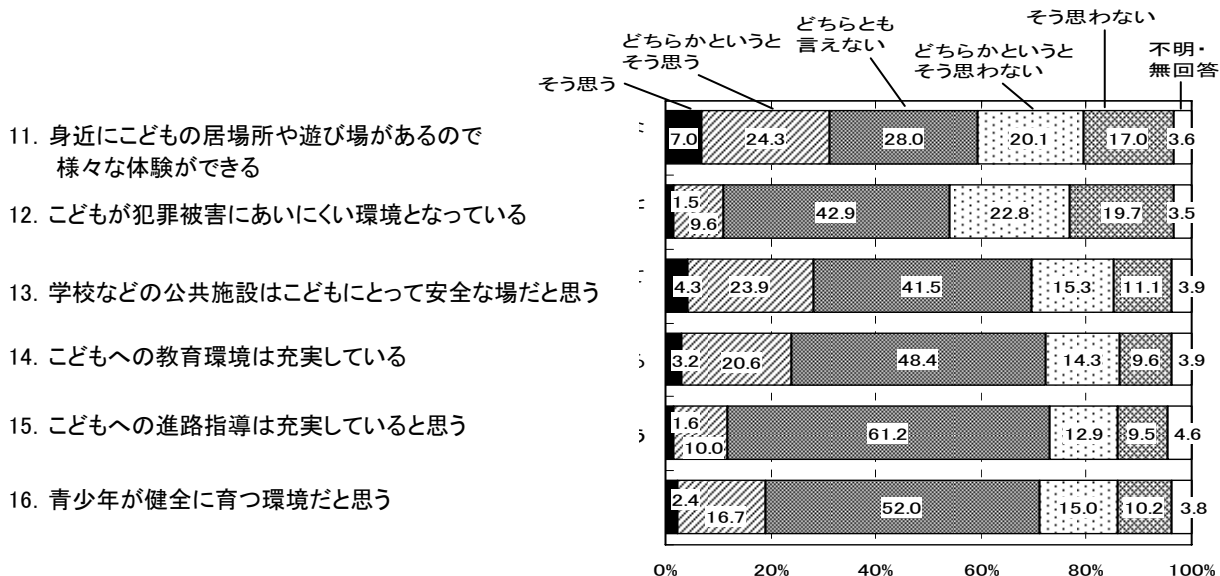
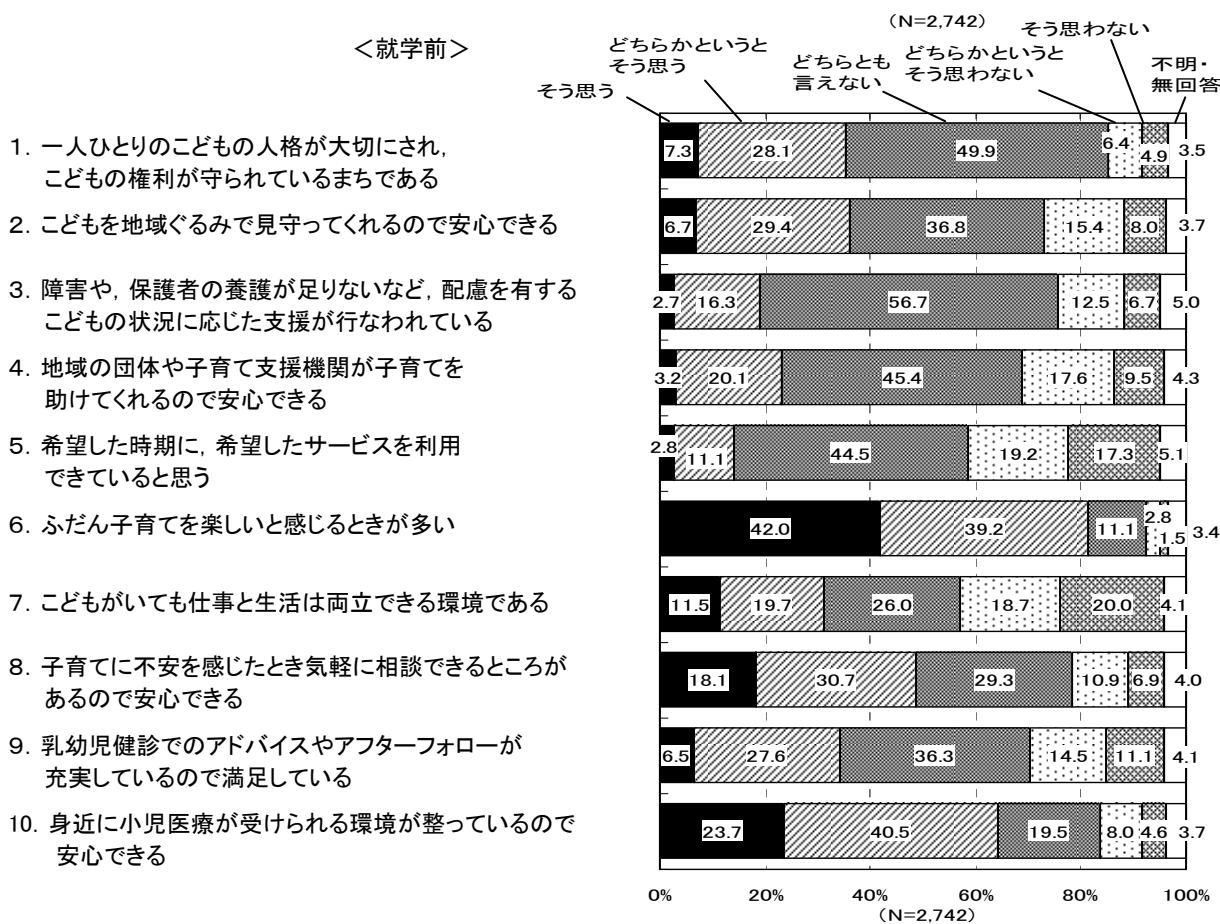
(就学前 問 47, 小学生 問 43)

問 下記の問いについてあなたの実感に近いものに○をつけてください。

<就学前>

住民実感についてみると、「12. こどもが犯罪被害にあいにくい環境となっている」について、『そう思う』（「そう思う」と「どちらかというそう思う」の合計）が約1割とすべての項目の中で最も低くなっている。

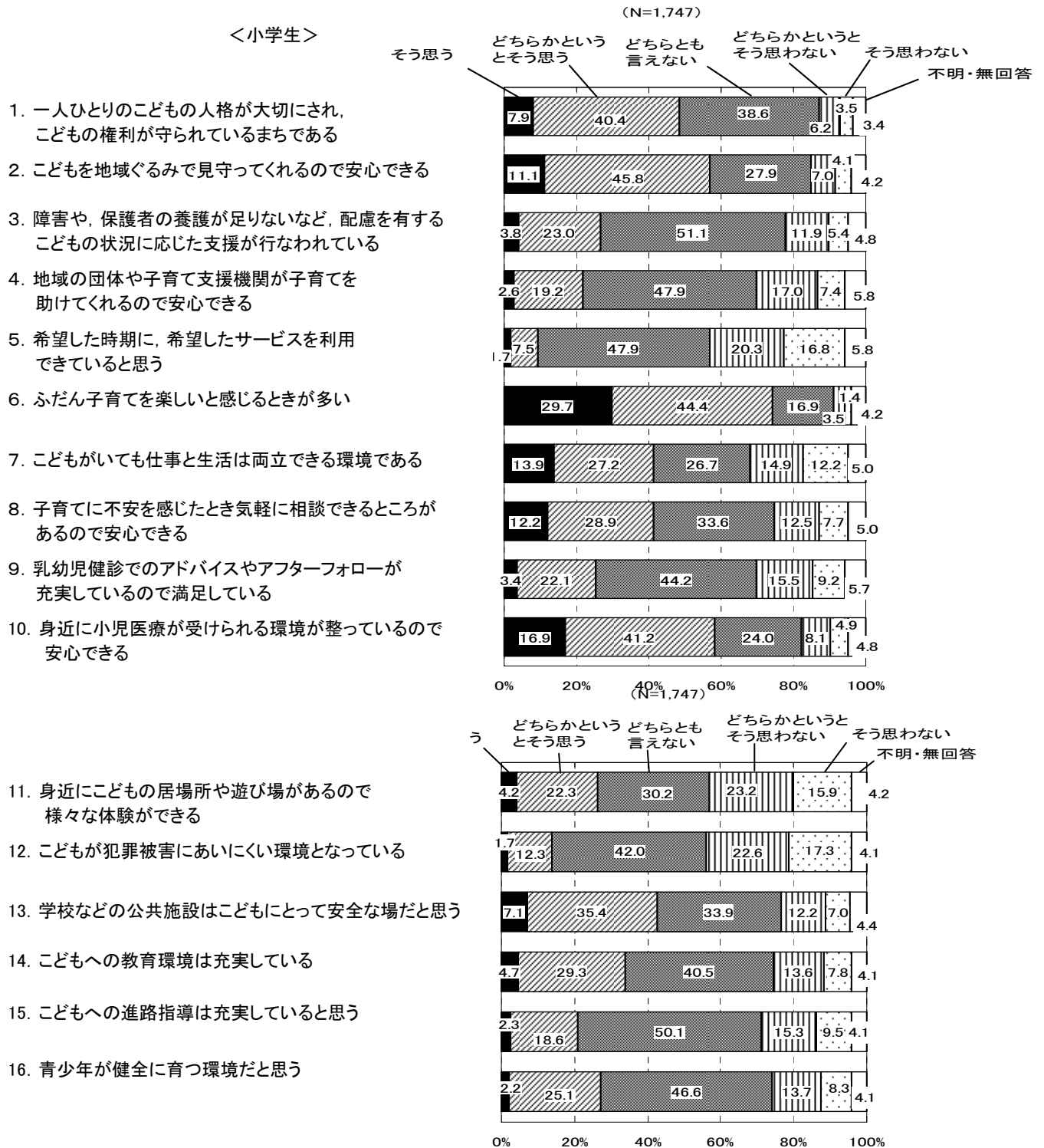
「6. ふだん子育てを楽しんでいると感じるときが多い」については、『そう思う』が8割以上とすべての項目の中で最も高く、次いで「10. 身近に小児医療が受けられる環境が整っているので安心できる」について、『そう思う』が6割以上となっている。



<小学生>

住民実感についてみると「5. 希望した時期に、希望したサービスを利用できていると思う」について、『そう思う』（「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計）が約1割とすべての項目の中で最も低くなっている。

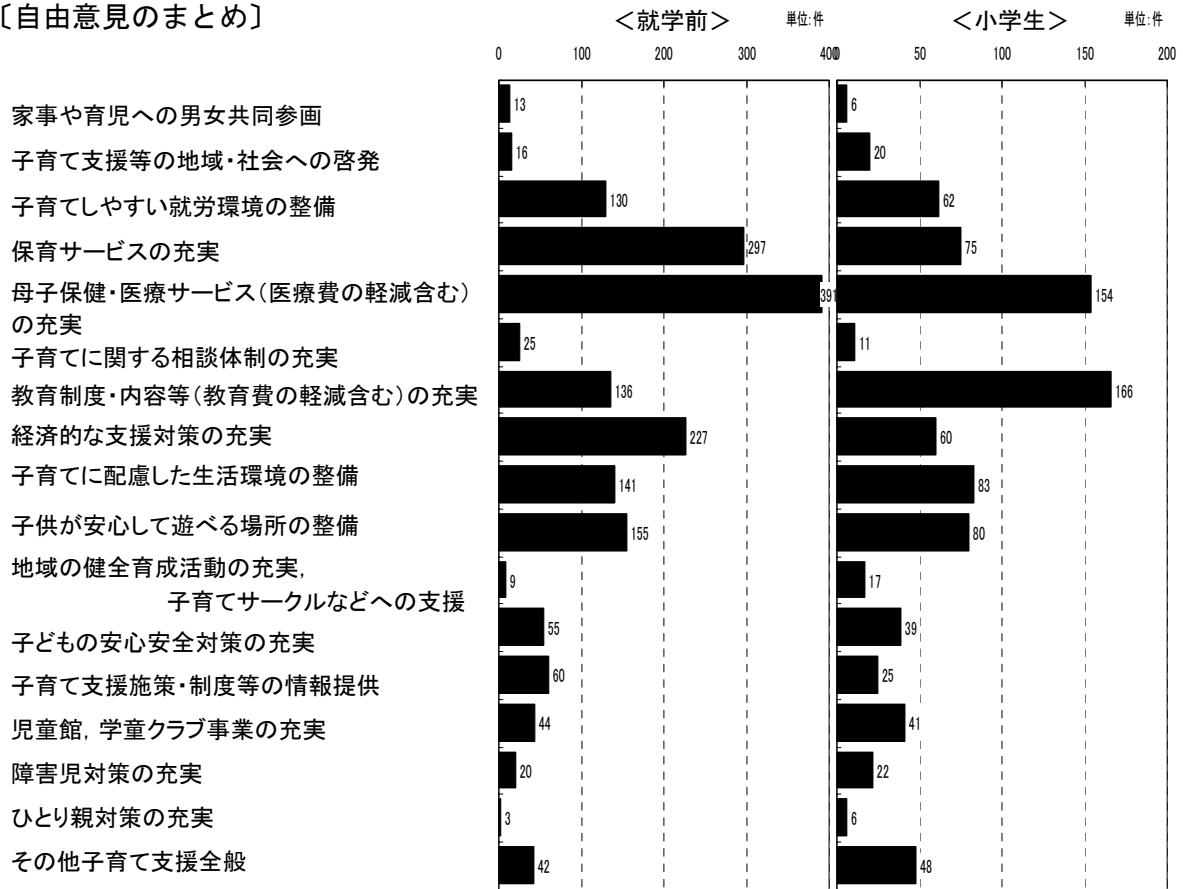
「6. ふだん子育てを楽しんでいると感じるときが多い」については『そう思う』が7割以上とすべての項目の中で最も高く、次いで「10. 身近に小児医療が受けられる環境が整っているので安心できる」が6割近くとなっている。



(就学前 問 48, 小学生 問 44)

問 安心して子どもを産み、子どもを健やかに育てていくための行政の施策や、社会の制度のあり方について、特に望むことやご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

[自由意見のまとめ]

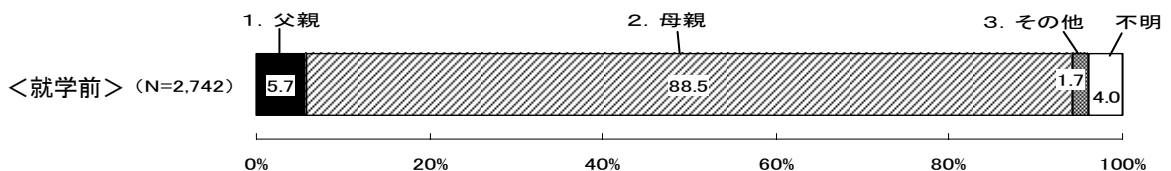


(就学前 問 49, 小学生 問 45)

問 この調査票にご記入されている方はどなたですか。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。

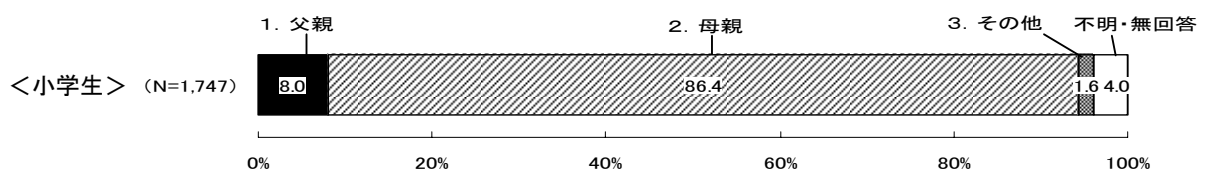
＜就学前＞

回答者についてみると、「2. 母親」が88.5%、「1. 父親」が5.7%となっている。



＜小学生＞

回答者についてみると「2. 母親」が86.4%、「1. 父親」が8.0%となっている。



## 子どもを共に育む京都市民憲章



わたくしたちは、

- 1 子どもの存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。
- 1 子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
- 1 子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
- 1 子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の<sup>きずな</sup>絆を大切にします。
- 1 子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
- 1 子どもを育む自然の恵みを大切に、社会の環境づくりを優先します。

平成 19 年 2 月 5 日（育児ニコニコ笑顔の日）制定

3 月 13 日 京都市会が憲章を積極的に推進する決議

### 京都市 子育て支援に関する市民ニーズ調査 【結果報告書】 （概要版）

発行年月 平成 21 年 6 月

京都市保健福祉局子育て支援部児童家庭課

〒604-0954

京都市中京区御池通柳馬場東入東八幡町 579 番地 京都御池創生館 6 階

電話：075-251-2380 FAX：075-251-2322

[http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/soshiki/8-3-1-0-0\\_1.html](http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/soshiki/8-3-1-0-0_1.html)

京都市印刷物 第 2 1 3 0 4 6 号

